

平成21年度

**男女共同参画社会に関する
県民意識調査報告書**

高知県

はじめに

女性も男性もすべての個人が、互いにその人権を尊重し、喜びも責任も分かち合いながら、性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現は、21世紀を迎えた我が国社会の最重要課題とされています。

高知県では、男女共同参画社会の実現をめざして、平成15年に「高知県男女共同参画社会づくり条例」を制定、その後「こうち男女共同参プラン」の改正及び「高知県DV被害者支援計画」を策定し、各種の施策を総合的に推進してまいりました。

しかしながら、少子高齢化の急速な進展など、急激に変化する社会情勢に伴い、新たな課題にも取り組んでいかなければならない状況です。

このような中、男女共同参画という視点で県内の男女の意識がどのようなものであるか、また過去や全国の調査結果と比べることでのどのような課題があるかを把握するために「男女共同参画社会に関する県民意識調査」を実施いたしました。

今後は、この県民意識調査の結果も踏まえまして、新たな「こうち男女共同参プラン」の策定に向けて作業を進め、より一層の施策の推進、男女共同参画社会の実現を図るよう努めてまいりたいと考えています。

この報告書が、男女共同参画に携わる関係機関、県民のみなさまに広くご活用いただければ幸いです。

最後に、本調査の実施にあたりご協力いただきました方々に対し、心からお礼申し上げます。

平成22年2月

高知県文化生活部県民生活・男女共同参画課長 大原 充雄

目 次

	ページ		
I 調査の設計	1		
II 調査結果の見方	2		
III 調査対象者の特性	4		
1. 広域生活圏別の配布・回収状況	4		
2. 対象者の特性	4		
IV 調査結果のあらまし	7		
V 調査結果〔解説・グラフ〕			
		解説・グラフ ページ	数表 ページ
[1] 男女平等に関する意識について			
1 各分野における男女の地位の平等意識	15	……	80
[2] 結婚や家庭生活について			
2 結婚（家庭、離婚）についての考え方	28	……	82
3 家庭における男女の役割分担の理想	37	……	84
4 家庭における男女の役割分担の現実	39	……	84
[3] 職業生活・社会参画について			
5 女性の理想の働き方	42	……	86
6 働きやすい環境のため必要な条件	45	……	86
7 男女共同参画社会実現のための重点項目	48	……	88
[4] ドメスティック・バイオレンス（DV＝夫婦・恋人間の暴力）について			
8 配偶者・恋人からの行為に対する暴力認識	50	……	90
9 (1) DVの経験の有無	52	……	94
9 (2) したこと、されたことのあるDV行為	53	……	96
9 (3) DV行為について相談した相手	55	……	100
9 (4) DV行為について相談しなかった理由	57	……	102
[5] セクシュアル・ハラスメント（セクハラ＝性的いやがらせ）について			
10 セクハラだと思う行為	59	……	104
[6] 男女共同参画の推進について			
11 法律や制度・各種用語の周知度	61	……	106
12 男女共同参画社会実現のためにできること	75	……	110
		ページ	
VI 調査結果〔数表〕	80		
VII 調査票（単純集計結果）	115		

I 調査の設計

1. 調査の目的

この調査は、高知県の男女共同参画を推進していくうえでの基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の事項

(1) 男女平等に関する意識について

各分野における男女の地位の平等意識

(2) 結婚や家庭生活について

結婚、家庭、離婚についての考え方／家庭における男女の役割分担の理想／家庭における男女の役割分担の現実

(3) 職業生活・社会参画について

女性の理想の働き方／男女が共に働きやすい環境のために必要な条件／男女共同参画社会実現のための重点項目

(4) ドメスティック・バイオレンス（DV＝夫婦・恋人間の暴力）について

配偶者・恋人からの行為に対する暴力認識／DVの経験の有無／したこと、されたことのあるDV行為／DV行為について相談した相手／DV行為について相談しなかった理由

(5) セクシュアル・ハラスメント（セクハラ＝性的いやがらせ）について

セクハラだと思う行為

(6) 男女共同参画の推進について

法律や制度、各種用語の周知度／男女共同参画社会実現のためにできること

3. 調査の対象

高知県内全域から満20歳以上の男女2,000人を抽出

4. 対象者の抽出方法

層化二段無作為抽出法（総人口比から各市町村のサンプル数を割り当て、各市町村の選挙人名簿から抽出した）

5. 調査の方法

郵送法

6. 調査の期間

平成21年11月25日（水）～12月9日（水）までの15日間

7. 実査および集計

株式会社高知新聞企業出版調査部

8. 調査票配布数と回収状況

配布数	2,000票
有効回収数	1,142票（有効回収率 57.1%）

Ⅱ 調査結果の見方

- 1 「Ⅴ 調査結果〔解説・グラフ〕」は「Ⅵ 調査結果〔数表〕」を基に、要点のみを記述してあるので、「Ⅵ 調査結果〔数表〕」をあわせて参照のこと
- 2 「Ⅵ 調査結果〔数表〕」の「実数」とは有効調査人数を示し、比率（％）算出の基礎となっている。
- 3 「Ⅵ 調査結果〔数表〕」内の数値は、回答人数または各回答項目に対する回答率であり、回答率は以下の式により求めている。

$$\text{回答率（％）} = \frac{\text{回答人数}}{\text{実数（有効調査人数）}} \times 100$$

なお、回答率は小数第2位を四捨五入し、表示している。

- 4 質問への回答方法は「1つだけ○印」のほか、「2つまで○印」「いくつでも○印」などの方法を採用している。したがって、複数回答の質問は回答率を合計すると100％以上になる。
- 5 前の質問で特定の回答をした人のみを対象者とする「副問」については、該当者の人数を母数として回答率を算出した。
- 6 各質問に対する集計は、対象者の特性別（階層別）で分析した。

F 1	性	別	…	男女の別
F 2	年	代	別	… 20歳代、30歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上の6種類に分類
F 3	職	業	別	… 自営業－農林水産業、自営業－商工・サービス業、自由業、管理職、専門技術職、事務職、労務職、パート・アルバイト・内職など、専業主婦・主夫、学生、無職（年金生活者など）、その他の12種類に分類（※）
F 4	配偶者の有無	…		（配偶者が）いる、いないの別に分類
F 5	夫婦共働きの有無	…		（共働きであるかないか）はい、いいえの別に分類
F 6	居住地域（広域生活圏）	…		高知市、安芸広域圏、南国・香美広域圏、嶺北広域圏、仁淀川広域圏、高吾北広域圏、高幡広域圏、幡多広域圏の1市7広域圏に分類（※）
F 7	世帯構成	…		単身住まい（一人住まい）、夫婦のみの世帯、親と子の世帯（二世帯世帯）、三世帯世帯（親子、孫の世帯）、その他の5種類に分類
F 8	同居家族	…		乳幼児（小学入学前のこども）がいる、高齢者（70歳以上）がいる、乳幼児・高齢者の両方がいる、どちらもいないの4種類に分類

※F3、F6の分類の詳細については次ページ参照のこと

- 7 図中の数値で、「全国」（例：図1-2）とあるのは、内閣府大臣官房政府広報室調べ「男女共同参画社会に関する世論調査」（調査期間：平成21年10月1日～10月18日、調査対象：5,000人、有効回収者数：3,240人）の調査結果を指す。

※対象者の職業別分類詳細および居住地域（広域生活圏）別は以下のとおりである。

F 3 職業別

1. 自営業－農林水産業
2. 自営業－商工・サービス業
3. 自由業（弁護士、開業医、芸術家、僧侶など）
4. 管理職
5. 専門技術職（技術研究員、勤務医、看護師、保育士など）
6. 事務職（一般事務員、営業職など）
7. 労務職（一般行員、建築作業員、運転手など）
8. パート・アルバイト、内職など
9. 専業主婦・主夫
10. 学生
11. 無職（年金生活者など）
12. その他

F 6 居住地域（広域生活圏）

1. 高知市
2. 安芸広域圏（室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村）
3. 南国・香美広域圏（南国市、香南市、香美市）
4. 嶺北広域圏（本山町、大豊町、土佐町、大川村）
5. 仁淀川広域圏（土佐市、いの町、日高村）
6. 高吾北広域圏（佐川町、越知町、仁淀川町）
7. 高幡広域圏（須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町）
8. 幡多広域圏（宿毛市、土佐清水市、四万十市、大月町、三原村、黒潮町）

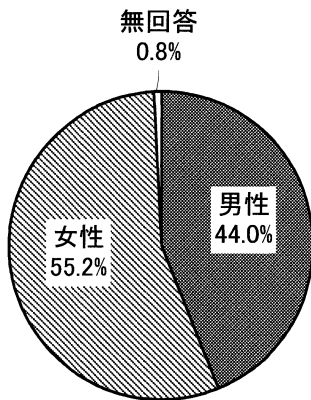
Ⅲ 調査対象者の特性

1. 居住地域(広域生活圏)別の配布・回収状況

広域圏	配布数	有効回収状況		
		回収数(人)	回収率(%)	構成比(%)
高知市	864	496	57.4	43.4
安芸広域圏	152	78	51.3	6.8
南国・香美広域圏	286	153	53.5	13.4
嶺北広域圏	39	26	66.7	2.3
仁淀川広域圏	163	95	58.3	8.3
高吾北広域圏	74	44	59.5	3.9
高幡広域圏	169	102	60.4	8.9
幡多広域圏	253	137	54.2	12.0
無回答		11		1.0
合計	2,000	1,142	57.1	100.0

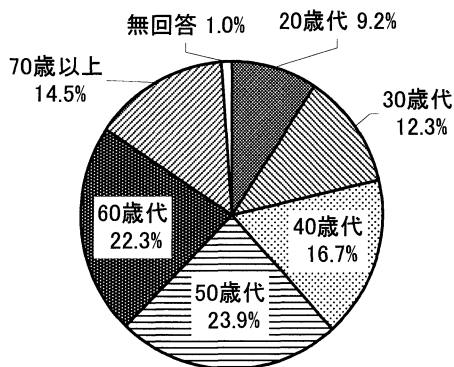
2. 対象者の特性

F1 性別



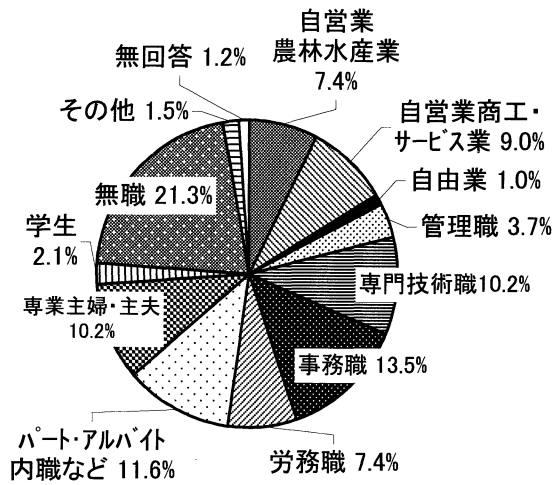
項目	回答数	構成比
1 男性	503	44.0%
2 女性	630	55.2%
無回答	9	0.8%
回答者数	1,142	

F2 年代別



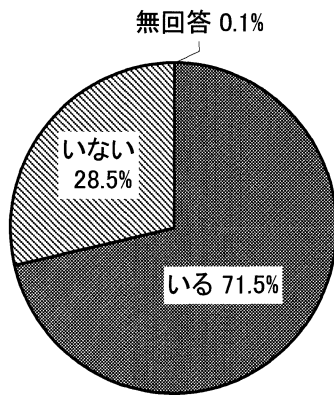
項目	回答数	構成比
1 20歳代	105	9.2%
2 30歳代	141	12.3%
3 40歳代	191	16.7%
4 50歳代	273	23.9%
5 60歳代	255	22.3%
6 70歳以上	166	14.5%
無回答	11	1.0%
回答者数	1,142	

F3 職業別



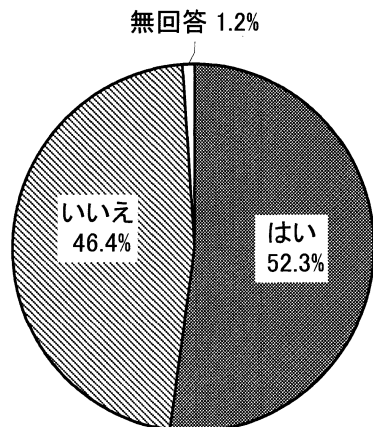
項目	回答数	構成比
1 自営業-農林水産業	85	7.4%
2 自営業-商工・サービス業	103	9.0%
3 自由業	11	1.0%
4 管理職	42	3.7%
5 専門技術職	116	10.2%
6 事務職	154	13.5%
7 労務職	84	7.4%
8 パート・アルバイト、内職など	133	11.6%
9 専業主婦・主夫	116	10.2%
10 学生	24	2.1%
11 無職 (年金生活者など)	243	21.3%
12 その他	17	1.5%
無回答	14	1.2%
回答者数	1,142	

F4 配偶者の有無



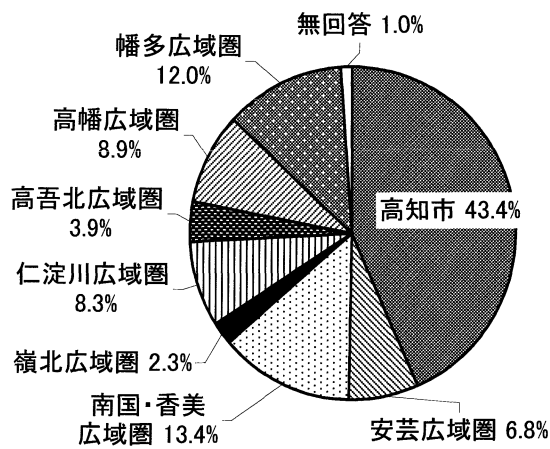
項目	回答数	構成比
1 いる	816	71.5%
2 いない	325	28.5%
無回答	1	0.1%
回答者数	1,142	

F5 夫婦共働きの有無



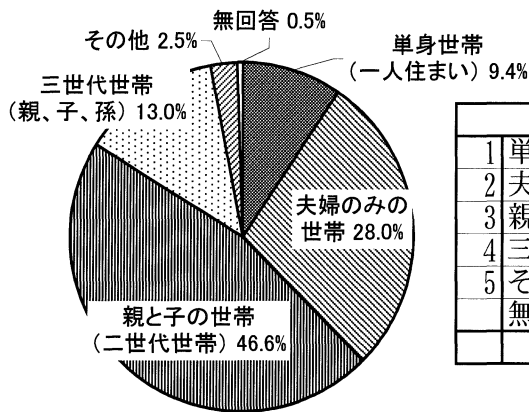
項目	回答数	構成比
1 はい	427	52.3%
2 いいえ	379	46.4%
無回答	10	1.2%
回答者数	816	

F6 居住地域(広域生活圈)



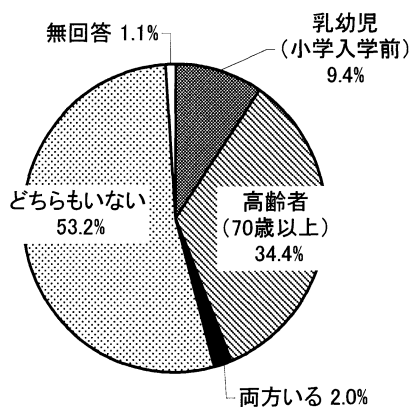
項目	回答数	構成比
1 高知市	496	43.4%
2 安芸広域圏	78	6.8%
3 南国・香美広域圏	153	13.4%
4 嶺北広域圏	26	2.3%
5 仁淀川広域圏	95	8.3%
6 高吾北広域圏	44	3.9%
7 高幡広域圏	102	8.9%
8 幡多広域圏	137	12.0%
無回答	11	1.0%
回答者数	1,142	

F7 世帯構成



項目	回答数	構成比
1 単身世帯 (一人住まい)	107	9.4%
2 夫婦のみの世帯	320	28.0%
3 親と子の世帯 (二世帯世帯)	532	46.6%
4 三世帯世帯 (親、子、孫の世帯)	149	13.0%
5 その他	28	2.5%
無回答	6	0.5%
回答者数	1,142	

F8 同居家族



項目	回答数	構成比
1 乳幼児 (小学入学前の子ども) がいる	107	9.4%
2 高齢者 (70歳以上) がいる	393	34.4%
3 乳幼児、高齢者の両方がいる	23	2.0%
4 どちらもいない	607	53.2%
無回答	12	1.1%
回答者数	1,142	

IV 調査結果のあらまし

1 男女平等に関する意識について

◆問1 分野別の男女平等意識

実生活での男女平等意識について『男性優遇』（「男性の方が非常に優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）は、「社会全体」では約7割を占めている。項目別にみると、「社会全体・慣習・しきたり」では『男性優遇』が70.7%である。「学校教育」では『平等』が最も高く65.8%である。

〔ア〕家庭生活

『男性優遇』と答えた人の割合は総合では53.0%で、性別では『男性優遇』は女性61.7%が男性42.2%を上回り、『平等』では逆に男性41.9%が女性25.4%を上回っており、男女間で平等意識に大きく隔たりが見られる。

〔イ〕職場生活

性別では、『男性優遇』は女性49.8%が男性42.2%を上回り、『平等』では男性34.8%が女性24.3%を上回っている。

〔ウ〕学校教育

総合では『平等』と答えた人が65.8%と最も多い。性別では『男性優遇』は男性5.8%に対し女性7.7%、『女性優遇』（「女性の方が非常に優遇されている」＋「どちらかといえば女性の方が優遇されている」）は男性5.2%に対し女性1.9%と、異性が優遇されていると答えた人の比率が高くなっている。

〔エ〕政治の場

今回の調査で新しく追加された項目である「政治の場」では、『男性優遇』は女性63.4%が男性54.8%を上回り、『平等』では男性29.6%が女性15.4%を上回り、『女性優遇』では男性2.6%が女性0.6%を上回っている。

〔オ〕地域活動の場

今回の調査で新しく追加された項目である「地域活動の場」では、性別では、『男性優遇』は女性38.0%が男性25.1%を、『平等』は男性50.5%が女性34.8%を、『女性優遇』は男性11.9%が女性5.7%をそれぞれ上回っている。

〔カ〕法律や制度の上

性別では、『男性優遇』は女性39.5%が男性24.1%を、『平等』は男性45.3%が女性26.2%を、『女性優遇』は男性13.5%が女性7.2%を、それぞれ上回っている。

〔キ〕社会通念・慣習・しきたり

他の分野と比べても『男性優遇』と答えた人が多い。性別では、『男性優遇』は女性72.9%が男性68.0%を、『平等』は男性16.5%が女性10.3%を、『女性優遇』は男性4.6%が女性1.6%を、それぞれ上回っている。

〔ク〕社会全体

今回の調査で新しく追加された項目である「社会全体」では、全般的に『男性優遇』と答えた人が多い。性別では、『男性優遇』は女性67.8%が男性61.1%を、『平等』は男性22.7%が女性13.0%を、『女性優遇』は男性6.2%が女性2.5%を、それぞれ上回っており、男女とも『男性優遇』と答えている人が多い。

2 結婚や家庭生活について

◆問2 結婚や家庭生活についての考え方

結婚・離婚については多様な生き方を尊重する割合が高い。結婚後の家庭生活に関して「女性は結婚したら、自分自身のことより夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい」「結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない」という考え方については賛否が分かれている。

〔ア〕結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい

総合では『賛成』（「賛成」＋「どちらかといえば賛成」）64.1％が『反対』（「反対」＋「どちらかといえば反対」）27.6％を36.5ポイントも上回っている。性別では、男性は『賛成』57.7％／『反対』33.4％、女性は69.3％／23.2％となっており、女性の方が結婚の際に個人の意思を尊重する割合が高い。

〔イ〕女性は結婚したら、自分自身のことより夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい

総合では『賛成』44.1％に対して『反対』45.1％で、賛否両方に意見が分かれている。性別では、男性43.0％／43.3％、女性44.9％／46.7％で、女性の方が『反対』と答えた比率が高い。

〔ウ〕結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない

総合では、『賛成』41.1％に対して『反対』44.2％と、ほとんど差がない。性別では、男性33.2％／52.5％に対して女性47.3％／37.9％と、男性は『反対』、女性は『賛成』の方が多くなっており、性別によって子どもを持つことに対する考えは大きく異なっている。

〔エ〕結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい

総合では、『賛成』46.8％に対して『反対』34.2％と、『賛成』と答えた人が多い。性別では、男性42.5％／40.5％、女性49.8％／29.2％と、女性の方が、離婚の際においても多様な生き方を尊重する割合が高いと言える。

〔オ〕一般に、今の社会では離婚すると女性の方が不利である

総合では、『賛成』47.8％に対して『反対』16.9％と、『賛成』と答えた人が多い。性別では、男性39.9％／20.9％、女性53.9％／13.6％で、どちらも『賛成』と答えた人の方が多いが、女性はその中でも「賛成」の選択肢を選んだ人が29.5％を占めるなど、女性の方がより強く「女性の方が不利だ」と感じていることが分かる。

◆問3 家庭における男女の役割分担の理想

男女ともに「共同で家計、共同で家事・育児」と答えている人は多い。男性では「夫が家計、妻が家事・育児」「共同で家計、主に妻が家事・育児」と答えている人も多く、共働きであっても家事・育児は妻に負担を求めていることがわかる。まだまだ、家事・育児は女性が担うべきと考えていることが見て取れる。

◆問4 家庭における男女の役割分担の現実

「共同で家計、妻が家事・育児」が高い比率。「共同で家計、家事・育児」「夫と妻の役割を固定せず、自由」は過去の調査と比べ増加している。20歳代では「夫が家計、妻が家事・育児」の比率が高い。共働き世帯では、「共同で家計、主に妻が家事・育児」が52.0％と過半数を占めている。

3 職業生活・社会参画について

◆問5 女性の理想の働き方

女性の働き方での望ましい形を聞くと、総合では「結婚や出産に関わらず、仕事を続ける」25.1%、「子育ての時期だけ一時やめて、その後はフルタイムで仕事を続ける」24.3%、「子育ての時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事を続ける」23.6%の3項目を合わせた『結婚、出産後も仕事を続ける』が73.0%と大きな比率を占めているのが特徴。

性別では、『結婚、出産後も仕事を続ける』系統の項目はいずれも女性が男性を2~4ポイント程度上回り、合計が男性67.5%に対し女性77.5%と、女性が10ポイント上回る比率で仕事を続けることを望んでいることがわかる。

夫婦の働き方別で見ると、『結婚、出産後も仕事を続ける』は共働き世帯81.3%に対して共働きでない世帯66.2%と、共働き世帯が15.1ポイント上回る比率で仕事を続けることを望んでいることが注目される。

◆問6 働きやすい環境のため必要な条件

「仕事と子育て・介護の両立を支援する体制を整備する」ことを求める声が多いほか、労働時間やパートタイムの就労条件改善を望む意見が集まっている。性別での差は大きくないが、環境に求める条件が多少異なることがわかる。

◆問7 男女共同参画社会実現のための重点項目

総合で最も大事だと考えられている「労働時間の短縮など、家事や家庭責任を分担できる働き方を確保すること」は、性別に関わらず求められている。次に男性は「法律や制度の見直し」を、女性は「さまざまな偏見や社会通念、慣習、しきたりを改める」ことを多く求めている。

4 ドメスティック・バイオレンス（DV=夫婦・恋人間の暴力）について

◆問8 配偶者・恋人からの行為に対する暴力認識

身体に直接的被害を及ぼす行為は「どんな場合も暴力に当たる」と答え、直接的には及ぼさない行為は「時と場合による」と答える割合が高い。全般的に女性の方が「どんな場合も暴力に当たる」と答えた比率が高い。

◆問9 (1) DVの経験の有無

総合、性別に関わらず「経験したこともないし、見聞きしたこともない」が一番高い。「直接、経験したことがある」も3割近くを占めている。

◆問9 (2) したこと、されたことのあるDV行為

「大声でどなる」行為が、『加害経験』（「何度もした」+「1,2度した」）、『被害経験』（「何度もされた」+「1,2度された」）ともに、他の行為と比較しても比率が高く、DVとしての認識が低いままに行っていることが推察される。

◆問9 (3) DV行為について相談した相手

「誰（どこ）にも相談しない」人が半数ほどを占める。相談先としては「家族・親せき」「友人・知人」が多く、公的機関などの外部に相談する人は少ない。男性は「友人・知人」に、女性は「家族・親せき」に相談する人が多い。DV行為について外部に相談しづらい実態が見える。

◆問9 (4) DV行為について相談しなかった理由

6割の人が「相談するほどではなかったから」と答えており、「自分に悪いところがあると思った」「自分さえ我慢すれば」と思って相談しない人や、「恥ずかしいから」「相談しても無駄だから」と答えた人が多いのも注目される。性別では「相談するほどのことではないと思ったから」は男性が多く、「恥ずかしくて誰にも言えなかったから」「相談しても無駄だと思ったから」は女性が男性の2倍もある。

5 セクシュアル・ハラスメント（セクハラ＝性的いやがらせ）について

◆問10 セクハラだと思う行為

すべての項目で、男性の方が女性より「セクハラだと思う」と答えた比率が高い。「地位や権限を利用して、交際や性的な関係を強要する」「相手が嫌がっているのに、肩に手をかけたり、身体に触る」などはセクハラとの認識が高い。それに比べ、「容姿や服装に関して繰り返し言う」「結婚、子どものことについてたびたび聞く」など、発言に関してはセクハラと認識する人が少ない。

6 男女共同参画の推進について

◆問11 法律や制度・各種用語の周知度

「DV」「セクハラ」については8割以上の方が内容まで知っている。「男女雇用機会均等法」「育児・介護休業制度」については、約5割の人が内容まで知っているが、3割強の人は名前しか知らない。また、「高知県男女共同参画社会づくり条例」「こうち男女共同参画プラン」「女子差別撤廃条約」「次世代育成支援対策推進方」は半数以上の方が「知らない」と答えている。

〔ア〕仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）

男性の方が周知度は若干高い。中高年層で『名前を知っている』（「内容を知っている」＋「聞いたことがあるが内容は知らない」）人が多い。地域によっては「聞いたことがあるが内容は知らない」という人の比率が高い。

〔イ〕DV（ドメスティック・バイオレンス）

低い年代ほど周知度は高く、20歳代はほとんど全ての方が内容も含めて知っている。県西部でやや周知度が低い。

〔ウ〕セクハラ（セクシュアル・ハラスメント）

9割近い人が内容も含めて知っている。低い年代での周知度は非常に高く、60歳を超えるとやや低めとなっている。

〔エ〕高知県男女共同参画社会づくり条例

約4割の人が『名前を知っている』と答えており、60歳代については5割弱の人が『名前を知っている』と答えている。

〔オ〕こうち男女共同参画プラン

女性の方が『名前を知っている』比率が高い。40～60歳代では、4割を超える人が『名前を知っている』。高吾北広域圏における周知度の低さが目立つ。

〔カ〕女子差別撤廃条約

20歳代が「内容を知っている」を含めて周知度が高い。地域別による周知度の差が大きいのが目立つ。

〔(キ) 男女雇用機会均等法〕

前回の調査と比較すると「内容を知っている」人は大きく増加。40歳代以下の年代で半数以上の人が「内容を知っている」と答えている。地域によって周知度に若干の差異が見られる。

〔(ク) 育児・介護休業制度〕

育児休業・介護休業ともに、制度については5割以上の人に内容を知られるようになった。女性の方が内容を知っている比率が高い。

〔(ケ) 次世代育成支援対策推進法〕

前回の調査と比較すると周知度は大幅に増加している。女性の周知度が男性を上回る。40歳代以上の年代で知っている比率は高くなっている。嶺北広域圏の「内容を知っている」比率が特に高い。

〔(コ) DV防止法〕

前回の調査と比較すると微増。女性の周知度がやや高い。20歳代の「内容を知っている」比率が他の年代と比べて大幅に低くなっており、この年代への周知・啓発が課題である。

〔(ク) こうち男女共同参画センター「ソーレ」〕

前回の調査と比較すると周知度は大きく向上。女性の『名前を知っている』比率が男性を大幅に上回る。40歳代の『名前を知っている』人の比率が高い。所在地である高知市など周辺地域で周知度が高く、西部地域での低さが目立つ。

〔(シ) 女性相談支援センター（旧女性相談所）〕

女性の方が周知度が高い。20歳代の周知度が低く、半数の人が「知らない」と答えており、「内容を知っている」人の少なさが目立っている。

◆問12 男女共同参画社会実現のためにできること

総合では、「家族みんなで家事・育児などの分担」や「『その子らしく』子育てをする」と答えた人が多い。性別では、「『男らしく、女らしく』から『その子らしく』子育てをする」などの項目では女性の方が、「職場で男女平等意識を浸透させる」「地域（自治会など）では、古い慣習を見直し、男女平等に活動に参画するよう取り組む」などでは男性の方が高くなっている。

V 調査結果

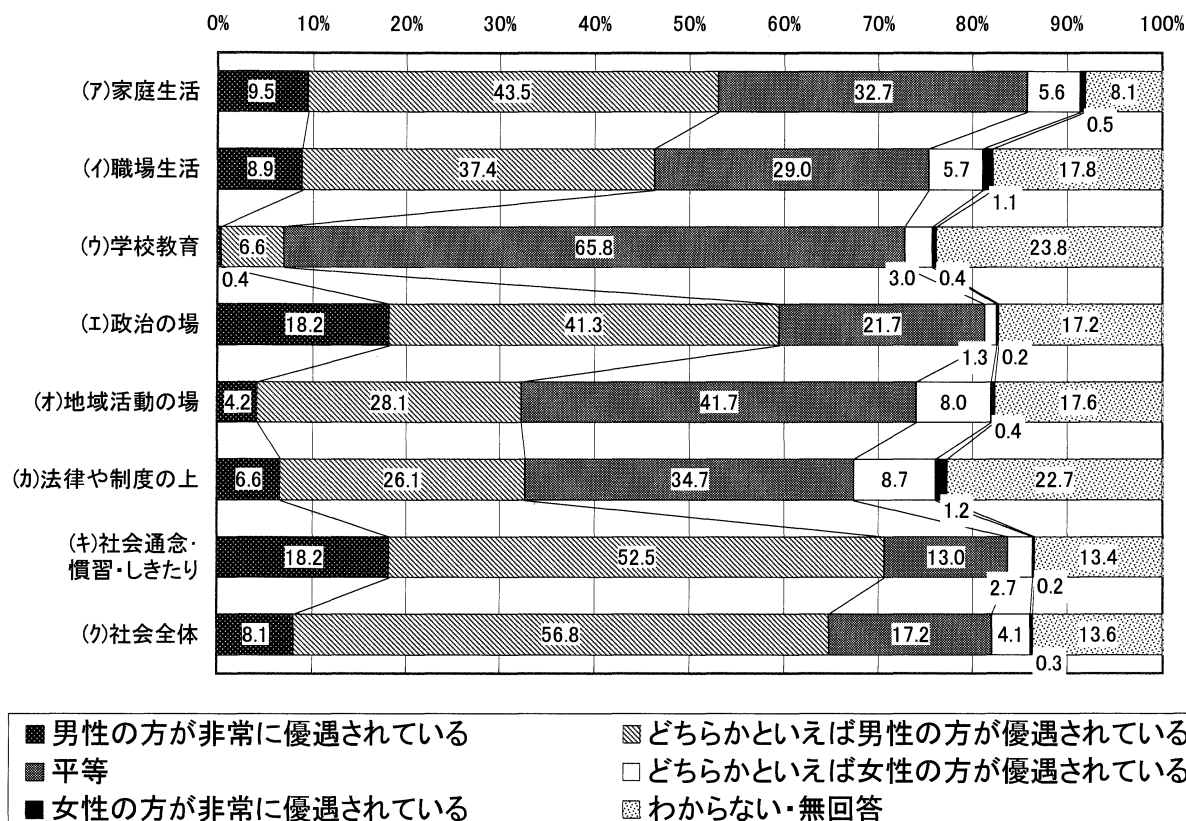
[解説・グラフ]

1 男女平等に関する意識について

問1 次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。(ア)から(ク)までの項目ごとに、あなたの気持ちに最も近い番号(1～6)に1つだけ○印をつけてください。

◆実生活での男女平等意識について『男性優遇』は、「社会全体」では約7割を占めている。項目別にみると、「社会全体・慣習・しきたり」では『男性優遇』が70.7%である。「学校教育」では『平等』が最も高く65.8%である。

〈図1-1〉 問1 分野別の男女平等意識 [総合 N=1,142]



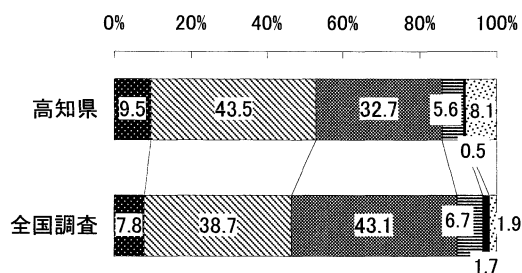
実生活での男女平等意識について、「家庭生活」「政治の場」「社会通念・慣習・しきたり」の分野で、『男性優遇』（「男性の方が非常に優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）と答えた人の割合が高い。特に高いのが「社会通念・慣習・しきたり」70.7%である。社会全体において、男性が優遇されていると感じている人が多いことが分かる。一方、「家庭生活」の場では32.7%の人が『平等』と答えており、必ずしも『男性優遇』という人ばかりが多くないことも見てとれる。

「学校教育」の分野では『男性優遇』＋『女性優遇』（「女性の方が非常に優遇されている」＋「どちらかといえば女性の方が優遇されている」）の割合は10.4%にとどまり、全体の65.8%が『平等』だと答えている。

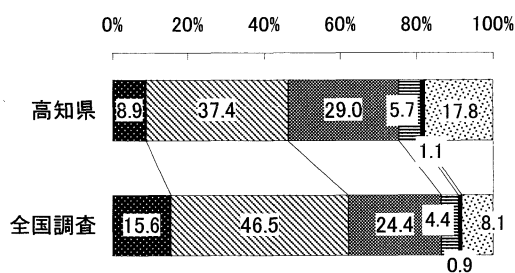
また、『女性優遇』と答えた人の比率は、「地域活動の場」8.4%、「法律や制度の上」9.9%の分野で高くなっており、他の分野に比べて『女性優遇』と答えた人の割合が高いことも注目される。

〈図1-2〉 問1 分野別の男女平等意識－全国調査との比較[高知 N=1,142、全国 N=3,240]
 ◆全国調査と比較すると「家庭生活」において高知県は男性が優遇されているという意識が強い。反面「職場生活」「政治の場」においては、男性が優遇されていると感じている人は少ない。

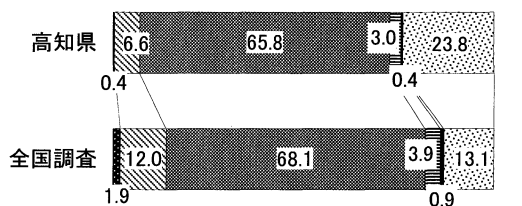
(ア) 家庭生活



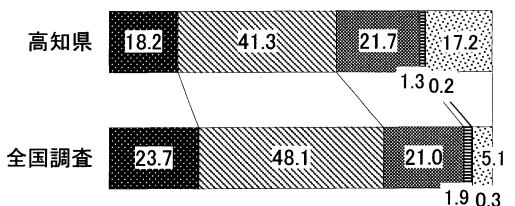
(イ) 職場生活



(ウ) 学校教育

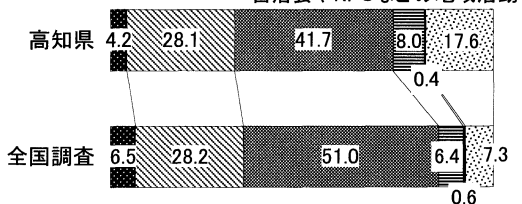


(エ) 政治の場

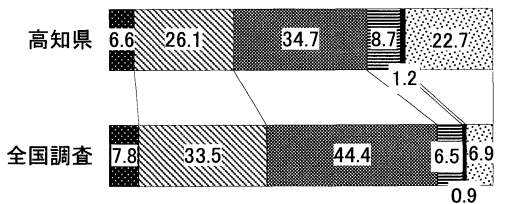


(オ) 地域活動の場

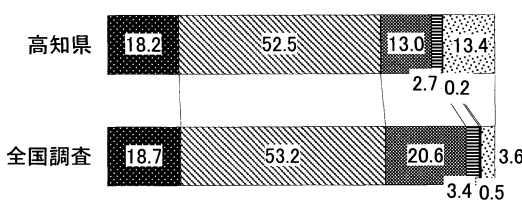
※全国調査の項目名は「自治会やNPOなどの地域活動の場」



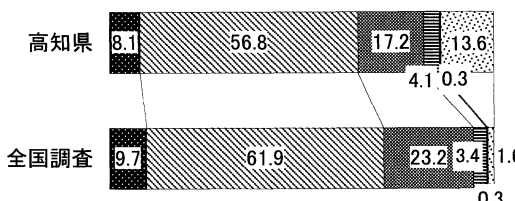
(カ) 法律や制度の上



(キ) 社会通念・慣習・しきたり



(ク) 社会全体



■ 男性の方が非常に優遇されている
 ■ どちらかといえば男性の方が優遇されている
 ■ 平等
 ■ どちらかといえば女性の方が優遇されている
 ■ 女性の方が非常に優遇されている
 ■ わからない・無回答

全国調査と比較すると、「職場生活」「学校教育」「政治の場」「法律や制度の上」「社会全体」において、高知県の方が『男性優遇』（「男性の方が非常に優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）と答えた人の割合が低い。特に高知県と全国調査の差が大きいのは「職場生活」で、『男性優遇』と答えた割合が、高知県の46.3%が全国調査の62.1%を15.8ポイント下回る。次いで「政治の場」で、高知県の59.5%に対して全国調査が71.8%と、12.3ポイント全国調査を下回っている。これらの分野においては、高知県では全国調査と比較して男性が優遇されていると感じている人が少ないと言える。

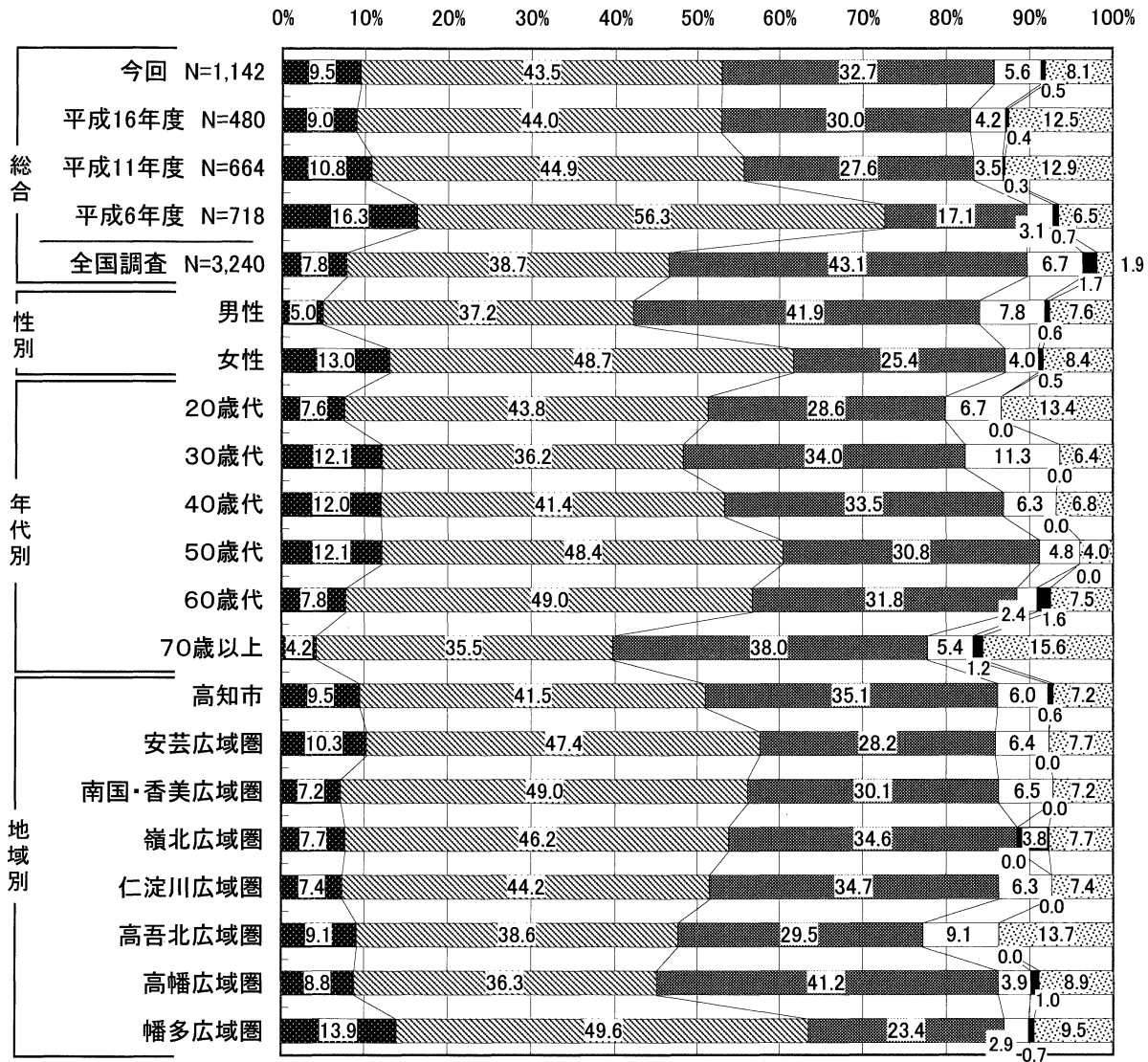
また、「法律や制度の上」では、『平等』と答えた人の割合も全国調査の方が高いことが注目される。高知県は『わからない・無回答』が22.7%と高く、関心度の差が浮き彫りになったとも考えられる。

『平等』と答えた分野について見ると、「家庭生活」32.7%が10.4ポイント、「地域活動の場」41.7%が9.3ポイント、「社会通念・慣習・しきたり」13.0%が7.6ポイント、それぞれ高知県が全国調査を下回っている。逆に、「職場生活」29.0%で4.6ポイント、高知県の『平等』と答えた人の割合が全国調査を上回っている。

(ア)家庭生活

◆『男性優遇』と答えた人の割合は総合では53.0%で、性別では『男性優遇』は女性61.7%が男性42.2%を上回り、『平等』では逆に男性41.9%が女性25.4%を上回っており、男女間で平等意識に大きく隔たりが見られる。

〈図1-3〉 問1(ア)家庭生活



- 男性の方が非常に優遇されている
- 平等
- 女性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▨ わからない・無回答

家庭生活の分野では、『男性優遇』（「男性の方が非常に優遇されている」+「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）と答えた人の割合は53.0%で、『平等』と答えた人の割合が32.7%と、過去の調査と比較しても平等であると答えた人の割合が一番高い。一方で、『平等』と答えた人は、全国調査43.1%に対して10.4ポイント下回っており、全国調査と比べると平等意識がやや低いことが分かる。

性別では、『男性優遇』と答えた女性61.7%が男性42.2%を19.5ポイント上回り、一方で『平等』と答えた女性25.4%は男性41.9%を16.5ポイント下回るなど、男女間で平等意識に大きく隔りがある。

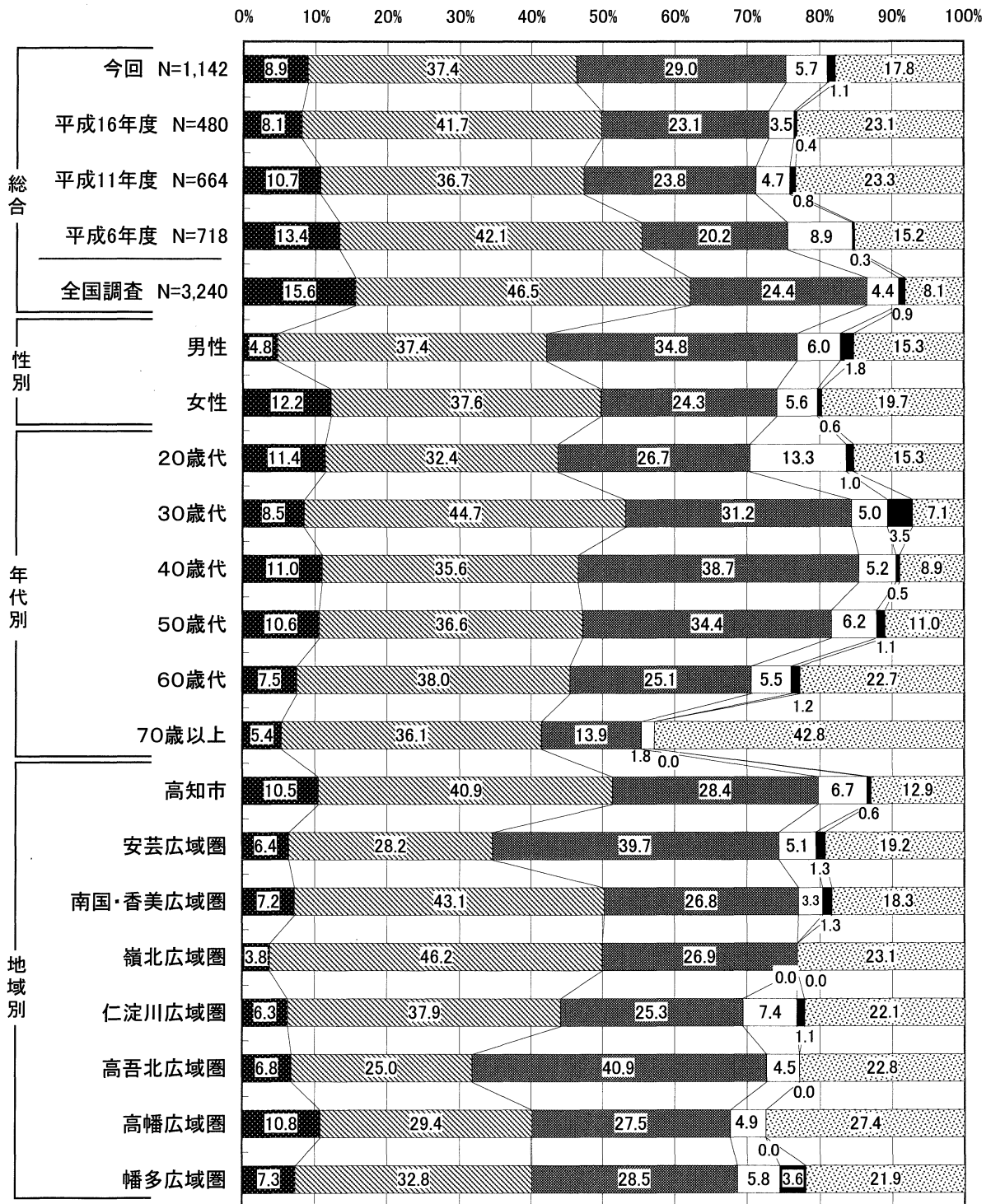
年代別では、70歳以上の『男性優遇』39.7%が他の年代より10ポイント程度下回っていること、また30歳代で『女性優遇』（「女性の方が非常に優遇されている」+「どちらかといえば女性の方が優遇されている」）11.3%が他の年代より5ポイント程度上回ることが注目される。

地域別では、幡多広域圏で『男性優遇』63.5%に対して『平等』23.4%と、他の地域と比較して男性が優遇されていると感じる人が多いことが見てとれる。

(イ)職場生活

◆性別では、『男性優遇』は女性49.8%が男性42.2%を上回り、『平等』では男性34.8%が女性24.3%を上回っている。

<図1-4> 問1(イ)職場生活



■ 男性の方が非常に優遇されている
 ■ 平等
 ■ 女性の方が非常に優遇されている
 ■ どちらかといえば男性の方が優遇されている
 □ どちらかといえば女性の方が優遇されている
 ■ わからない・無回答

<図1-5> 問1(イ)職場生活－職業別

	農林・水産業	商工・サービス業 自営	自 由 業	管 理 職	専 門 技 術 職	事 務 職	労 務 職	パート・アルバイト、 内職など	専業主婦・主夫	学 生	無 職	そ の 他
男性の方が非常に優遇されている	5.9	10.7	9.1	2.4	6.9	12.3	8.3	14.3	11.2	12.5	6.2	0.0
どちらかといえば男性の方が優遇されている	34.1	35.0	18.2	50.0	29.3	44.8	38.1	33.8	42.2	33.3	37.9	35.3
平等	25.9	35.0	54.5	35.7	49.1	33.1	40.5	29.3	10.3	25.0	16.0	47.1
どちらかといえば女性の方が優遇されている	7.1	4.9	0.0	7.1	9.5	5.8	9.5	8.3	6.0	0.0	1.6	5.9
女性の方が非常に優遇されている	1.2	1.0	0.0	4.8	1.7	1.9	0.0	0.8	0.0	0.0	0.8	0.0
分からない・無回答	25.9	13.6	18.2	0.0	3.4	1.9	3.6	13.6	30.2	29.2	37.5	11.8

職場生活の分野では、調査年度を重ねるごとの大きな変化は見られない。それに対し、全国調査と比較すると、高知県で『男性優遇』（「男性の方が非常に優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）と答えた人の割合が46.3％と全国調査の62.1％を15.8ポイント下回り、逆に『平等』29.0％が全国調査の24.4％を4.6ポイント上回るなど、職場生活の分野では比較的男性優遇の意識が低いと言える。

性別で見ると、女性の『男性優遇』49.8％が男性42.2％を7.6ポイント上回り、逆に男性の『平等』34.8％が女性24.3％を10.5ポイント上回るなど、男女間で意識に隔たりが見られる。

年代別では、30歳代で『男性優遇』53.2％が他の年代より5～10ポイント程度上回っており、40歳代で『平等』と答えた人の比率が38.7％と比較的高くなっている。その一方で、20歳代、60歳代では『平等』と答えた人が比較的少なくなっている（70歳以上は『わからない・無回答』が高くなっているため割愛）。20歳代では『女性優遇』（「女性の方が非常に優遇されている」＋「どちらかといえば女性の方が優遇されている」）14.3％が他の年代より5ポイント前後高いのも注目される。

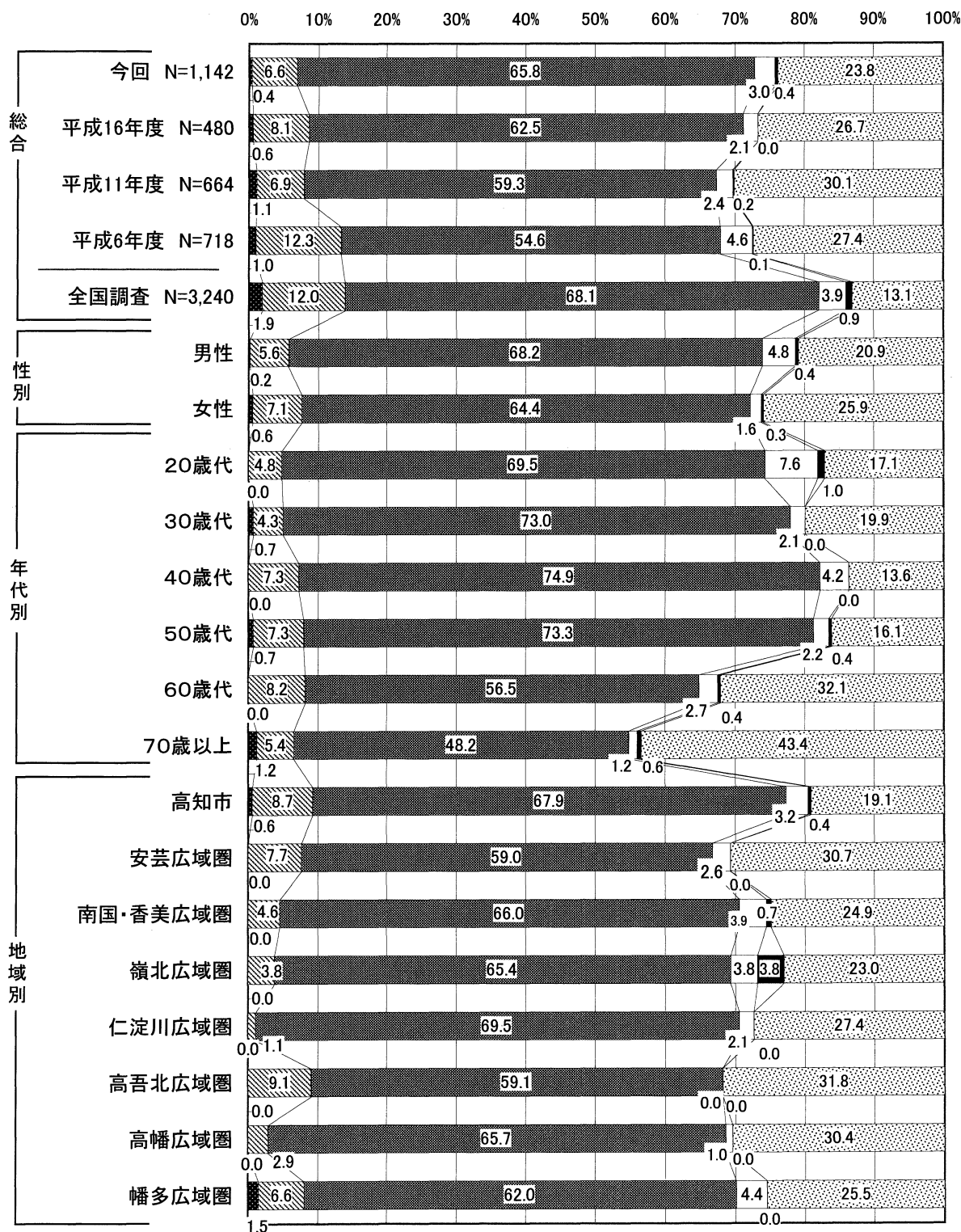
地域別では、安芸広域圏34.6％、高吾北広域圏31.8％で『男性優遇』の比率が低い。逆に高知市51.4％、南国・香美広域圏50.3％、嶺北広域圏50.0％の3地域では過半数の人が『男性優遇』と答えている。『平等』と答えた人は安芸広域圏39.7％、高吾北広域圏40.9％が高く、仁淀川広域圏25.3％が他の地域より比較的低くなっている。『女性優遇』は幡多広域圏9.4％で高い比率を示している。

職業別では、『男性優遇』は自営－商工・サービス業45.7％、管理職52.4％、事務職57.1％、パート・アルバイト、内職など48.1％と広い分野の職業で高く、一方で自由業54.5％、専門技術職49.1％では『平等』と答えた人が多く、専門性の高い職業では比較的平等意識が高いことが見て取れる。

(ウ)学校教育

◆『総合では『平等』と答えた人が65.8%と最も多い。性別では『男性優遇』は男性5.8%に対し女性7.7%、『女性優遇』（「女性の方が非常に優遇されている」+「どちらかといえば女性の方が優遇されている」）は男性5.2%に対し女性1.9%と、異性が優遇されていると答えた人の比率が高くなっている。

<図1-6> 問1(ウ)学校教育



男性の方が非常に優遇されている
 どちらかといえば男性の方が優遇されている

平等
 どちらかといえば女性の方が優遇されている

女性の方が非常に優遇されている
 わからない・無回答

〈図1-7〉 問1(ウ)学校教育－職業別

	農林・水産業 自営業	商工・サービス業 自営業	自由業	管理職	専門技術職	事務職	労務職	パート・アルバイト 内職など	専業主婦・主夫	学生	無職	その他
男性の方が非常に優遇されている	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0
どちらかといえば男性の方が優遇されている	3.5	9.7	9.1	4.8	7.8	7.8	7.1	6.8	5.2	4.2	6.2	0.0
平等	67.1	67.0	54.5	85.7	75.0	73.4	60.7	67.7	70.7	66.7	51.9	76.5
どちらかといえば女性の方が優遇されている	3.5	2.9	18.2	0.0	1.7	2.6	3.6	5.3	1.7	12.5	2.1	0.0
女性の方が非常に優遇されている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.9	4.2	0.4	0.0
分からない・無回答	25.9	20.4	18.2	9.5	12.0	16.2	28.6	20.3	21.6	12.5	38.6	23.5

学校教育の分野では、『男性優遇』（「男性の方が非常に優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）および『女性優遇』（「女性の方が非常に優遇されている」＋「どちらかといえば女性の方が優遇されている」）ともに過去調査との変動はあまりみられないが、『平等』と答えた人は65.8％と、調査年度を重ねるごとにわずかながら増加してきている。全国調査と比較すると、『男性優遇』が高知県7.0％に対して全国調査13.9％と、6.9ポイント下回っており、やや男性優遇の意識が低いことがうかがえる。

性別ではあまり大きな差異はみられないが、『男性優遇』は男性5.8％に対し女性7.7％、『女性優遇』は男性5.2％に対し女性1.9％と、異性が優遇されていると考える人の比率が高くなっている。

年代別では、『平等』と答えた人の比率がもっとも高いのは40歳代74.9％で、それを境に『平等』と答えた人の比率は下がっている。また、『女性優遇』は20歳代で8.6％と最も高く、教育の現場に一番近い立場の年代で高い比率を示していることは注目される。

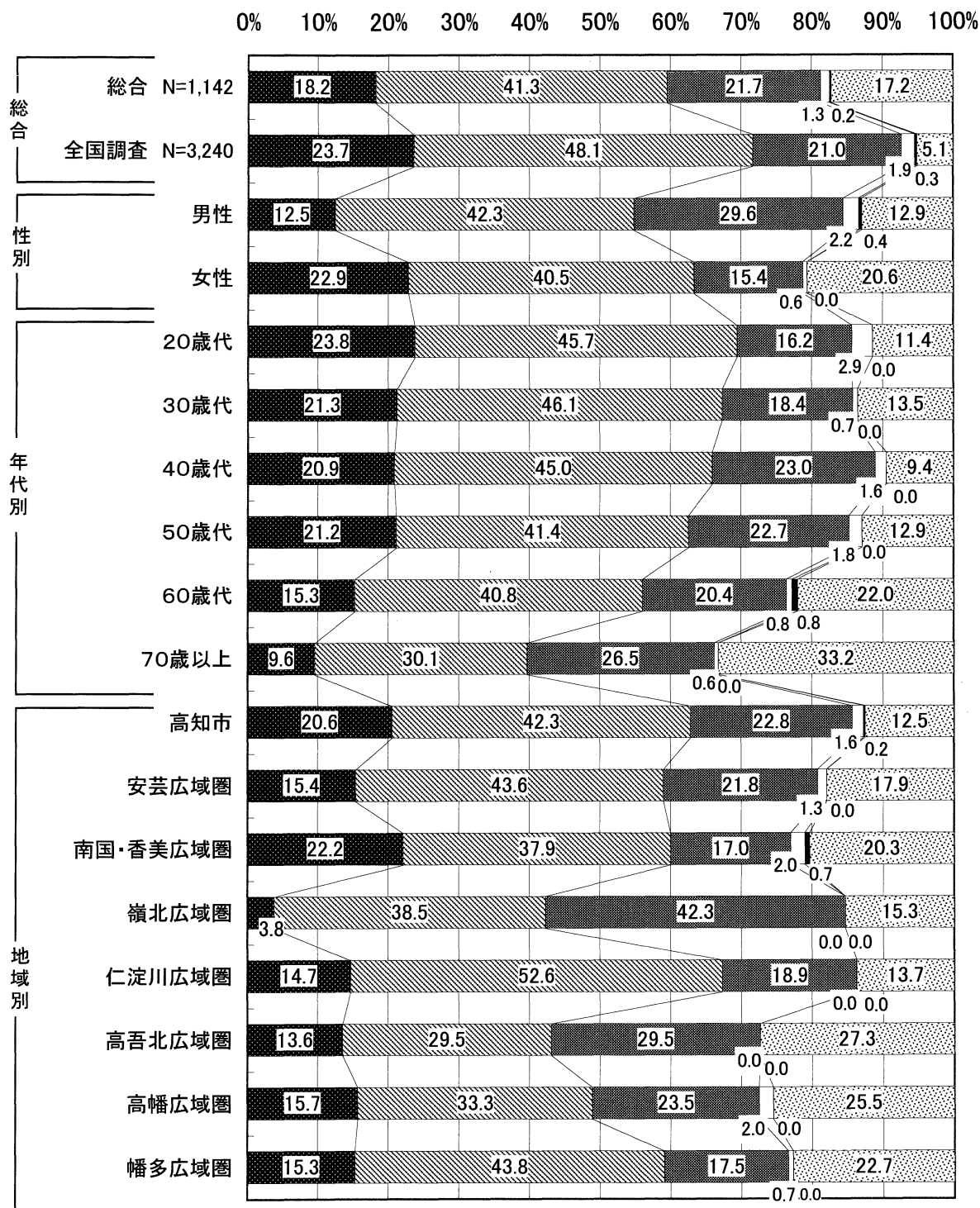
地域別にみると、『男性優遇』は高知市9.3％、高吾北広域圏9.1％が高く、仁淀川広域圏1.1％が低い比率となっている。『平等』では高知市67.9％、仁淀川広域圏69.5％が高い比率を示している。嶺北広域圏では『女性優遇』が7.6％と比較的高い比率となっている。

職業別に見ると、いずれの職業も『平等』と答えた人が最も多くなっているが、『男性優遇』は自営－商工・サービス業9.7％、自由業9.1％、専門技術職10.4％などで高くなっている。一方、『女性優遇』は自由業18.2％のほか、学生が16.7％と高い比率を示していることは興味深い。

(エ)政治の場

◆『男性優遇』は女性63.4%が男性54.8%を上回り、『平等』では男性29.6%が女性15.4%を上回り、『女性優遇』では男性2.6%が女性0.6%を上回っている。

<図1-8> 問1(エ)政治の場



- 男性の方が非常に優遇されている
- 平等
- 女性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▩ わからない・無回答

〈図1-9〉 問1(エ)政治の場－職業別

	農林・水産業	自営業	商工・サービス業	自由業	管理職	専門技術職	事務職	労務職	パート・アルバイト、内職など	専業主婦・主夫	学生	無職	その他
男性の方が非常に優遇されている	11.8	15.5	18.2	11.9	24.1	22.1	17.9	29.3	18.1	20.8	12.8	5.9	
どちらかといえば男性の方が優遇されている	31.8	41.7	27.3	50.0	55.2	48.7	34.5	39.8	44.0	37.5	35.8	29.4	
平等	28.2	23.3	36.4	31.0	13.8	22.1	34.5	9.8	14.7	20.8	24.7	35.3	
どちらかといえば女性の方が優遇されている	4.7	1.0	18.2	2.4	0.0	0.6	1.2	0.0	2.6	8.3	0.0	0.0	
女性の方が非常に優遇されている	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	
分からない・無回答	22.3	18.5	0.0	4.8	6.9	6.5	11.9	21.0	20.7	12.5	26.4	29.4	

今回の調査で新しく追加された項目である政治の場の分野では、全国調査と比較すると『男性優遇』（「男性の方が非常に優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）は高知県59.5%が全国調査71.8%に対し12.3ポイント下回る。『平等』と答えた人は両者大きな差はなく、高知県は比較的『男性優遇』と答えた人の比率が低い。

性別で見ると、『男性優遇』は女性63.4%が男性54.8%を8.6ポイント上回り、『平等』で男性29.6%が女性15.4%を14.2ポイント、『女性優遇』（「女性の方が非常に優遇されている」＋「どちらかといえば女性の方が優遇されている」）で男性2.6%が女性0.6%を2.0ポイント、それぞれ上回っており、政治の場においても両者の平等意識には差が目立つ。

年代別で見ると、『男性優遇』は20歳代69.5%をピークに年代が上がるほど比率が低くなり、最も低い70歳以上では39.7%となっている。『平等』は70歳以上26.5%、40歳代23.0%や50歳代22.7%が高い比率を示している。

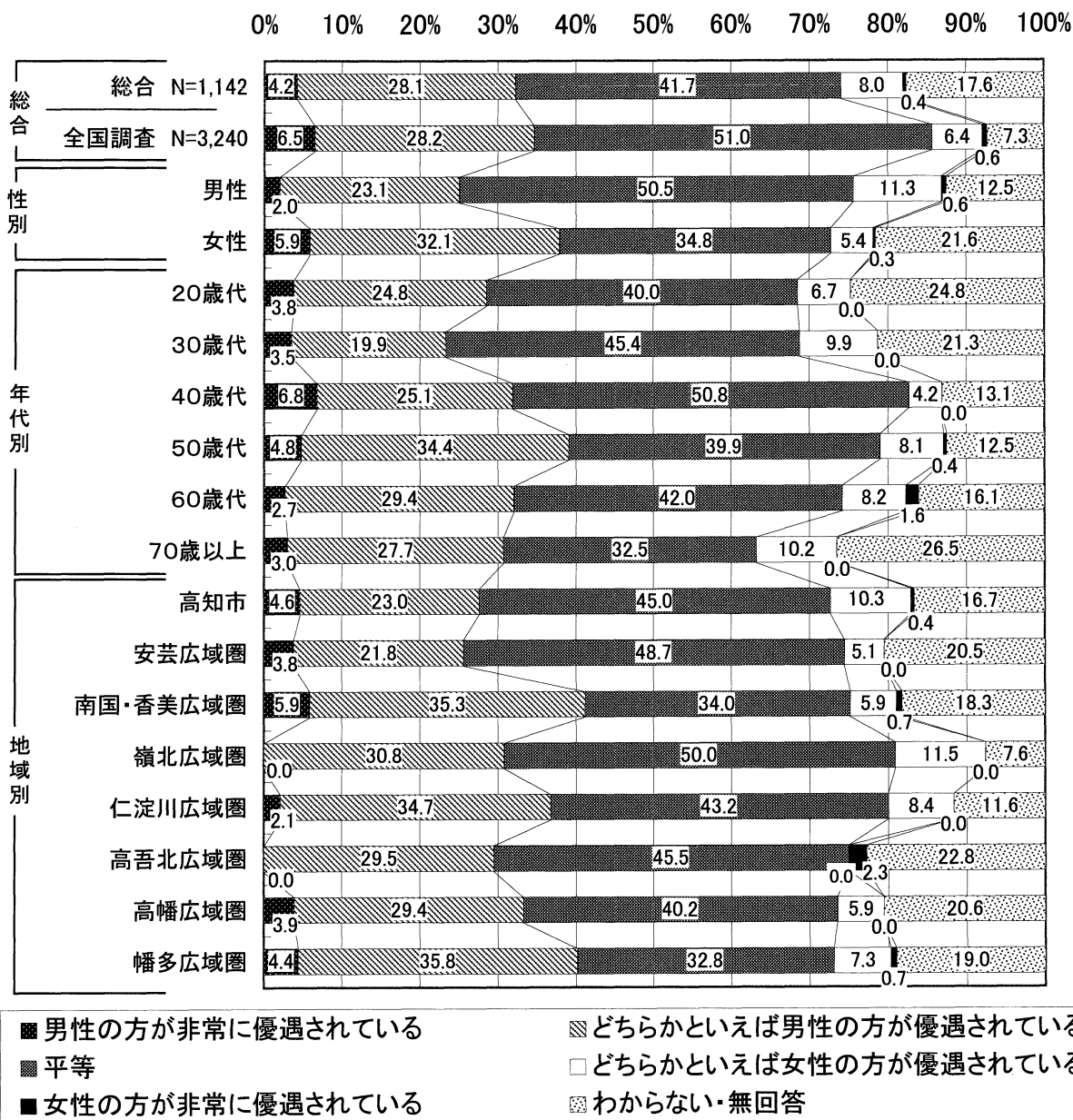
地域別に見ると、『男性優遇』は仁淀川広域圏67.3%が最も高く、嶺北広域圏42.3%、高吾北広域圏43.1%、高幡広域圏49.0%を除く地域では60%前後となっている。『平等』意識は嶺北広域圏42.3%が最も高い比率を示しており、南国・香美広域圏17.0%、幡多広域圏17.5%、仁淀川広域圏18.9%が低い比率となっている。

職業別では、全ての層で『男性優遇』と答えた人が多いが、特に専門技術職79.3%、事務職70.8%、パート・アルバイト、内職など69.1%の比率が高くなっている。『平等』は自由業36.4%、労務職34.5%、『女性優遇』は自由業18.2%、学生8.3%が比較的高い比率となっている。

(オ)地域活動の場

◆性別では、『男性優遇』は女性38.0%が男性25.1%を、『平等』は男性50.5%が女性34.8%を、『女性優遇』は男性11.9%が女性5.7%をそれぞれ上回っている。

<図1-10> 問1(オ)地域活動の場



今回の調査で新しく追加された項目である地域活動の分野では、『平等』と答えた人が高知県41.7%に対し全国調査51.0%と高知県が9.3ポイント下回っており、全国調査に比べて平等意識が低いことが見てとれる。

性別で見ると『男性優遇』（「男性の方が非常に優遇されている」+「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）は女性38.0%が男性25.1%を12.9ポイント上回り、『平等』は男性50.5%が女性34.8%を15.7ポイント、『女性優遇』（「女性の方が非常に優遇されている」+「どちらかといえば女性の方が優遇されている」）は男性11.9%が女性5.7%を6.2ポイントそれぞれ上回っており、女性は男性が優遇されていると答え、男性は平等もしくは女性が優遇されていると答えていることがわかる。

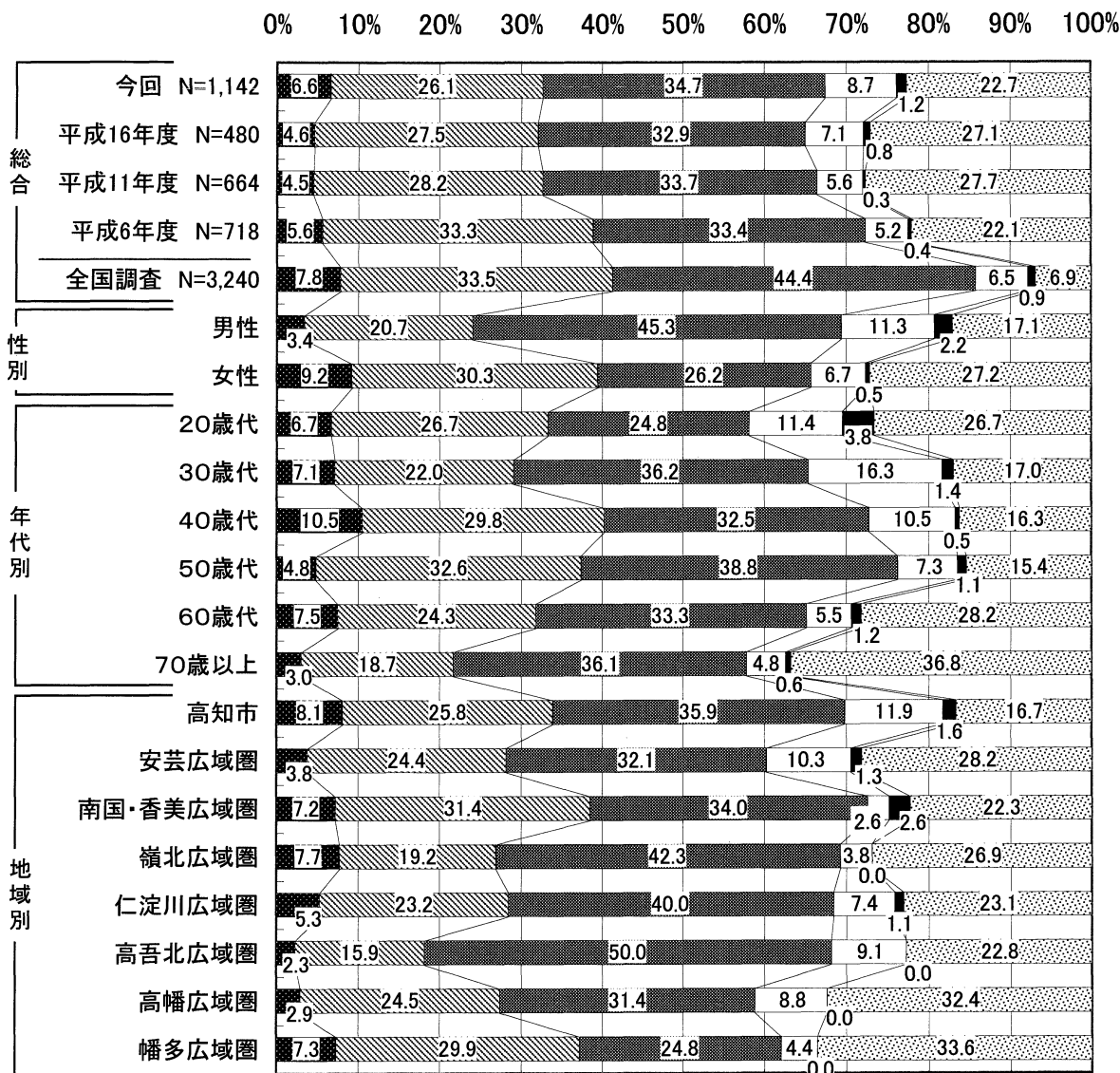
年代別に見ると、『男性優遇』は50歳代39.2%が最も高く、30歳代では23.4%と最も低くなっている。『平等』は40歳代50.8%が最も高く、70歳以上32.5%がもっとも低い比率を示している。また、『女性優遇』と答えた人の比率は40歳代4.2%が最も低い、他の年代ではあまり差が見られない。

地域別では、『男性優遇』は南国・香美広域圏41.2%、幡多広域圏40.2%などが高い。また、『女性優遇』は嶺北広域圏11.5%、高知市10.7%などが他の地域より高い。

(カ)法律や制度の上

◆性別では、『男性優遇』は女性39.5%が男性24.1%を、『平等』は男性45.3%が女性26.2%を、『女性優遇』は男性13.5%が女性7.2%を、それぞれ上回っている。

<図1-11> 問1(カ)法律や制度の上



- 男性の方が非常に優遇されている
- 平等
- 女性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- わからない・無回答

法律や制度の上の分野では、過去調査と比較してあまり変化が見られない。全国調査との比較では、『男性優遇』（「男性の方が非常に優遇されている」+「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）は高知県が32.7%に対して全国調査41.3%と、高知県が8.6ポイント下回るが、一方で『平等』は高知県34.7%に対し全国調査44.4%と、こちらも高知県が9.7ポイント下回っている。高知県と全国調査では『わからない・無回答』の比率が大きく異なることから、この分野に対する関心度の差が現れたとも考えられる。

性別で見ると、『男性優遇』は女性39.5%が男性24.1%を15.4ポイント上回り、『平等』は男性が45.3%に対し女性が26.2%で19.1ポイントと大きく上回り、『女性優遇』が男性は13.5%に対して女性が7.2%と6.3ポイント上回るなど、性別による平等意識の差が大きく現れているのが注目される。

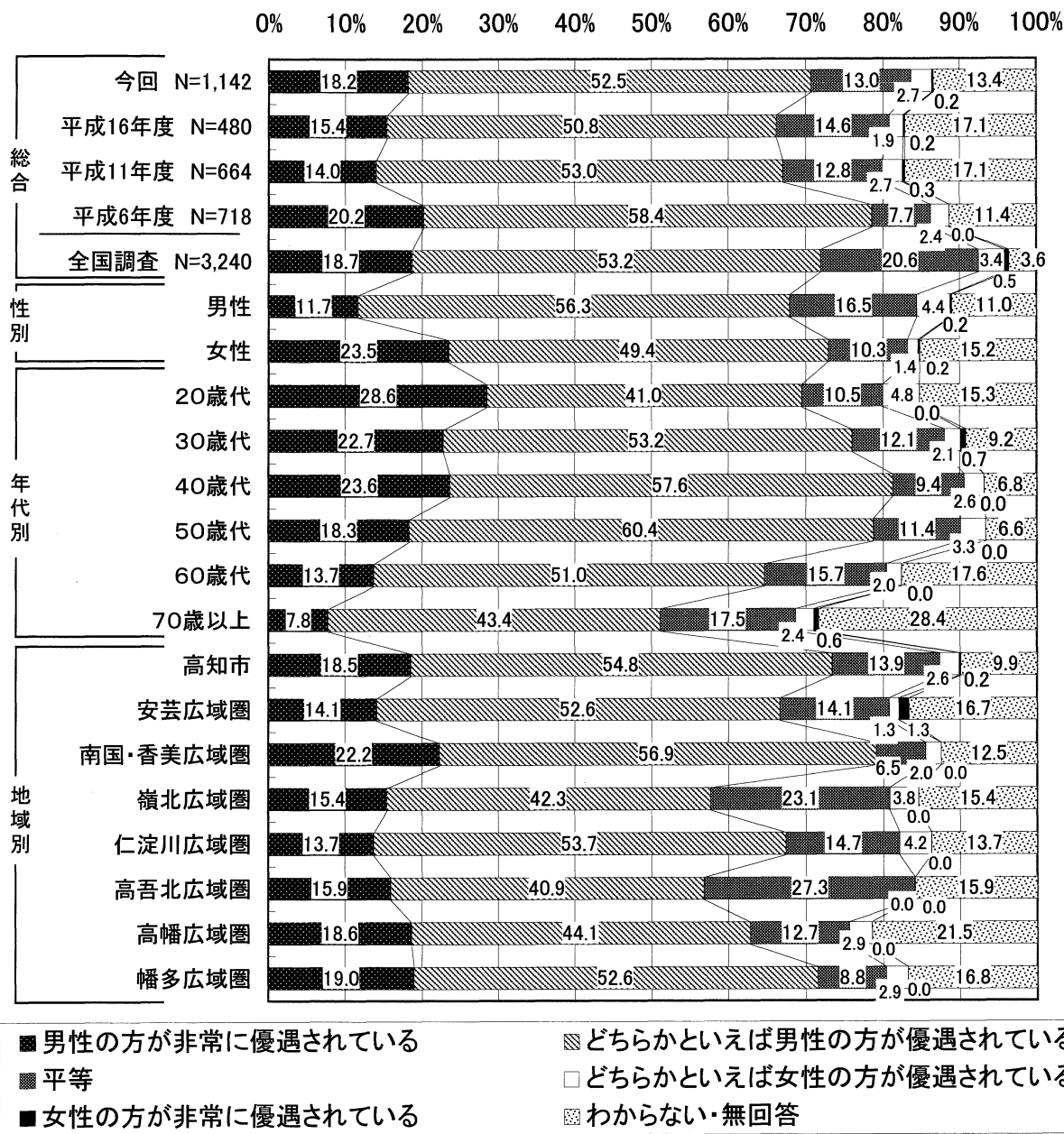
年代別では、『男性優遇』は40歳代40.3%が最も高く、70歳以上21.7%と最も低くなっている。『女性優遇』は30歳代17.7%、20歳代15.2%で比率が高いのが特徴である。

地域別では、『男性優遇』は南国・香美広域圏38.6%、幡多広域圏37.2%などで高い比率を示している。『女性優遇』では、高知市13.5%、安芸広域圏11.6%などが高い比率となっている。また、高吾北広域圏では、『男性優遇』が18.2%と低く、『平等』が50.0%と最も高くなっているが、一方で『女性優遇』も9.1%と比較的高い比率を示している。

(キ)社会通念・慣習・しきたり

◆他の分野と比べても『男性優遇』と答えた人が多い。性別では、『男性優遇』は女性72.9%が男性68.0%を、『平等』は男性16.5%が女性10.3%を、『女性優遇』は男性4.6%が女性1.6%を、それぞれ上回っている。

<図1-12> 問1(キ)社会通念・慣習・しきたり



社会通念・慣習・しきたりの分野では、他の分野と比較して『男性優遇』（「男性の方が非常に優遇されている」+「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）と答えた人が特に多い。『平等』が高知県13.0%に対し全国調査20.6%と全国調査に対し7.6ポイント下回っており、全国調査と比較すると『平等』意識が低いことが見てとれる。

性別でみると、『男性優遇』は男性68.0%に女性72.9%と4.9ポイント差、『平等』は男性16.5%に女性10.3%で6.2ポイント差、『女性優遇』（「女性の方が非常に優遇されている」+「どちらかといえば女性の方が優遇されている」）は男性4.6%に女性1.6%で3.0ポイント差となっており、他の分野と同じく異性が優遇されていると答えているものの、どちらも『男性優遇』と答える人の比率が高くなっている。

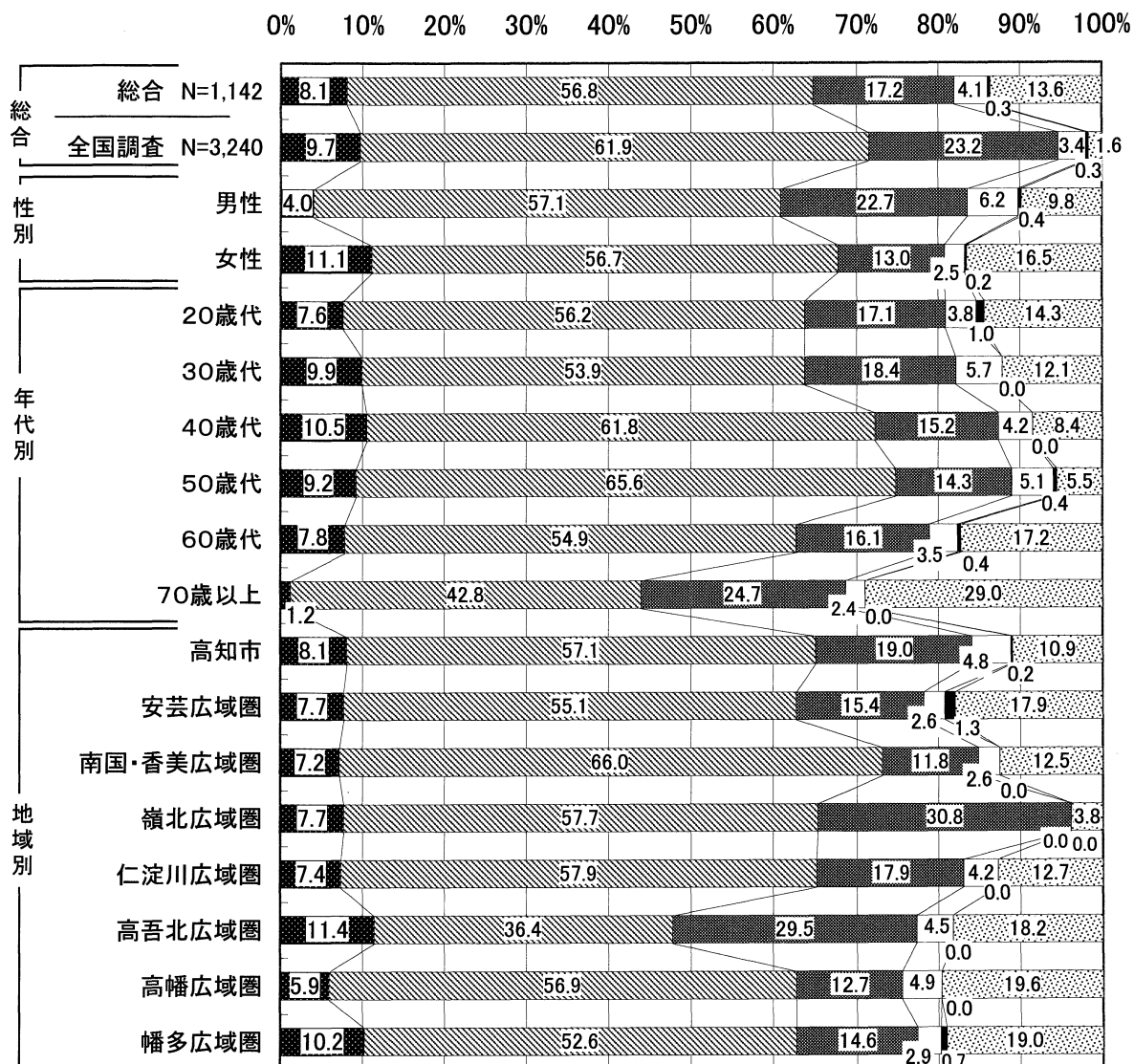
年代別では、『男性優遇』で見ると20歳代から40歳代にかけて比率が上がり、40歳代81.2%をピークに年代が高くなるにつれ比率が下がっている。『男性の方が非常に優遇されている』と答えた人の比率は20歳代28.6%が最も高く、男性の優遇度がより強いと感じているのが注目される。『男性優遇』が最も低いのは70歳代51.2%で、この年代では『平等』も17.5%と最も高くなっている。

地域別では、『男性優遇』は、最も高い南国・香美広域圏79.1%に対し、最も低い高吾北広域圏56.8%は22.3ポイントと大きな差がある。それに呼応して、『平等』は最も高い高吾北広域圏27.3%と、最も低い南国・香美広域圏6.5%では20.8ポイントの大きな差がある。

(ク)社会全体

◆全般的に『男性優遇』と答えた人が多い。性別では、『男性優遇』は女性67.8%が男性61.1%を、『平等』は男性22.7%が女性13.0%を、『女性優遇』は男性6.2%が女性2.5%を、それぞれ上回っており、男女とも『男性優遇』と答えている人が多い。

<図1-13> 問1(ク)社会全体



- 男性の方が非常に優遇されている
- 平等
- 女性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▨ わからない・無回答

今回の調査で新しく追加された項目である社会全体の分野では、全般的に『男性優遇』（「男性の方が非常に優遇されている」＋「どちらかといえば男性の方が優遇されている」）と答えた人の比率が高くなっている。全国調査と比較すると、『男性優遇』は高知県64.9%に対し全国調査71.6%と高知県が6.7ポイント低く、『平等』も高知県17.2%に全国調査23.2%と高知県が6.0ポイント低くなっている。

性別では、『男性優遇』は女性67.8%が男性61.1%を6.7ポイント上回っている。『平等』は男性22.7%が女性13.0%を9.7ポイント、『女性優遇』は男性6.2%が女性2.5%を3.7ポイントそれぞれ上回っている。

年代別では、『男性優遇』と答えた人は50歳代74.8%、40歳代72.3%が高く、70歳以上44.0%が特に低い。また『平等』は50歳代14.3%に対して70歳以上は24.7%と高い比率を示しているのが特徴である。

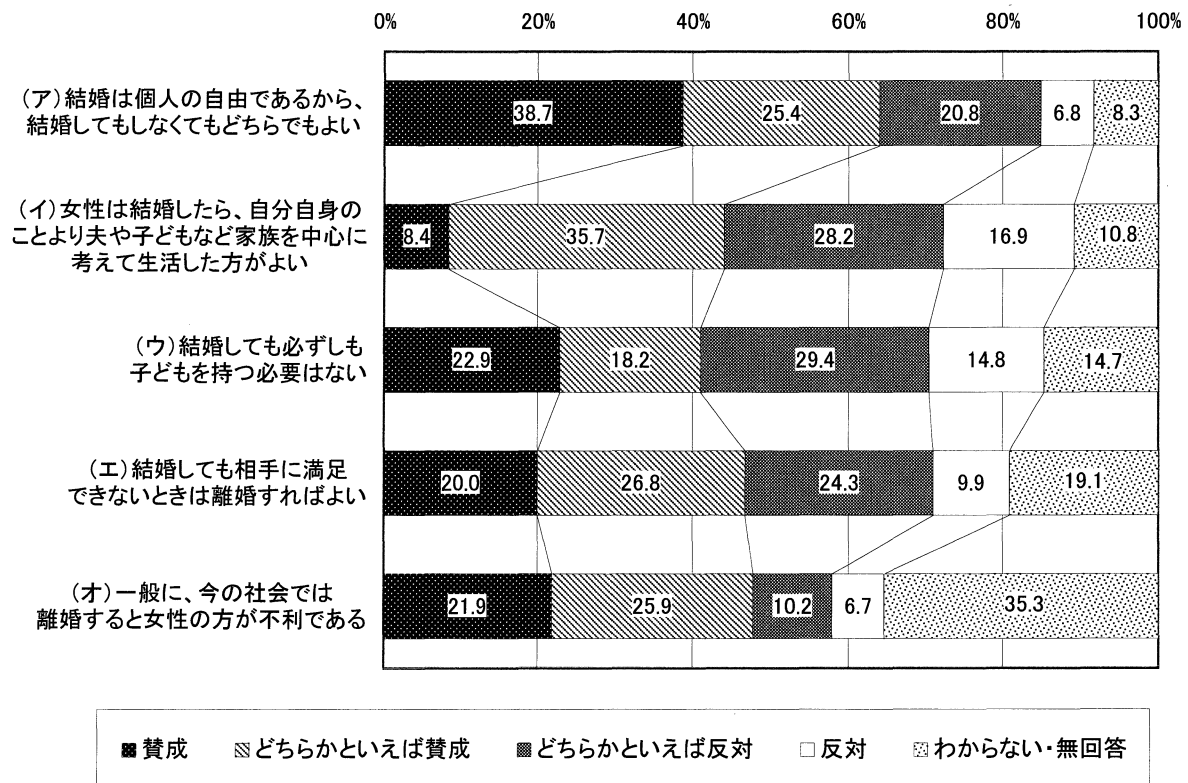
地域別では、『男性優遇』は、最も高い南国・香美広域圏73.2%が、最も低い高吾北広域圏47.8%に対して25.4ポイントと大きな差がある。『平等』意識も地域による差が大きく、最も高い嶺北広域圏30.8%に対し南国・香美広域圏11.8%は19.0ポイントと大きな差がある。

2 結婚や家庭生活について

問2 結婚、家庭、離婚について、あなたのご意見をうかがいます。(ア)から(オ)までの項目ごとに、あなたの気持ちに最も近い番号(1~5)に1つだけ○印をつけてください。

◆結婚・離婚については多様な生き方を尊重する割合が高い。結婚後の家庭生活に関して「女性は結婚したら、自分自身のことより夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい」「結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない」という考え方については賛否が分かれている。

〈図2-1〉 問2 結婚や家庭生活についての考え方 [総合 N=1,142]



結婚や家庭、離婚についての考え方に対して、『賛成』（「賛成」＋「どちらかといえば賛成」）・『反対』（「反対」＋「どちらかといえば反対」と答えた人の比率を見ると、『賛成』が多いのは、

「結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」64.1%（反対27.6%）、

「一般に、今の社会では離婚すると女性の方が不利である」47.8%（反対16.9%）、

「結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい」46.8%（反対34.2%）

の項目となっている。

一方、『反対』は、

「女性は結婚したら、自分自身のことより夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい」45.1%（賛成44.1%）、

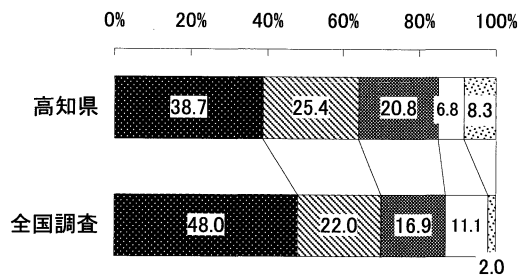
「結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない」44.2%（賛成41.1%）

の項目でわずかに高くなっている。

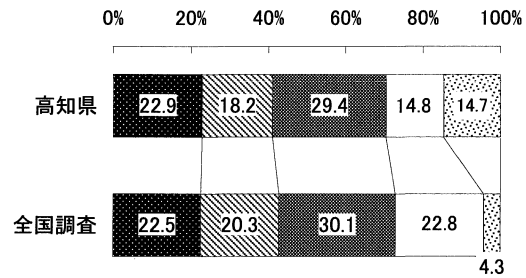
結婚、離婚に対して、多様な生き方を尊重する割合が高い。その一方で、離婚に際しては社会は女性に厳しいものであるとの意識が強く現れている。「女性は結婚したら、自分自身のことより夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい」「結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない」という考え方については、賛成・反対意見がほぼ同数という結果になっている。

〈図2-2〉 問2 結婚や家庭生活についての考え方-全国調査との比較[高知 N=1,142、全国 N=3,240]

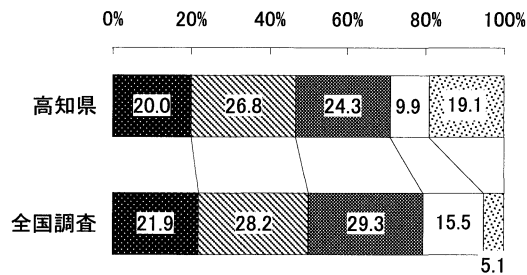
(ア)結婚は個人の自由であるから、結婚しなくてもどちらでもよい



(ウ)結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない



(エ)結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい



■ 賛成 ▨ どちらかといえば賛成 ▩ どちらかといえば反対 □ 反対 ▤ わからない・無回答

※「(イ)女性は結婚したら、自分自身のことより夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい」と「(オ)一般に、今の社会では離婚すると女性の方が不利である」は、全国調査では設定されていない

賛成・反対の割合を全国調査と比較すると、「結婚は個人の自由であるから、結婚しなくてもどちらでもよい」の項目では、高知県は賛成64.1%に対し反対27.6%、全国調査は賛成70.0%に対し反対28.0%と、高知県の方が賛成の割合がやや低くなっており、結婚する際に個人の意思を重視する意識は全国調査と比較して少し低い。

また、「結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない」では、高知県は賛成41.1%に対し反対44.2%、全国調査は賛成42.8%に対し反対52.9%と、高知県の方が反対の割合がやや低い。

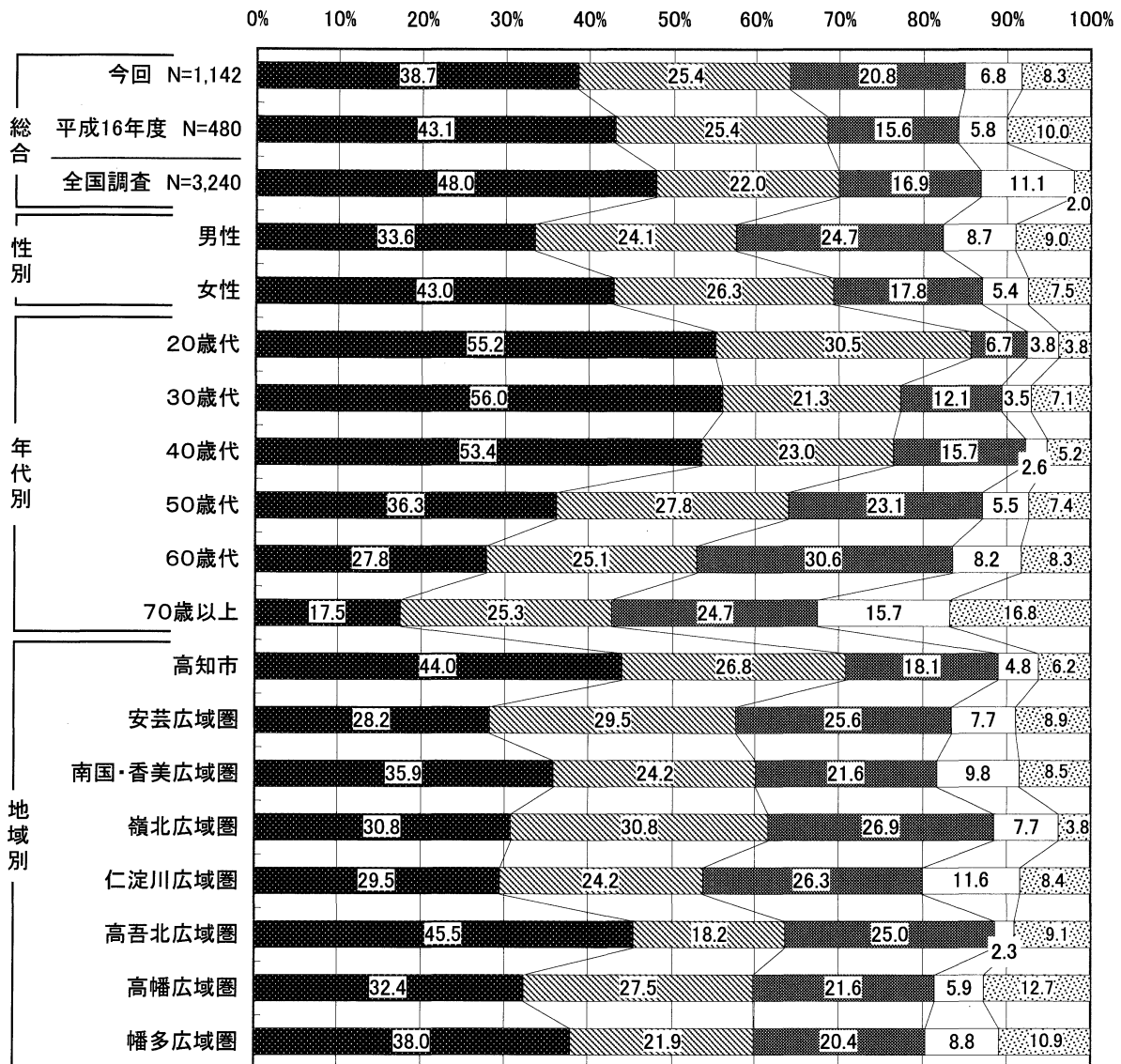
「結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい」については、高知県は賛成46.8%に対して反対34.2%、全国調査は賛成50.1%に対し反対44.8%で、高知県の方が賛成の割合が少し高い。

高知県は全国調査と比較して、多様な生き方を尊重する割合が高いと言える。

(ア)結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい

◆総合では『賛成』（「賛成」＋「どちらかといえば賛成」）64.1%が『反対』（「反対」＋「どちらかといえば反対」）27.6%を36.5ポイントも上回っている。性別では、男性は『賛成』57.7%／『反対』33.4%、女性は69.3%／23.2%となっており、女性の方が結婚の際に個人の意思を尊重する割合が高い。

<図2-3> 問2(ア)結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい



■ 賛成 ▨ どちらかといえば賛成 ■ どちらかといえば反対 □ 反対 ▩ わからない・無回答

「結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」という考え方について、前回の調査と比較すると、今回の『賛成』（「賛成」＋「どちらかといえば賛成」）／『反対』（「反対」＋「どちらかといえば反対」）の比率（以下同様）が64.1%／27.6%に対し、前回は68.5%／21.4%となっており、『反対』と答えた人の比率が高くなっている。全国調査と比較すると、高知県は64.1%／27.6%、全国調査は70.0%／28.0%と、高知県の方が『賛成』の割合がやや低くなっている。

性別で見ると、男性は57.7%／33.4%、女性は69.3%／23.2%となっており、女性の方が結婚の際に多様な生き方を尊重する割合が高い。

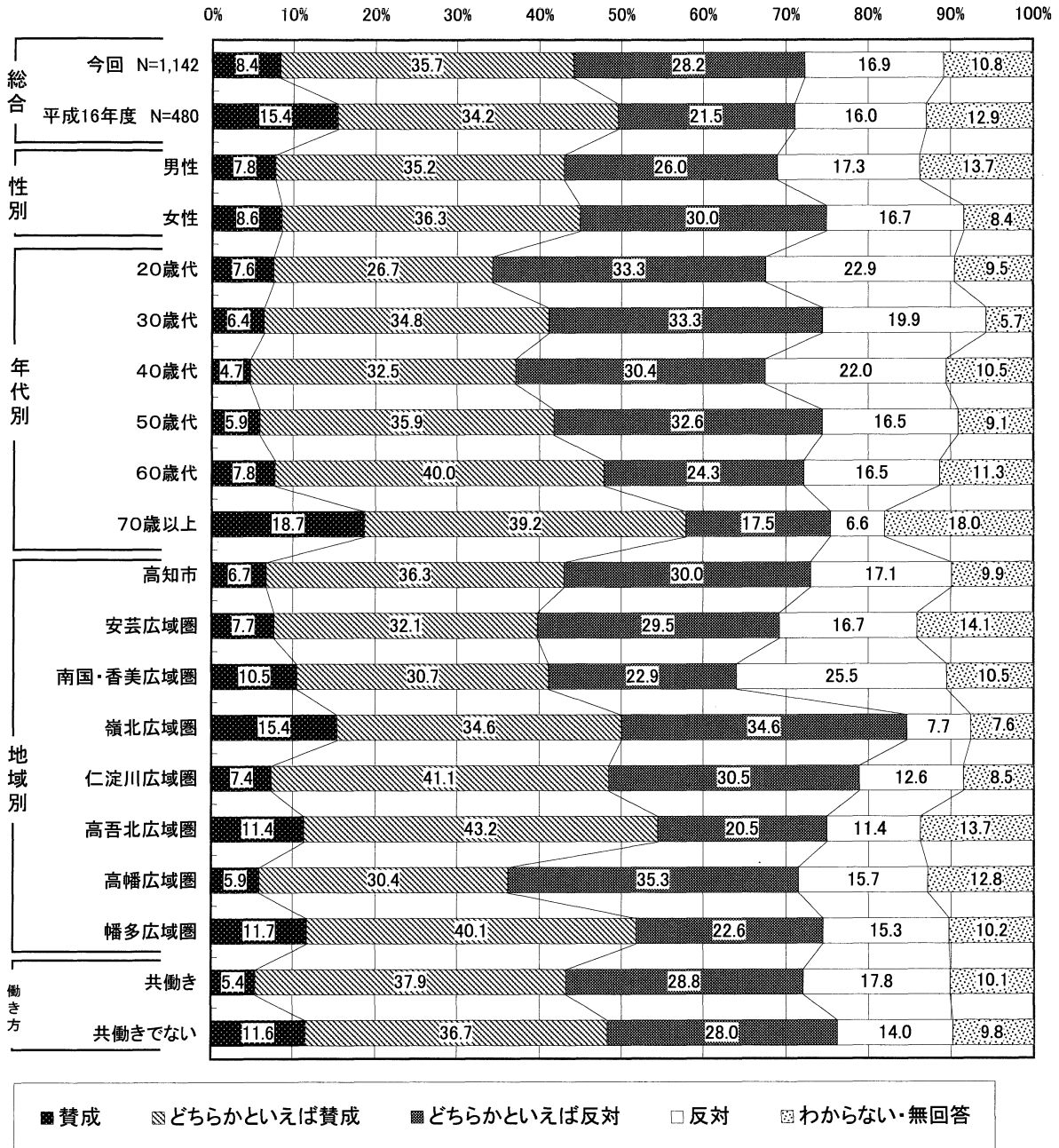
年代別では、20歳代が85.7%／10.5%と圧倒的に『賛成』をあげており、70歳以上では42.8%／40.4%と賛否がほぼ同数となっている。年代が低いほど個人の意思を重視する傾向が明確に現れている。

地域別では、高知市70.8%／22.9%が『賛成』の比率が高く、仁淀川広域圏53.7%／37.9%で『反対』と答えた人の比率が高くなっている。また、高吾北広域圏では、『賛成』と答えた人が45.5%と最も高く、積極度の高い意見で高い比率を示しているのが注目される。

(イ)女性は結婚したら、自分自身のことより夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい

◆総合では『賛成』44.1%に対して『反対』45.1%で、賛否両方に意見が分かれています。性別では、男性43.0%/43.3%、女性44.9%/46.7%で、女性の方が『反対』と答えた比率が高い。

〈図2-4〉 問2(イ)女性は結婚したら、自分自身のことより夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい



「女性に結婚したら、自分自身のことより夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい」という考え方について、前回の調査と比較すると、今回の『賛成』(「賛成」+「どちらかといえば賛成」)/『反対』(「反対」+「どちらかといえば反対」)の比率(以下同様)が44.1%/45.1%に対し、前回49.6%/37.5%で、家族中心の考え方から意識の変化が見られる。

性別で見ると、男性43.0%/43.3%、女性44.9%/46.7%で、女性の方が『反対』と答えた比率が高い。

年代別でみると、40歳代を除いて年齢が高くなるほど『賛成』の傾向が強くなっており、70歳以上は57.9%/24.1%と『賛成』が33.8ポイントと大きく上回り、20歳代では34.3%/56.2%と『反対』が21.9ポイント上回る。

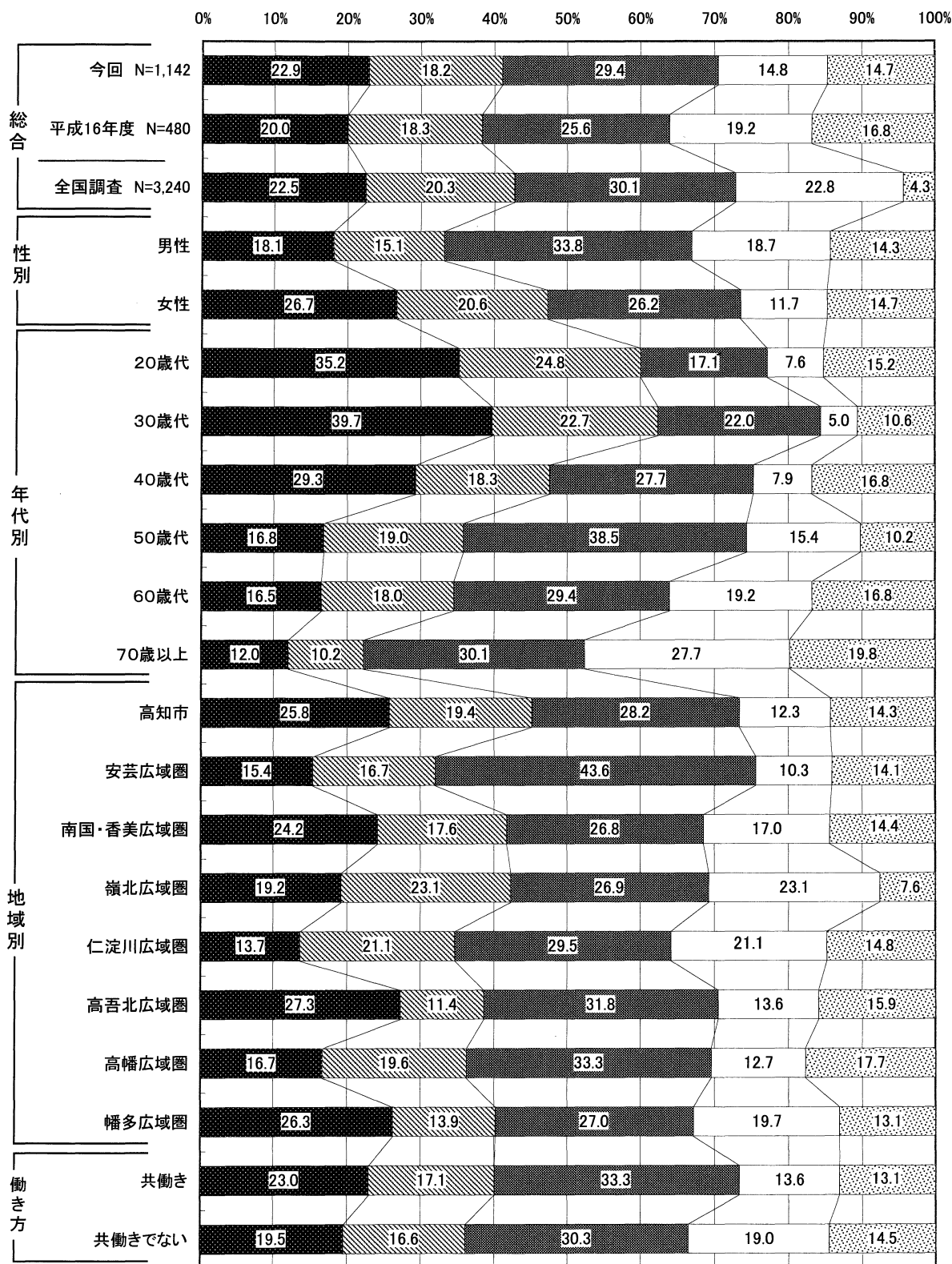
地域別では、高吾北広域圏54.6%/31.9%が『賛成』が多く、高幡広域圏では36.3%/51.0%と『反対』の方が多くなっている。高知市43.0%/47.1%、南国・香美広域圏41.2%/48.4%などでは賛否両方に意見が分かれています。

夫婦の働き方別で見ると、共働き43.3%/46.6%に対して共働きでない48.3%/42.0%と、共働きの家庭の方が『反対』と答えた比率が高い。

(ウ)結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない

◆総合では、『賛成』41.1%に対して『反対』44.2%と、ほとんど差がない。性別では、男性33.2%/52.5%に対して女性47.3%/37.9%と、男性は『反対』、女性は『賛成』の方が多くなっており、性別によって子どもを持つことに対する考えは大きく異なっている。

＜図2-5＞ 問2(ウ)結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない



■ 賛成 ▨ どちらかといえば賛成 ▩ どちらかといえば反対 □ 反対 ▤ わからない・無回答

〈図2-6〉 問2(ウ)結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない—職業別

	農林・水産業	自営— 商工・サービス業	自由業	管理職	専門技術職	事務職	労務職	パート・アルバイト、内職など	専業主婦・主夫	学生	無職	その他
賛成	11.8	16.5	27.3	21.4	31.9	27.3	27.4	32.3	21.6	20.8	16.0	29.4
どちらかといえば賛成	10.6	21.4	18.2	21.4	16.4	24.7	21.4	16.5	20.7	25.0	14.4	5.9
どちらかといえば反対	34.1	35.0	9.1	45.2	34.5	29.2	25.0	24.8	26.7	29.2	27.2	29.4
反対	24.7	16.5	27.3	7.1	8.6	8.4	10.7	12.0	15.5	12.5	21.8	17.6
わからない・無回答	18.8	10.7	18.2	4.8	8.7	10.4	15.5	14.3	15.5	12.5	20.6	17.6

「結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない」という考え方に関して、前回の調査と比較すると、今回の『賛成』（「賛成」＋「どちらかといえば賛成」）／『反対』（「反対」＋「どちらかといえば反対」）の比率（以下同様）が41.1％／44.2％に対し、前回38.3％／44.8％で、『賛成』と答えた人が増加しており、意識が変わってきたと言える。全国調査と比較すると、高知県は41.1％／44.2％、全国調査は42.8％／52.9％と、高知県の方が『反対』の割合がやや低い。

性別で見ると、男性33.2％／52.5％に対して女性47.3％／37.9％と、男性は『反対』、女性は『賛成』の方が大きいという結果で、性別によって子どもを持つことに対する考えは大きく異なることが注目される。

年代別で見ると、30代62.4％／27.0％、20代60.0％／24.7％で『賛成』と考える人の比率は非常に高く、逆に50歳代35.8％／53.9％、70歳以上22.2％／57.8％などでは多くの方が『反対』、すなわち子どもを持つべきだと考えている人の比率が高いことが分かる。

地域別では、安芸広域圏32.1％／53.9％や仁淀川広域圏34.8％／50.6％などで『反対』だと答えた人が多い。

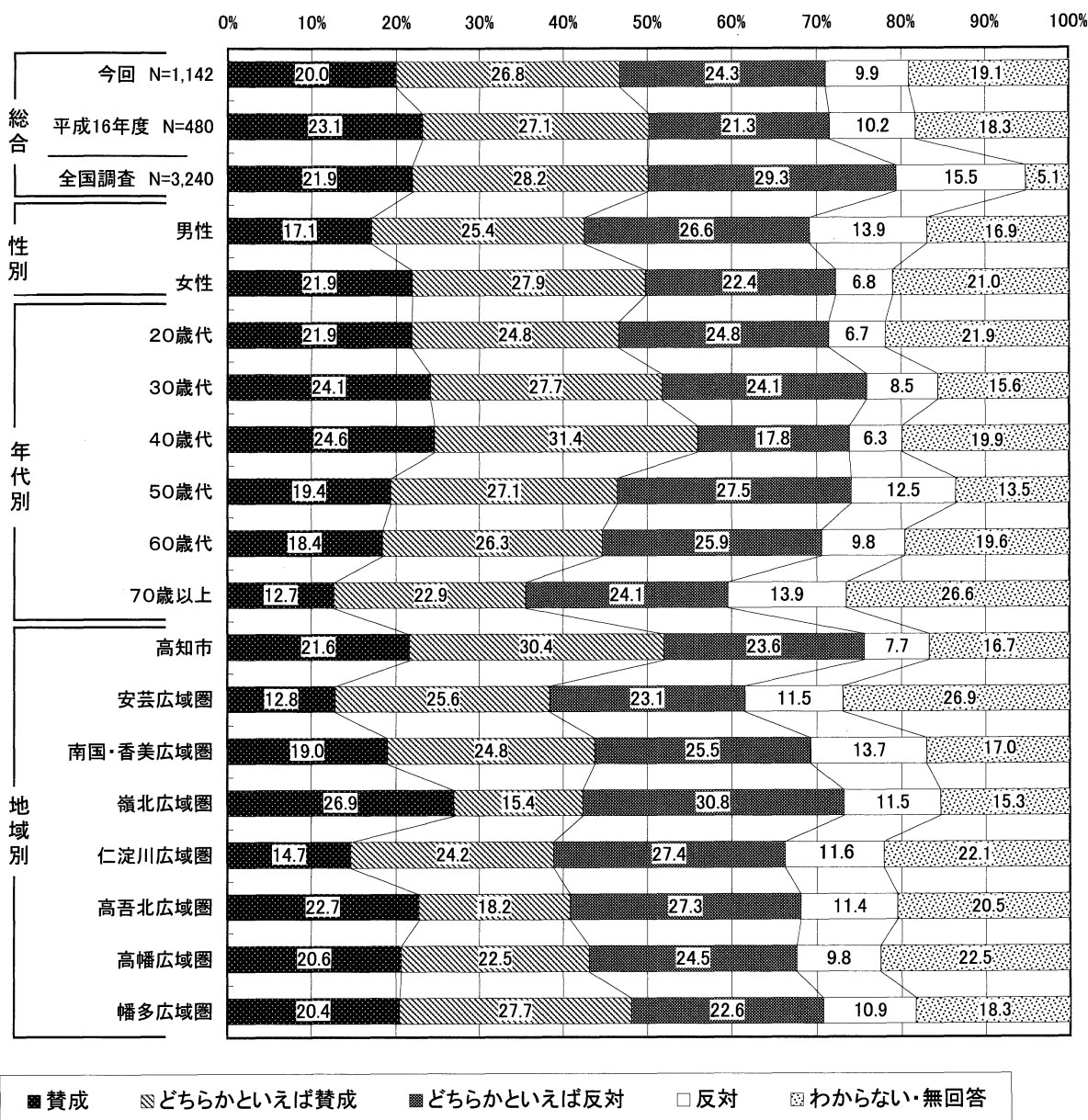
夫婦の働き方別では、共働き40.1％／46.9％、共働きでない36.1％／49.3％と、共働きの家庭の方が『賛成』、すなわち必ずしも子どもを持つ必要はないと考える人の比率が高いことが分かる。

職業別で見ると、多くの職業で『どちらかといえば反対』と答えた人が多いが、賛成／反対の比率で見ると、自由業45.5％／36.4％、事務職52.0％／37.6％、労務職48.8％／35.7％、パート・アルバイト、内職など48.8％／36.8％で、『賛成』と答えた人の方が多くことが注目される。『反対』は自営—農林・水産業22.4％／58.8％、自営—商工・サービス業37.9％／51.5％など自営業に就く人に多い。

(エ)結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい

◆総合では、『賛成』46.8%に対して『反対』34.2%と、『賛成』と答えた人が多い。性別では、男性42.5%/40.5%、女性49.8%/29.2%と、女性の方が、離婚の際においても多様な生き方を尊重する割合が高いと言える。

〈図2-7〉 問2(エ)結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい



「結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい」という考え方について、前回の調査と比較すると、今回の『賛成』（「賛成」＋「どちらかといえば賛成」）／『反対』（「反対」＋「どちらかといえば反対」）の比率（以下同様）が46.8%/34.2%に対し、前回50.2%/31.5%となっており、前回と比べてやや『反対』寄りに変わっている。全国調査と比較すると、高知県は46.8%/反対34.2%、全国調査は50.1%/44.8%で、高知県の方が『賛成』の割合が少し高く、離婚の際に多様な生き方を尊重する割合は、全国調査と比較して少し高いと言える。

性別では、男性42.5%/40.5%、女性49.8%/29.2%と、女性の方が、結婚する時と同様に離婚の際においても多様な生き方を尊重する割合が高いと言える。

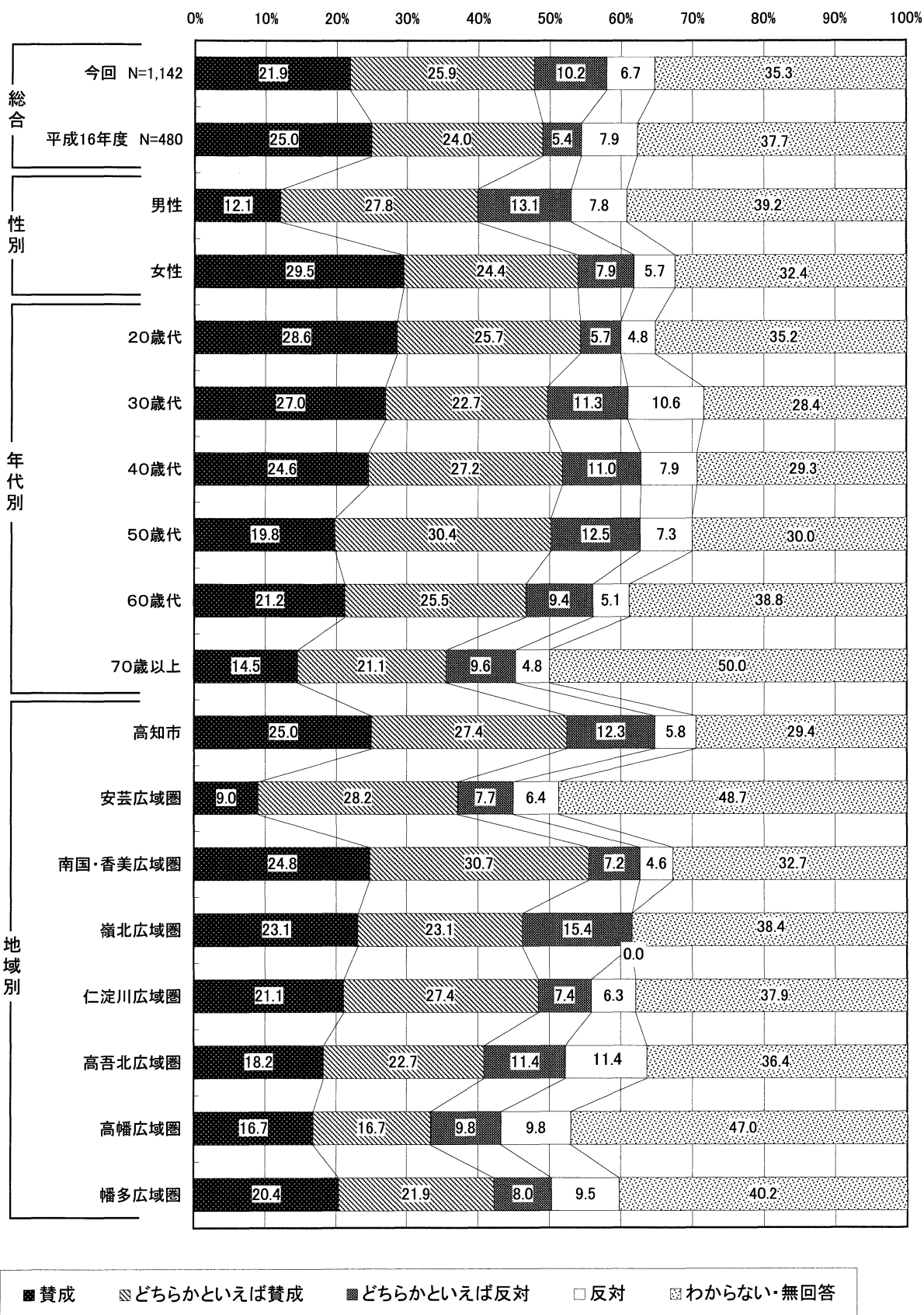
年代別に見ると、40歳代56.0%/24.1%で『賛成』の比率が最も高く、年代が高くなるほど『賛成』の比率は下がっており、低い年代ほど離婚に対して慎重な考え方であると言える。一方で50歳代46.5%/40.0%では『反対』の比率も高く、賛否が分かれる結果となっている。

地域別では、高知市52.0%/31.3%で『賛成』と答えた人が多く、嶺北広域圏42.3%/42.3%、仁淀川広域圏38.9%/39.0%などの地域で賛否が分かれている。

(オ)一般に、今の社会では離婚すると女性の方が不利である

◆総合では、『賛成』47.8%に対して『反対』16.9%と、『賛成』と答えた人が多い。性別では、男性39.9%/20.9%、女性53.9%/13.6%で、どちらも『賛成』と答えた人の方が多いが、女性はその中でも「賛成」の選択肢を選んだ人が29.5%を占めるなど、女性の方がより強く「女性の方が不利だ」と感じていることが分かる。

<図2-8> 問2(オ)一般に、今の社会では離婚すると女性の方が不利である



〈図2-9〉 問2(オ)一般に、今の社会では離婚すると女性の方が不利である－職業別

	農林・水産業	自営 農林・水産業	自営 商工・サービス業	自由業	管理職	専門技術職	事務職	労務職	パート・アルバイト、内職など	専業主婦・主夫	学生	無職	その他
賛成	12.9	12.6	18.2	14.3	33.6	22.1	19.0	25.6	33.6	16.7	19.3	17.6	
どちらかといえば賛成	25.9	25.2	9.1	28.6	27.6	33.1	21.4	30.1	21.6	41.7	22.2	23.5	
どちらかといえば反対	10.6	14.6	9.1	19.0	7.8	14.3	9.5	5.3	7.8	8.3	9.9	11.8	
反対	3.5	6.8	27.3	9.5	6.9	5.8	11.9	6.0	6.0	4.2	4.5	23.5	
わからない・無回答	47.1	40.7	36.4	28.6	24.2	24.7	38.1	33.1	31.0	29.2	44.1	23.5	

「一般に、今の社会では離婚すると女性の方が不利である」という考え方について、前回の調査と比較すると、今回の『賛成』（「賛成」＋「どちらかといえば賛成」）／『反対』（「反対」＋「どちらかといえば反対」）の比率（以下同様）が47.8％／16.9％に対し、前回49.0％／13.3％となっており、やや「不利である」と考える人が少なくなっている。また、この項目については、全般的に『賛成』と答えた人が多い。その一方で、他の項目と比較してもほとんどの層で『わからない・無回答』の比率が高く、客観的に判断しづらい問題であるとも考えられる。

性別で見ると、男性39.9％／20.9％、女性53.9％／13.6％という結果で、どちらも『賛成』の方が多いが、女性はその中でも「賛成」の選択肢を選んだ人が29.5％を占めるなど、女性の方がより強く「女性の方が不利だ」と感じていることが分かる。

年代別では、20歳代54.3％／10.5％で『賛成』の比率が最も高い。また、『反対』は30歳代49.7％／21.9％で比率が高くなっている。

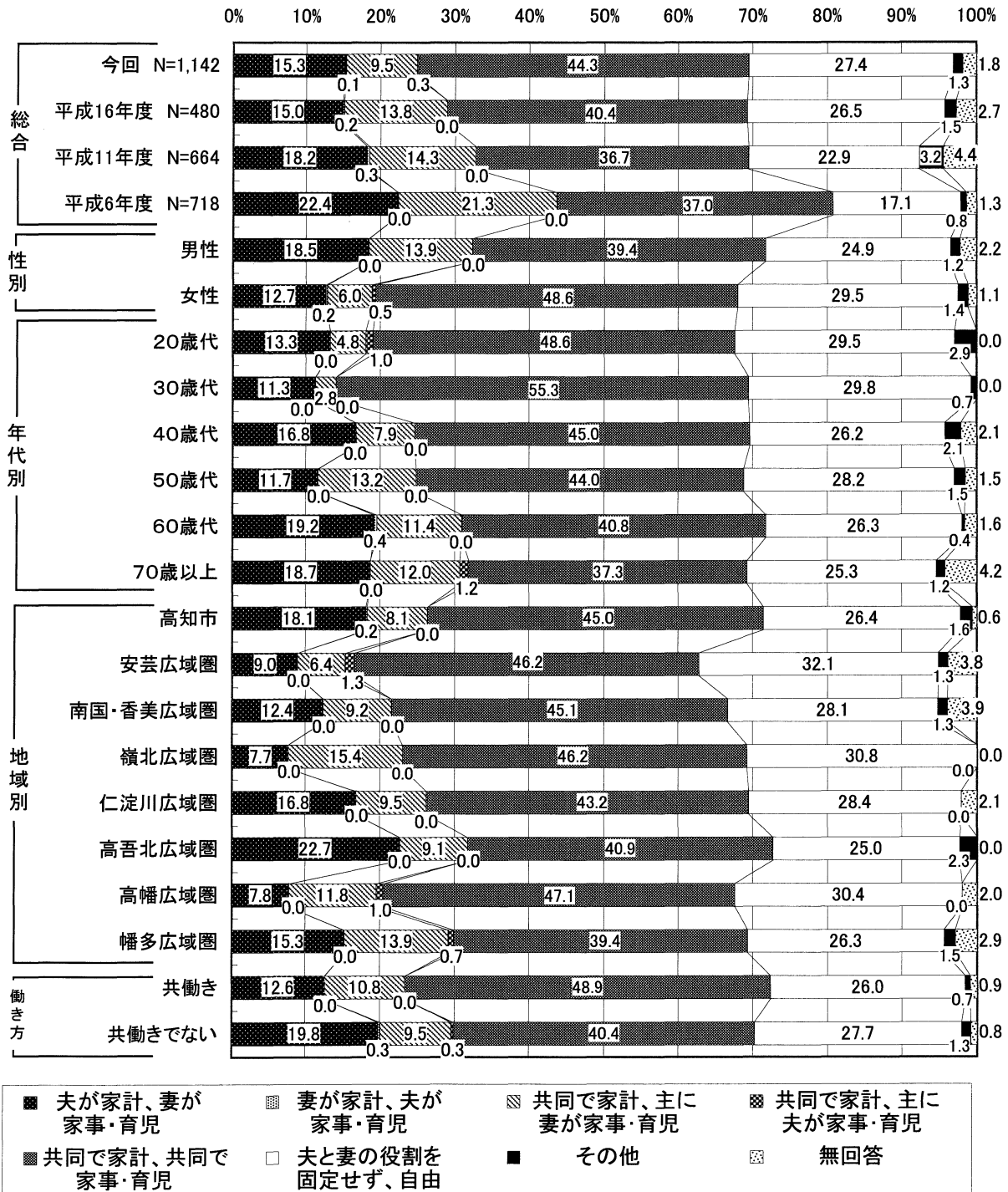
地域別では、南国・香美広域圏55.5％／11.8％や高知市52.4％／18.1％で過半数の人が『賛成』と答え、これらの地域では「離婚すると女性の方が不利だ」と考えている人が多いことが分かる。

職業別に見ると、ほとんどの職業で『賛成』が多数を占めるが、特に専門技術職61.2％／14.7％、パート・アルバイト、内職など55.7％／11.3％、学生58.4％／12.5％などで『賛成』の比率が高い。また、『反対』は自由業27.3％／36.4％で高い比率を占めている。

問3 家庭における男女の役割分担について、あなたの理想に最も近いものはどれですか。
(1つだけ○印)

◆男女ともに「共同で家計、共同で家事・育児」と答えている人は多い。
男性では「夫が家計、妻が家事・育児」「共同で家計、主に妻が家事・育児」と答えている人も多く、共働きであっても家事・育児は妻に負担を求めていることがわかる。まだまだ、家事・育児は女性が担うべきと考えていることが見て取れる。

〈図3-1〉 問3 家庭における男女の役割分担の理想



〈図3-2〉 問3 家庭における男女の役割分担の理想－職業別

	農林・水産業	自営 農林・水産業	自営 商工・サービス業	自由業	管理職	専門技術職	事務職	労務職	パート・アルバイト、内職など	専業主婦・主夫	学生	無職	その他
夫が家計を支え、妻が家事・育児に専念する	16.5	17.5	63.6	21.4	9.5	7.8	15.5	11.3	21.6	12.5	18.5	11.8	
妻が家計を支え、夫が家事・育児に専念する	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	
夫と妻が共同で家計を支え、主に妻が家事・育児を分担する	17.6	13.6	0.0	9.5	9.5	9.1	11.9	3.0	3.4	4.2	11.1	17.6	
夫と妻が共同で家計を支え、主に夫が家事・育児を分担する	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.8	0.0	
夫と妻が共同で家計を支え、共同で家事・育児を分担する	30.6	38.8	27.3	38.1	55.2	48.7	41.7	52.6	44.8	62.5	39.9	47.1	
夫と妻の役割を固定せず、家事・育児も分担制にせず自由に行う	31.8	27.2	0.0	31.0	25.0	31.8	27.4	30.1	28.4	20.8	24.7	5.9	
その他	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	1.5	0.9	0.0	2.5	5.9	
無回答	3.5	1.0	9.1	0.0	0.9	0.6	3.6	0.8	0.0	0.0	2.5	11.8	

家庭における男女の役割分担について理想を聞くと、総合では「共同で家計、共同で家事・育児」44.3%が最も多くあがっている。次いで「夫と妻の役割を固定せず、自由」27.4%が高く、どちらがどう仕事を分担するか、という固定した考えよりも、共同で家計・家事を受け持ったり枠組みを決めずに自由に行うことが望まれていることが分かる。過去の調査と比較しても、「共同で家計・家事」「役割を固定しない」とともに増加している。

性別で見ると、男性39.4%、女性48.6%ともに「共同で家計・家事」をあげた人が最も多いが、それ以下については、男性は「夫が家計、妻が家事・育児」18.5%「共同で家計、主に妻が家事・育児」13.9%の役割を固定する考え、女性は「夫と妻の役割を固定せず、自由」29.5%の役割を固定しない考えが比較的高くなっているのが注目される。

年代別では、「共同で家計、共同で家事・育児」は30歳代55.3%が最も高く、60歳代19.2%、70歳以上18.7%では「夫が家計、妻が家事・育児」の従来型役割分担を望む比率が高くなっている。

地域別では、「夫が家計、妻が家事・育児」は高吾北広域圏22.7%、高知市18.1%などで高い比率を示している。「共同で家計、主に妻が家事・育児」は嶺北広域圏15.4%、幡多広域圏13.9%で高く、「共同で家計、共同で家事・育児」は高幡広域圏47.1%、安芸広域圏・嶺北広域圏各46.2%などで特に高くなっており、地域によって男女の役割分担の理想には差が見られる。

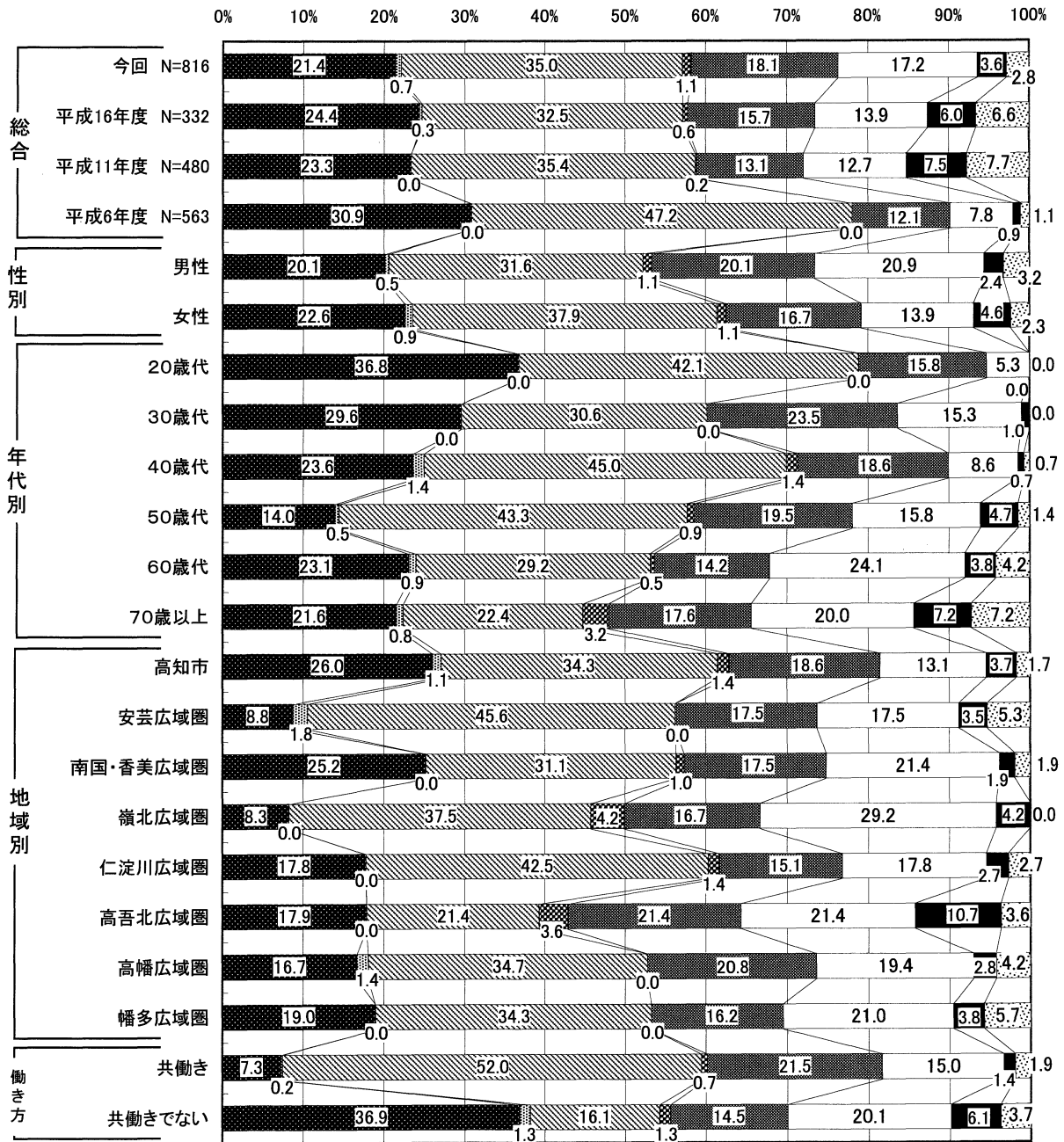
夫婦の働き方別で見ると、「共同で家計、共同で家事・育児」は共働き世帯48.9%に対し共働きでない世帯40.4%と、共働きの世帯の方が共同で受け持つことを望む気持ちが強いことが分かる。共働きでない世帯では「夫が家計、妻が家事・育児」が19.8%と、従来型の役割分担を支持する比率が高いのも注目される。

職業別では、ほとんどの職業で「共同で家計、共同で家事・育児」をあげる人が多いが、自営一農林・水産業で「夫と妻の役割を固定せず、自由」が31.8%とやや高く、自由業では「夫が家計、妻が家事・育児」が63.6%と最も高い比率を示している。

問4 (結婚されている方だけお答えください) 現在、あなたの家庭では夫婦の役割分担をどのようにしていますか。(1つだけ○印)

◆「共同で家計、妻が家事・育児」が高い比率。「共同で家計、家事・育児」「夫と妻の役割を固定せず、自由」は過去の調査と比べ増加している。20歳代では「夫が家計、妻が家事・育児」の比率が高い。共働き世帯では、「共同で家計、主に妻が家事・育児」が52.0%と過半数を占めている。

<図4-1> 問4 家庭における男女の役割分担の現実



■ 夫が家計、妻が家事・育児
 ■ 妻が家計、夫が家事・育児
 ■ 共同で家計、主に妻が家事・育児
 ■ 共同で家計、主に夫が家事・育児
 ■ 共同で家計、共同で家事・育児
 ■ 夫と妻の役割を固定せず、自由
 ■ その他
 ■ 無回答

〈図4-2〉 問4 家庭における男女の役割分担の現実－職業別

	農林・水産業	自営業	商工・サービス業	自営業	自由業	管理職	専門技術職	事務職	労務職	パート・アルバイト内職など	専業主婦・主夫	学生	無職	その他
夫が家計を支え、妻が家事・育児に専念する	15.8	18.5	22.2	18.4	7.8	11.8	20.0	14.7	63.1	0.0	14.3	40.0		
妻が家計を支え、夫が家事・育児に専念する	0.0	0.0	11.1	0.0	1.3	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0		
夫と妻が共同で家計を支え、主に妻が家事・育児を分担する	43.4	46.9	55.6	31.6	42.9	50.5	32.0	50.0	5.4	0.0	24.2	40.0		
夫と妻が共同で家計を支え、主に夫が家事・育児を分担する	0.0	1.2	0.0	2.6	1.3	3.2	0.0	0.0	0.9	0.0	1.2	0.0		
夫と妻が共同で家計を支え、共同で家事・育児を分担する	13.2	12.3	11.1	28.9	28.6	15.1	24.0	16.7	11.7	0.0	20.5	20.0		
夫と妻の役割を固定せず、家事・育児も分担制にせず自由に行う	22.4	16.0	0.0	15.8	13.0	14.0	22.0	13.7	9.0	0.0	26.7	0.0		
その他	0.0	2.5	0.0	2.6	5.2	2.2	2.0	3.9	6.3	0.0	5.0	0.0		
無回答	5.3	2.5	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	1.0	3.6	0.0	6.8	0.0		

家庭における男女の役割分担についての各家庭での現状を聞くと、総合では「共同で家計、主に妻が家事・育児」35.0%が一番多く、共働きで家計を支えている人が多いことが見てとれる。その後には「夫が家計、妻が家事・育児」21.4%、「共同で家計、共同で家事・育児」18.1%、「夫と妻の役割を固定せず、自由」17.2%が続く。過去調査との比較では、「夫が家計、妻が家事・育児」「共同で家計、主に妻が家事・育児」はあまり変化が見られないが、「共同で家計、共同で家事・育児」「夫と妻の役割を固定せず、自由」の項目は少しずつ増えてきているのが注目される。

性別では、男性は「共同で家計、共同で家事・育児」20.1%、「夫と妻の役割を固定せず、自由」20.9%が、女性は「共同で家計、主に妻が家事・育児」37.9%が比較的高くなっている。

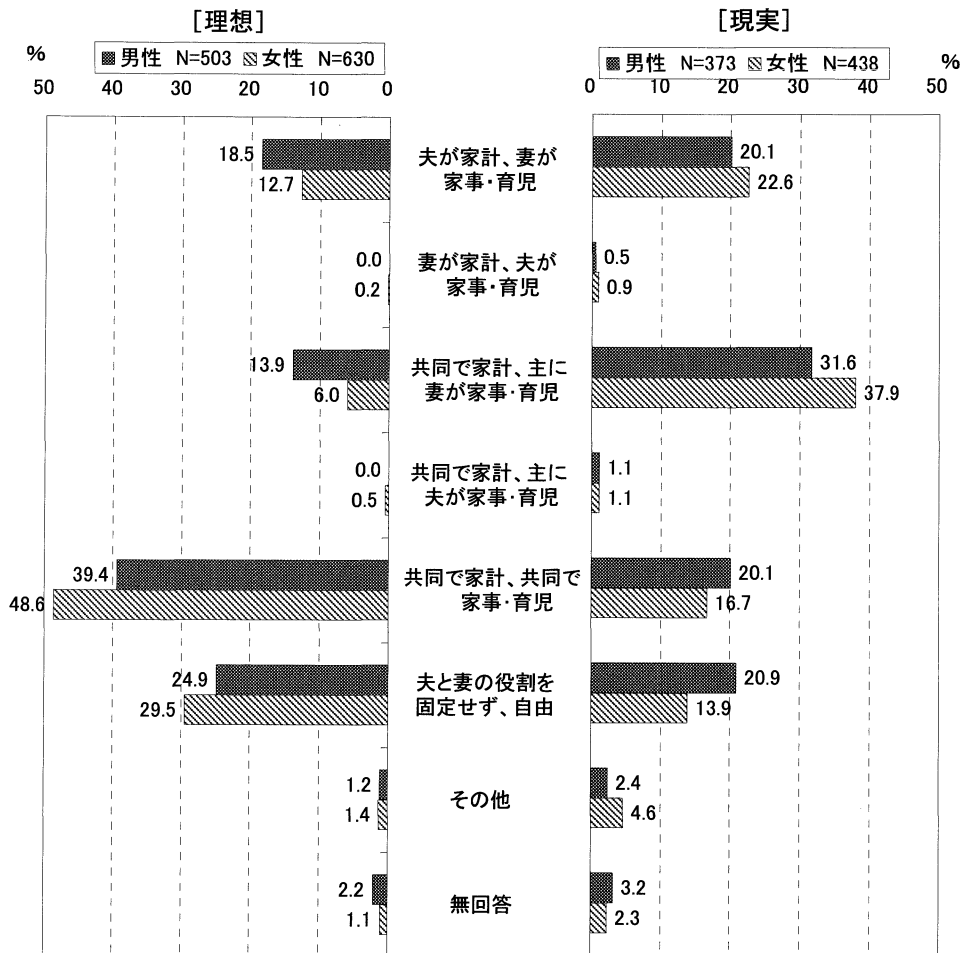
年代別では、「夫が家計、妻が家事・育児」は20歳代36.8%がもっとも高く、最も少ない50歳代14.0%まで年代が高くなるにつれ比率が下がっていく。「共同で家計、主に妻が家事・育児」は40歳代45.0%、50歳代43.3%、20歳代42.1%などで高い。「共同で家計、共同で家事・育児」は30歳代23.5%で高く、定年以降の60歳代以上では「夫と妻の役割を固定せず、自由」が高くなっている。

地域別では、「夫が家計、妻が家事・育児」は高知市26.0%、南国・香美広域圏25.2%などで高く、「共同で家計、主に妻が家事・育児」は安芸広域圏45.6%、仁淀川広域圏42.5%などで高い比率を示している。「夫と妻の役割を固定せず、自由」は嶺北広域圏29.2%での比率が高い。

夫婦の働き方別で見ると、共働き世帯では「共同で家計、主に妻が家事・育児」が52.0%と過半数を占め、「共同で家計、共同で家事・育児」21.5%が続く。共働きでない世帯では「夫が家計、妻が家事・育児」が最も多く36.9%、「夫と妻の役割を固定せず、自由」20.1%が高い比率となっている。

職業別で見ると、多くの層で「共同で家計を支え、主に妻が家事・育児」と答えている。その中で、管理職28.9%、専門技術職28.6%などでは「共同で家計、共同で家事・育児」も高い比率を示しているのが特徴である。

〈図4-3〉 問3・4 家庭における男女の役割分担 「理想」と「現実」との比較



家庭における男女の役割分担を、問3の『理想』と問4の『現実』とで比較すると、両者の間には差異が各項目で見られる。

「共同で家計、主に妻が家事・育児」の理想は男性／女性が13.9％／6.0％（以下同様）に対して現実には31.6％／37.9％と男女とも現実の方が20～30ポイントほど高く、逆に「共同で家計、共同で家事・育児」の理想は39.4％／48.6％、現実には20.1％／16.7％と現実が20～30ポイントほど低い。「夫と妻の役割を固定せず、自由」では、男性の理想が24.9％に対して現実には20.9％と差は少ないが、女性では理想が29.5％に対して現実には13.9％と、15.6ポイントの大きな差がある。

このことから、役割分担の理想としては共同で家計・家事を分担もしくは役割を固定しない暮らしを望んでいるものの、現実的には妻が家事・育児を受け持っている家庭が多い、という現状が浮かび上がってくる。

3 職業生活・社会参画について

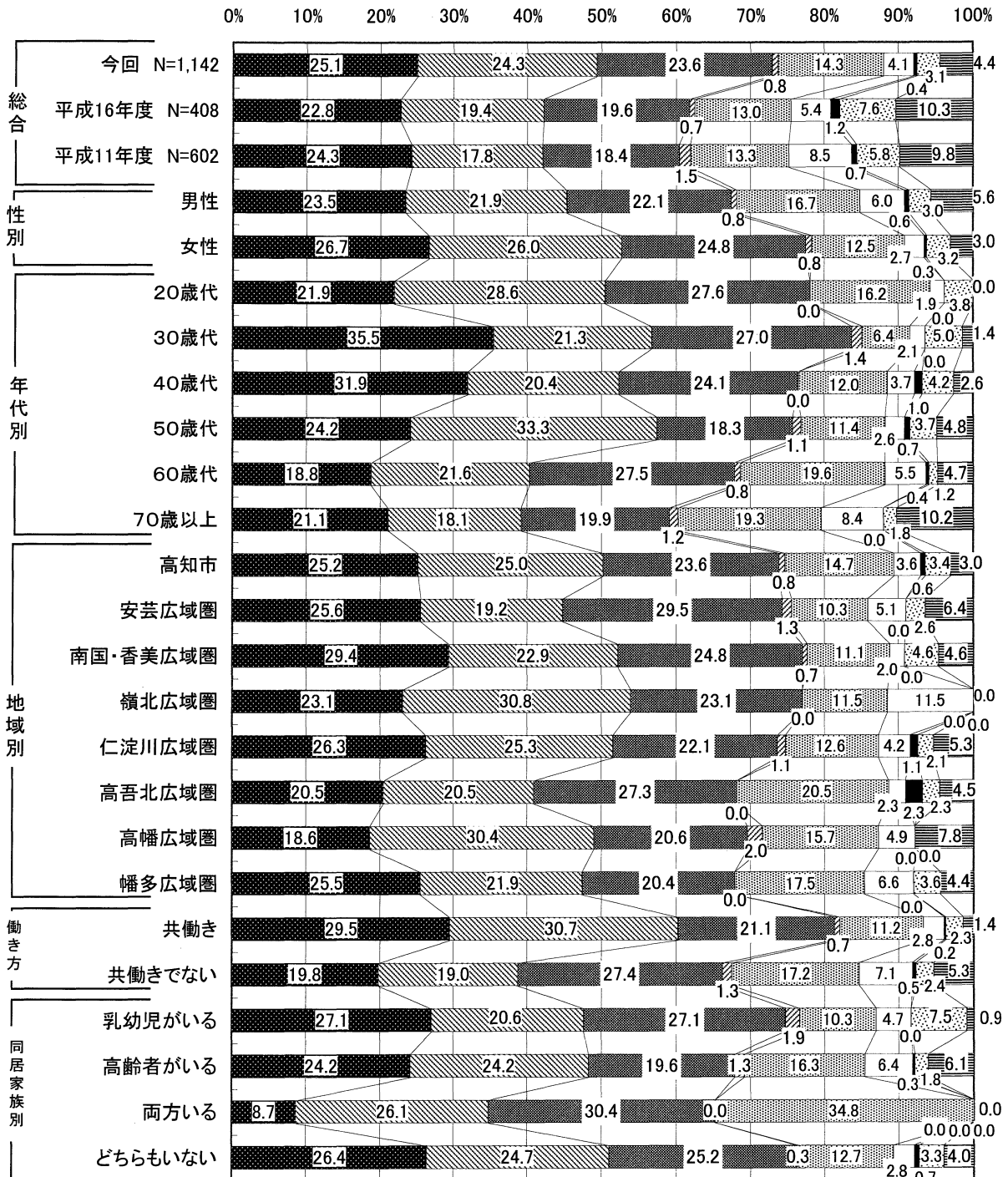
問5 女性の働き方についておたずねします。あなたが、女性の望ましい働き方と思うものはどれですか。(1つだけ○印)

◆女性の働き方での望ましい形を聞くと、総合では「結婚や出産に関わらず、仕事を続ける」25.1%、「子育ての時期だけ一時やめて、その後はフルタイムで仕事を続ける」24.3%、「子育ての時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事を続ける」23.6%の3項目を合わせた『結婚、出産後も仕事を続ける』が73.0%と大きな比率を占めているのが特徴。

性別では、『結婚、出産後も仕事を続ける』系統の項目はいずれも女性が男性を2~4ポイント程度上回り、合計が男性67.5%に対し女性77.5%と、女性が10ポイント上回る比率で仕事を続けることを望んでいることがわかる。

夫婦の働き方別で見ると、『結婚、出産後も仕事を続ける』は共働き世帯81.3%に対して共働きでない世帯66.2%と、共働き世帯が15.1ポイント上回る比率で仕事を続けることを望んでいることが注目される。

〈図5-1〉 問5 女性の理想の働き方



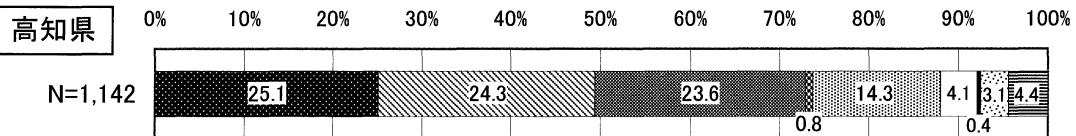
■ 結婚や出産に関わらず、仕事を続ける
 ■ 子育ての時期だけ一時やめて、その後はフルタイムで仕事を続ける
 ■ 子育ての時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事を続ける
 ▨ 学校卒業後は仕事をせず、結婚後または子育て終了後から仕事をする
 ▨ 出産するまでは仕事を持つが、子どもができたなら家事や育児に専念する
 □ 結婚するまでは仕事をして、結婚後は家事に専念する
 ■ 仕事をしない
 ■ その他
 ■ 無回答

〈図5-2〉 問5 女性の理想の働き方－職業別

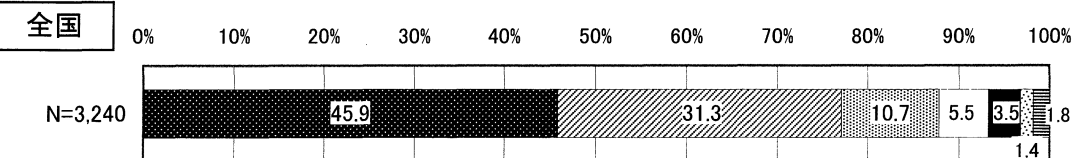
	農 林 ・ 水 産 業	商 工 ・ サ ー ビ ス 業	自 由 業	管 理 職	専 門 技 術 職	事 務 職	労 務 職	パ ー ト ・ ア ル バ イ ト 、 内 職 な ど	専 業 主 婦 ・ 主 夫	学 生	無 職	そ の 他
結婚や出産に関わらず、仕事を続ける	20.0	16.5	36.4	40.5	35.3	39.6	21.4	27.1	18.1	20.8	18.5	5.9
子育ての時期だけ一時やめて、その後フルタイムで仕事を続ける	31.8	26.2	18.2	28.6	25.9	26.6	19.0	26.3	24.1	37.5	18.1	17.6
子育ての時期だけ一時やめて、その後パートタイムで仕事を続ける	14.1	21.4	18.2	14.3	17.2	18.8	33.3	31.6	31.9	25.0	23.0	41.2
学校卒業後は仕事をせず、結婚後または子育て終了後から仕事をする	0.0	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	1.7	0.0	0.4	0.0
出産するまでは仕事を持つが、子どもができたら家事や育児に専念する	24.7	21.4	9.1	9.5	9.5	7.1	8.3	11.3	16.4	12.5	18.1	17.6
結婚するまでは仕事をして、結婚後は家事に専念する	2.4	1.9	9.1	2.4	1.7	3.9	6.0	1.5	3.4	0.0	8.6	0.0
仕事をしない	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.9	0.0	0.4	5.9
その他	2.4	2.9	0.0	0.0	7.8	1.9	6.0	0.8	1.7	4.2	3.7	0.0
無回答	4.7	4.9	9.1	4.8	2.6	1.3	6.0	0.0	1.7	0.0	9.1	11.8

(参考) 図5-3 問5 女性の理想の働き方－全国調査との比較

※全国調査の質問文は「一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどうかお考えですか。この中から1つだけお答えください。」となっております、選択肢も異なるため単純比較はできない



- 結婚や出産に関わらず、仕事を続ける
- 学校卒業後は仕事をせず、結婚後または子育て終了後から仕事をする
- 仕事をしない
- 子育ての時期だけ一時やめて、その後はフルタイムで仕事を続ける
- 出産するまでは仕事を持つが、子どもができたら家事や育児に専念する
- その他
- 子育ての時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事を続ける
- 結婚するまでは仕事をして、結婚後は家事に専念する
- 無回答



- 子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい
- 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい
- 女性は職業をもたない方がよい
- わからない
- 子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい
- 結婚するまでは職業をもつ方がよい
- その他

女性の働き方での望ましい形を聞くと、総合では「結婚や出産に関わらず、仕事を続ける」25.1%、「子育ての時期だけ一時やめて、その後はフルタイムで仕事を続ける」24.3%、「子育ての時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事を続ける」23.6%の3項目を合わせた、『結婚、出産後も仕事を続ける』項目（以下同様）が73.0%と大きな比率を占めているのが特徴となっている。その他では「出産するまでは仕事を持つが、子どもができれば家事や育児に専念する」が14.3%となっている。

『結婚、出産後も仕事を続ける』を前回（平成16年）調査61.8%と比較すると、11.2ポイントの増加。それに対し、「結婚するまでは仕事をして、結婚後は家事に専念する」は減少している。

性別では、『結婚、出産後も仕事を続ける』系統の項目はいずれも女性が男性を2~4ポイント程度上回り、合計が男性67.5%に対し女性77.5%と、女性が10ポイント上回る比率で仕事を続けることを望んでいることがわかる。一方で「出産するまでは仕事を持つが、子どもができれば家事や育児に専念する」が男性16.7%に対し女性12.5%、「結婚するまでは仕事をして、結婚後は家事に専念する」が男性6.0%に女性2.7%と、『結婚、出産後は家事・育児に専念する』ことを望む意見が、男性の方が多くは注目される。

年代別に見ると、30歳代83.8%、20歳代78.1%で『結婚、出産後も仕事を続ける』ことを望む気持ちが強い。その中でも30歳代は「結婚や出産に関わらず、仕事を続ける」が35.5%と、3分の1以上の人結婚、出産しても仕事を続けたいと望んでいることが分かる。『結婚、出産後は家事・育児に専念する』は、60歳代25.1%、70歳以上27.7%など、高い年代で望む声が多い。

地域別ではあまり大きな差異は見られないが、「子育ての時期だけ一時やめて、その後はフルタイムで仕事を続ける」は嶺北広域圏30.8%、高幡広域圏30.4%などの地域で多く、「子育ての時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事を続ける」は安芸広域圏29.5%、高吾北広域圏27.3%など、仕事を続けるとしても就労形式に若干の違いがあることが分かる。

夫婦の働き方別で見ると、『結婚、出産後も仕事を続ける』は共働き世帯81.3%に対して共働きでない世帯66.2%と、共働き世帯が15.1ポイント上回る比率で仕事を続けることを望んでいることが注目される。その中でも、「子育ての時期だけ一時やめて、その後はフルタイムで仕事を続ける」形が、共働き30.7%が共働きでない19.0%を11.7ポイントと大きく上回っている。

同居家族の有無別で見ると、乳幼児がいる世帯、高齢者がいる世帯、両方いる世帯では「結婚や出産に関わらず、仕事を続ける」と答えた人の比率に差が見られ、特に両方いる世帯では8.7%と、他の種類の世帯を大きく下回る比率を示していることが特徴である。

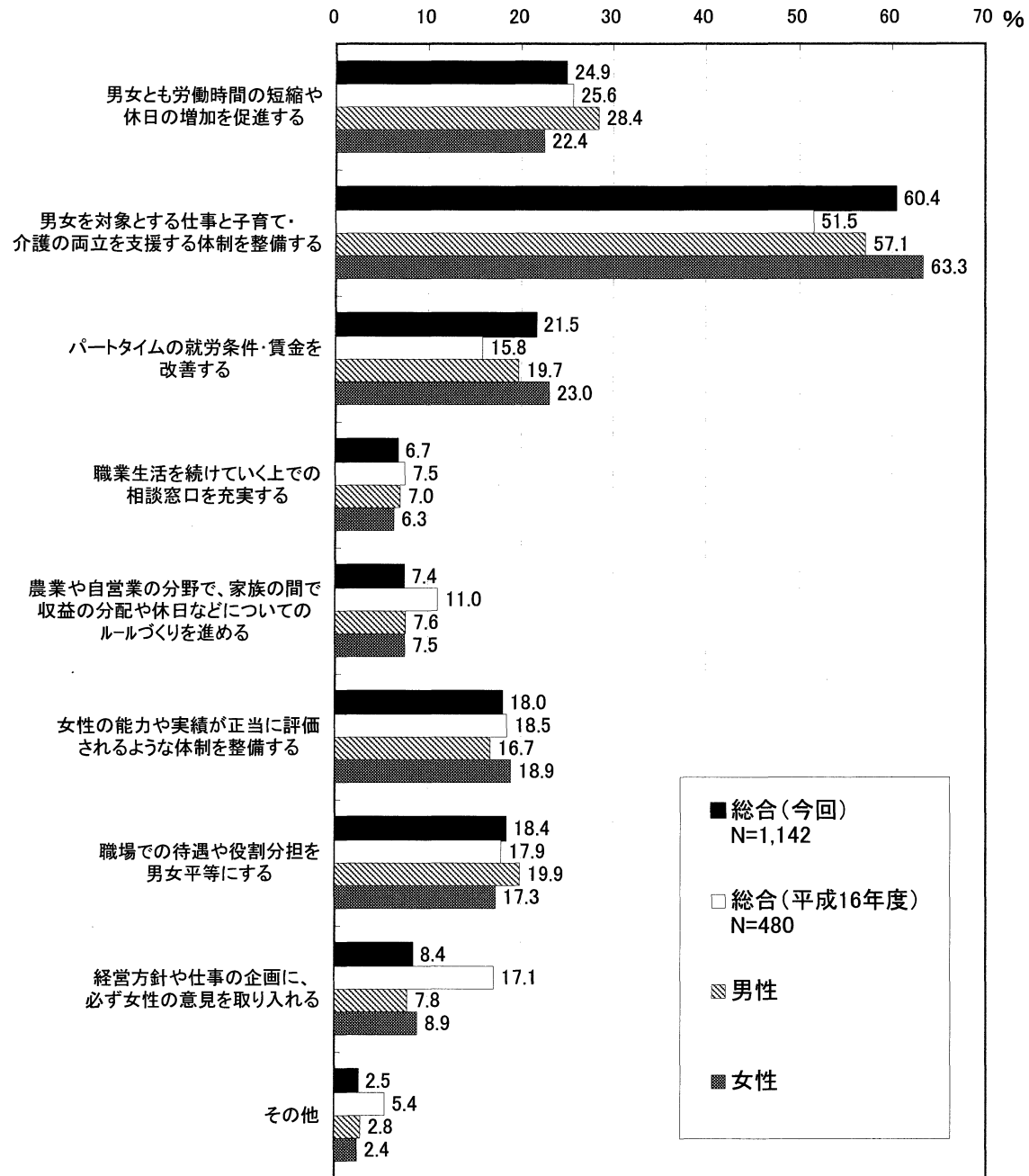
職業別に見ると、自営業や常勤職（労務職除く）、学生では「結婚や出産に関わらず、仕事を続ける」や「子育ての時期だけ一時やめて、その後フルタイムで仕事を続ける」ことを望む人が多く、労務職、非常勤職や専業主婦、無職などは「子育ての時期だけ一時やめて、その後パートタイムで仕事を続ける」ことを望んでいることが見て取れる。

なお、質問文が異なるため参考程度ではあるが、全国調査の同種の質問と比較すると、高知県の「結婚や出産に関わらず、仕事を続ける」25.1%に対し、全国調査の「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」は45.9%となっており、全国調査に比べると子育て中も仕事を続けることを望む人は少ないことが分かる。また、「子育ての時期だけ一時やめて、その後はフルタイムで仕事を続ける」と「子育ての時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事を続ける」の合計47.9%は、全国調査の「子どもができれば職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」31.3%を16.6ポイント上回っている。

問6 男女がともに働きやすい環境をつくるために、あなたは何が必要だと思いますか。
(2つまで○印)

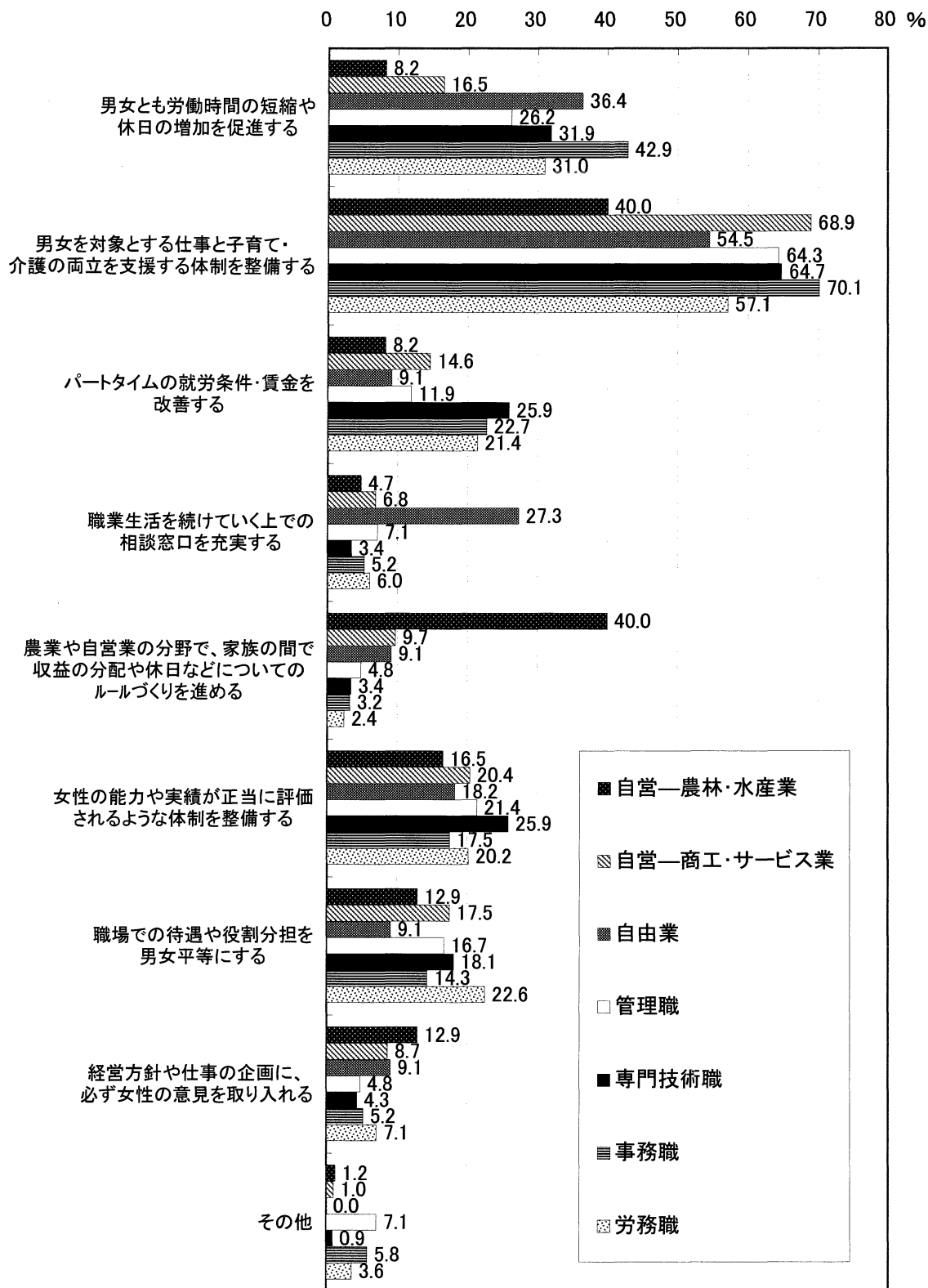
◆「仕事と子育て・介護の両立を支援する体制を整備する」ことを求める声が多いほか、労働時間やパートタイムの就労条件改善を望む意見が集まっている。性別での差は大きくないが、環境に求める条件が多少異なることがわかる。

〈図6-1〉 問6 働きやすい環境のため必要な条件 [総合、性別]



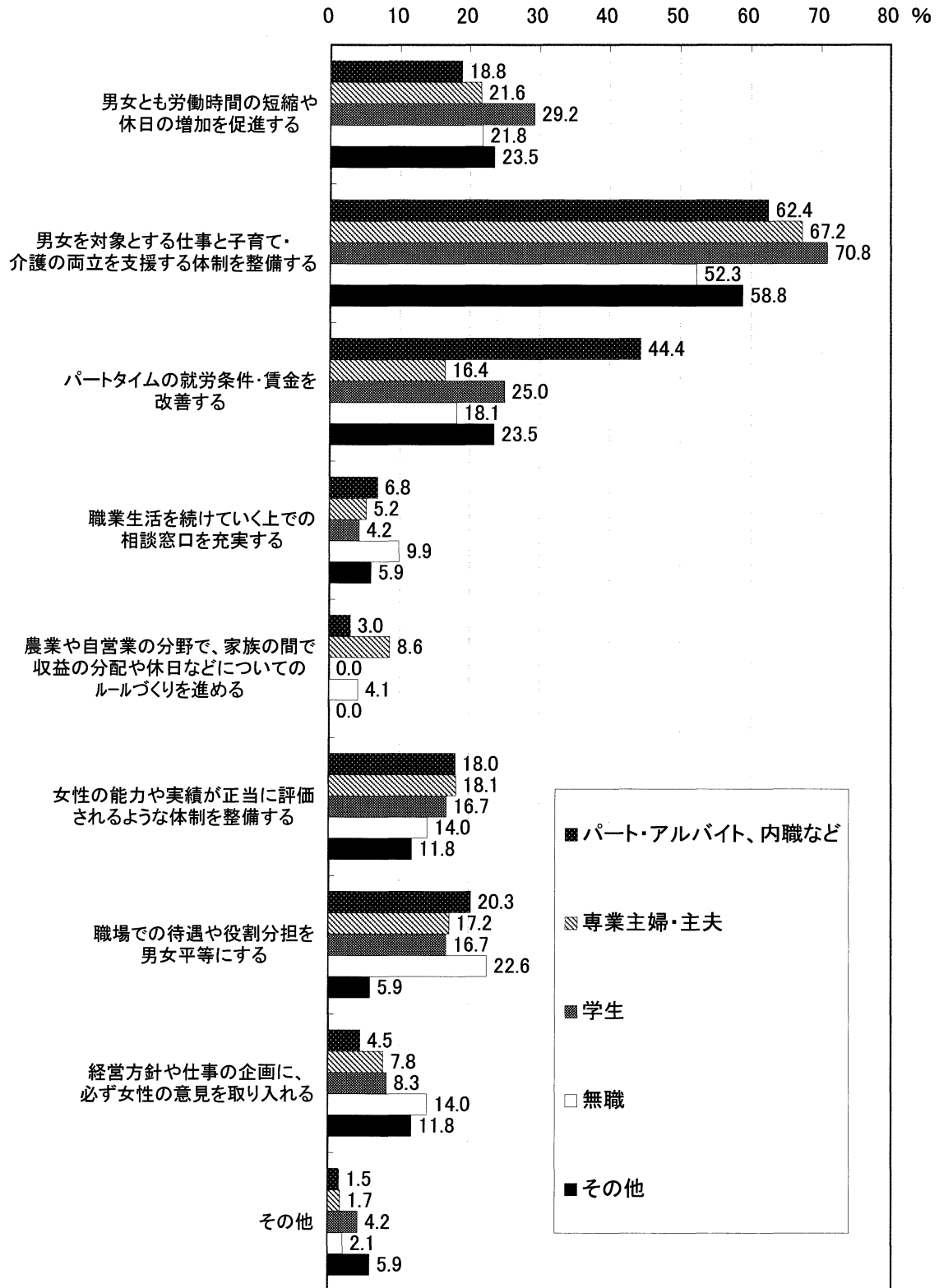
男女がともに働きやすい環境のために必要な条件を聞くと、総合では「男女を対象とする仕事と子育て・介護の両立を支援する体制を整備する」60.4%、「男女とも労働時間の短縮や休日の増加を促進する」24.9%、「パートタイムの就労条件・賃金を改善する」21.5%の順に多い。「仕事と子育て・介護の両立を支援する体制を整備する」は、前回51.5%と比較すると8.9ポイントの増加。逆に「経営方針や仕事の企画に、必ず女性の意見を取り入れる」8.4%は、前回17.1%から8.7ポイント減少している。性別での差はあまり大きくないが、「仕事と子育て・介護の両立を支援する体制を整備する」は女性63.3%が男性57.1%より多く、「労働時間の短縮や休日の増加を促進する」は男性28.4%の方が女性22.4%より多くなっており、性別によって環境に求める条件が多少異なることが分かる。

〈図6-2〉 問6 働きやすい環境のため必要な条件 [職業別—自営業等・常勤職]



働きやすい環境のため必要な条件を自営業等や常勤職に就く人で見ると、「仕事と子育て・介護の両立を支援する体制を整備」の項目が最も高く、自営業—農林・水産業では同項目と「農業や自営業の分野で、家族の間で収益の分配や休日などについてのルールづくりを進める」が40.0%で同率を示している。また、自由業では「職業生活を続けていく上での相談窓口を充実する」27.3%となっており、職種により求める条件は異なることが見て取れる。

〈図6-3〉 問6 働きやすい環境のため必要な条件 [職業別—非常勤職・無職等]



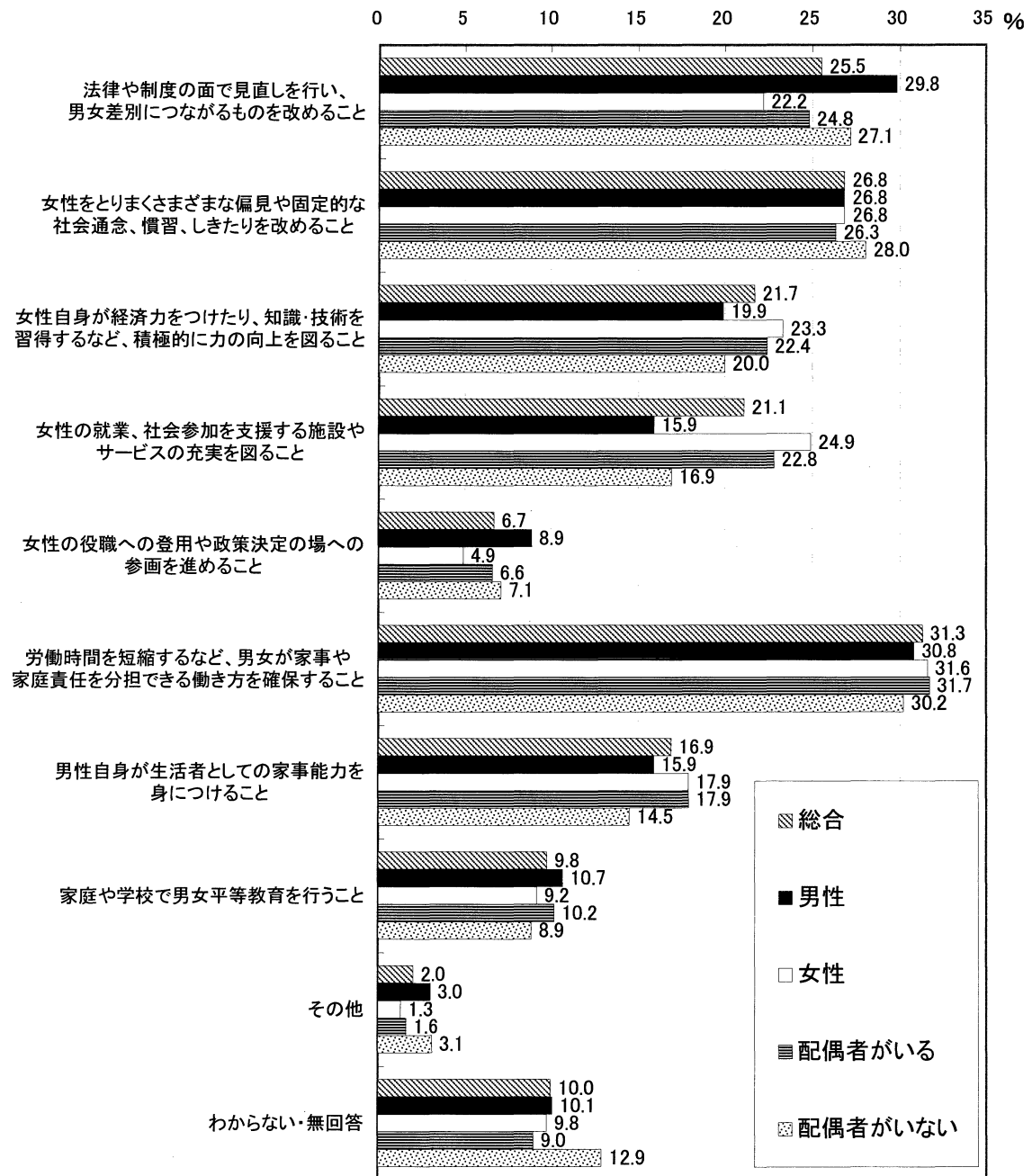
働きやすい環境のため必要な条件を、非常勤および無職等で見ると、すべてにおいて「仕事と子育て・介護の両立を支援する体制を整備」が高い比率となっており、職種・有職無職の別に関わらず、仕事と暮らしを両立させられる体制の整備が必要だと感じていることが分かる。

パート・アルバイト、内職などに就いている人は、「パートタイムの就労条件・賃金を改善する」と44.4%の人が答えている。

問7 あなたは、男女共同参画社会を実現するためには、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(2つまで○印)

◆総合で最も大事だと考えられている「労働時間の短縮など、家事や家庭責任を分担できる働き方を確保すること」は、性別に関わらず求められている。次に男性は「法律や制度の見直し」を、女性は「さまざまな偏見や社会通念、慣習、しきたりを改める」ことを多く求めている。

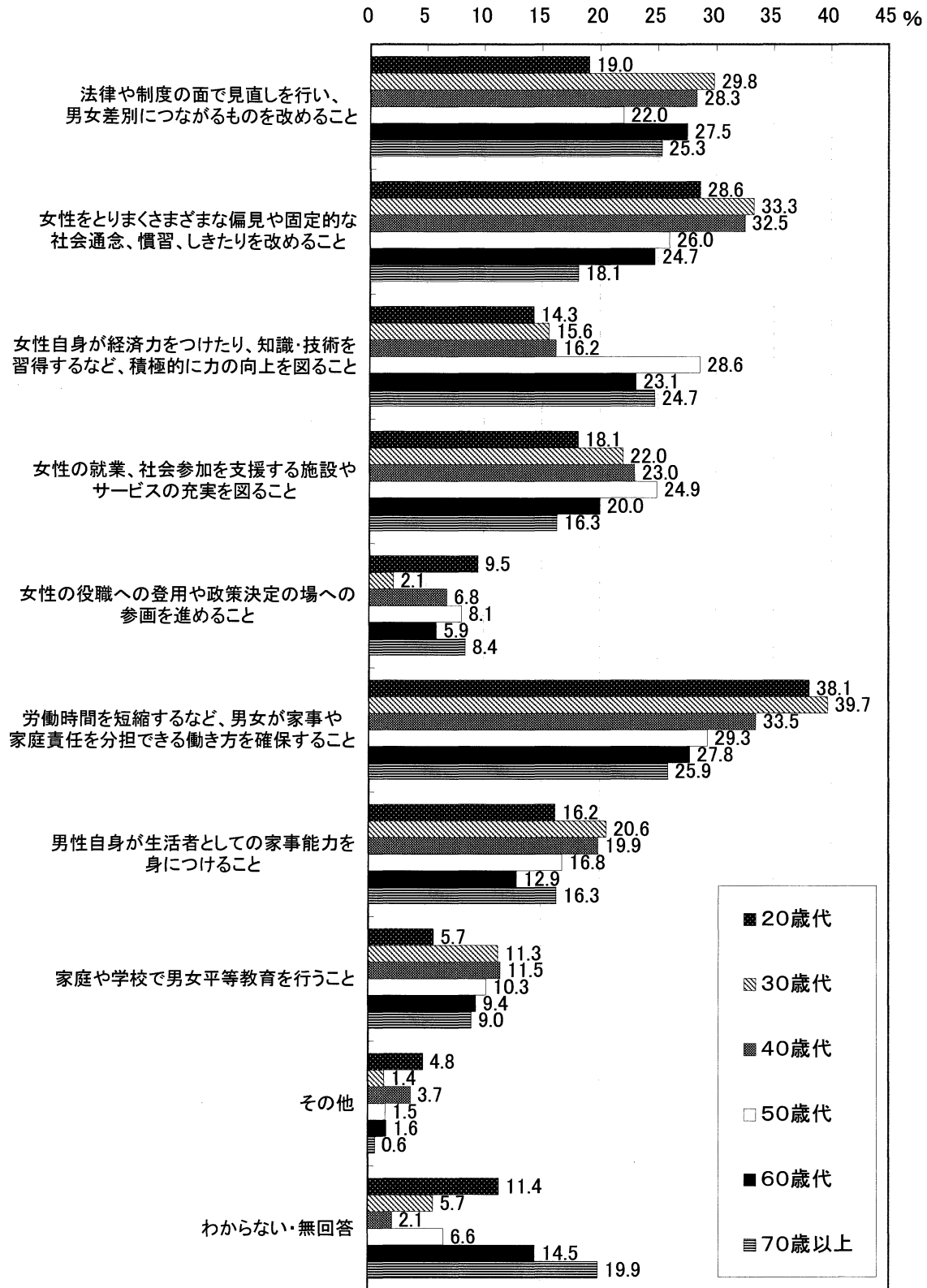
〈図7-1〉 問7 男女共同参画社会実現のための重点項目 [総合 N=1,142、性別、配偶者有無別]



男女共同参画社会実現のための重点項目を聞くと、総合では「労働時間を短縮するなど、男女が家事や家庭責任を分担できる働き方を確保すること」31.3%、「女性をとりまくさまざまな偏見や固定的な社会通念、慣習、しきたりを改めること」26.8%、「法律や制度の面で見直しを行い、男女差別につながるものを改めること」25.5%などを求める声が多い。

また、性別や配偶者の有無に関わらず「労働時間の短縮など、家事や家庭責任を分担できる働き方を確保」が最も多い。次に男性は「法律や制度の面で見直し」29.8%が多く、女性は「さまざまな偏見や社会通念、慣習、しきたりを改める」26.8%を挙げた人が多い。「女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること」の項目を見ると、性別では、男性15.9%に対し女性24.9%、配偶者の有無別では、配偶者有り22.8%に対して配偶者無し16.9%と、属性によって大きく差が見られる。

〈図7-2〉 問7 男女共同参画社会実現のための重点項目 [年代別]



男女共同参画社会実現のための重点項目を年代別に見ると、「労働時間の短縮など、家事や家庭責任を分担できる働き方を確保」がすべての年代で最も多く、次に「さまざまな偏見や社会通念、慣習、しきたりを改めること」が20歳代28.6%、30歳代33.3%、40歳代32.5%など低い年代において高い。

高い年代では、「女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図ること」の項目が50歳代28.6%、60歳代23.1%、70歳以上24.7%と比較的高い比率を示している。

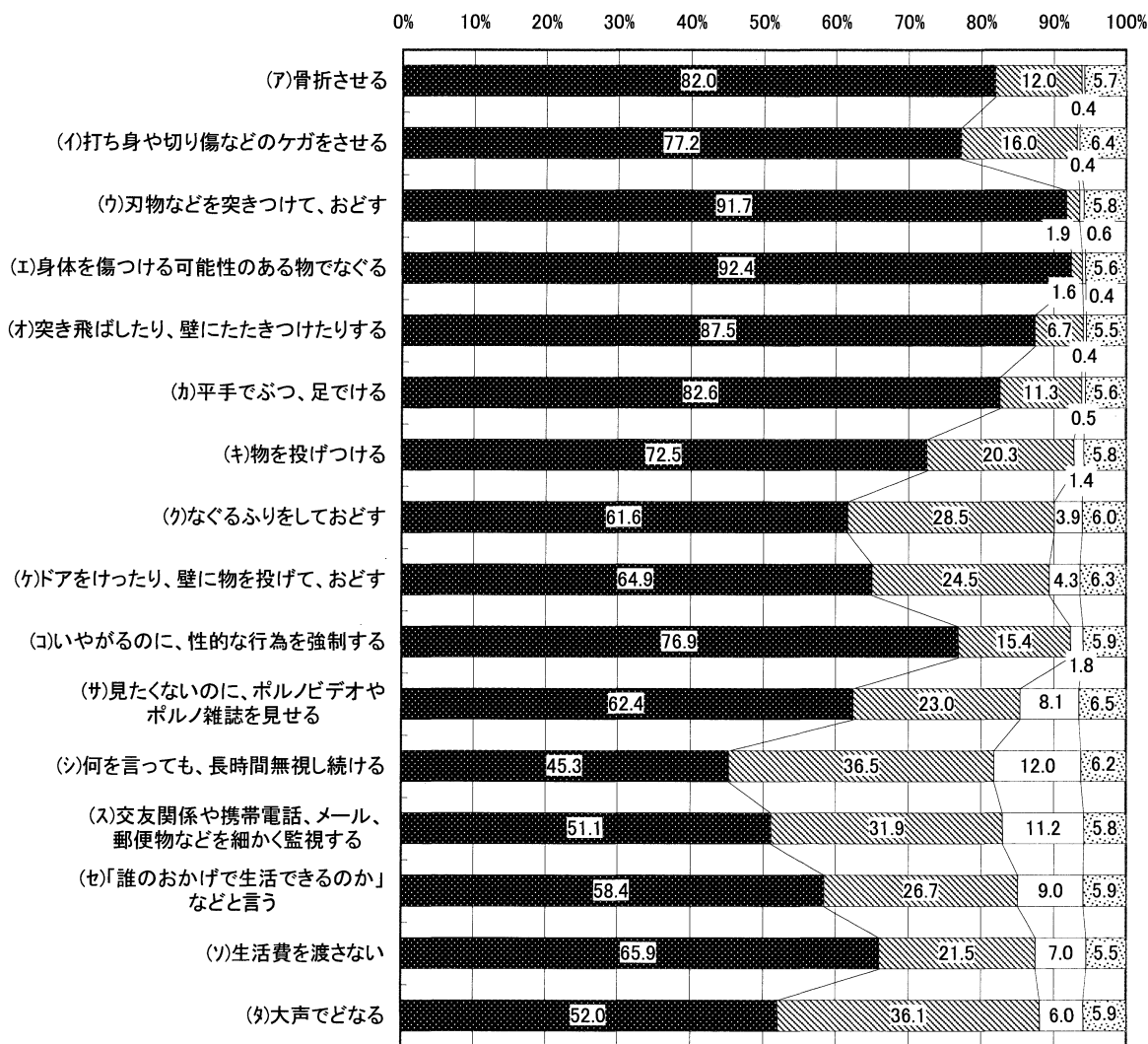
また、30歳代では、「女性の役職への登用や政策決定の場への参画を進めること」の項目が2.1%と、他の年代に比べて低いことが注目される。

4 ドメスティック・バイオレンス(DV=夫婦・恋人間の暴力)について

問8 あなたは、配偶者や恋人があなたに対して、次のようなことをした場合、それを暴力だと思えますか。(ア)から(ク)までの項目ごとに、あなたの気持ちに最も近い番号(1~3)に1つだけ○印をつけてください。

◆身体に直接的被害を及ぼす行為は「どんな場合も暴力に当たる」と答え、直接的には及ぼさない行為は「時と場合による」と答える割合が高い。全般的に女性の方が「どんな場合も暴力に当たる」と答えた比率が高い。

＜図8-1＞ 問8 配偶者・恋人からの行為に対する暴力認識 [総合 N=1,142]



■どんな場合も暴力に当たると思う ■暴力の場合とそうでない場合がある □暴力に当たると思わない □無回答

配偶者や恋人から受けた行為について暴力と思うかどうかの認識について聞くと、総合で「どんな場合も暴力に当たると思う」と答えた人は、①「身体を傷つける可能性のある物でなぐる」92.4%、②「刃物などを突きつけて、おどす」91.7%、③「突き飛ばしたり、壁にたたきつけたりする」87.5%、④「平手でぶつ、足でける」82.6%、⑤「骨折させる」82.0%の順に高く、直接身体的な被害を及ぼす行為は総じて暴力と認識されている。

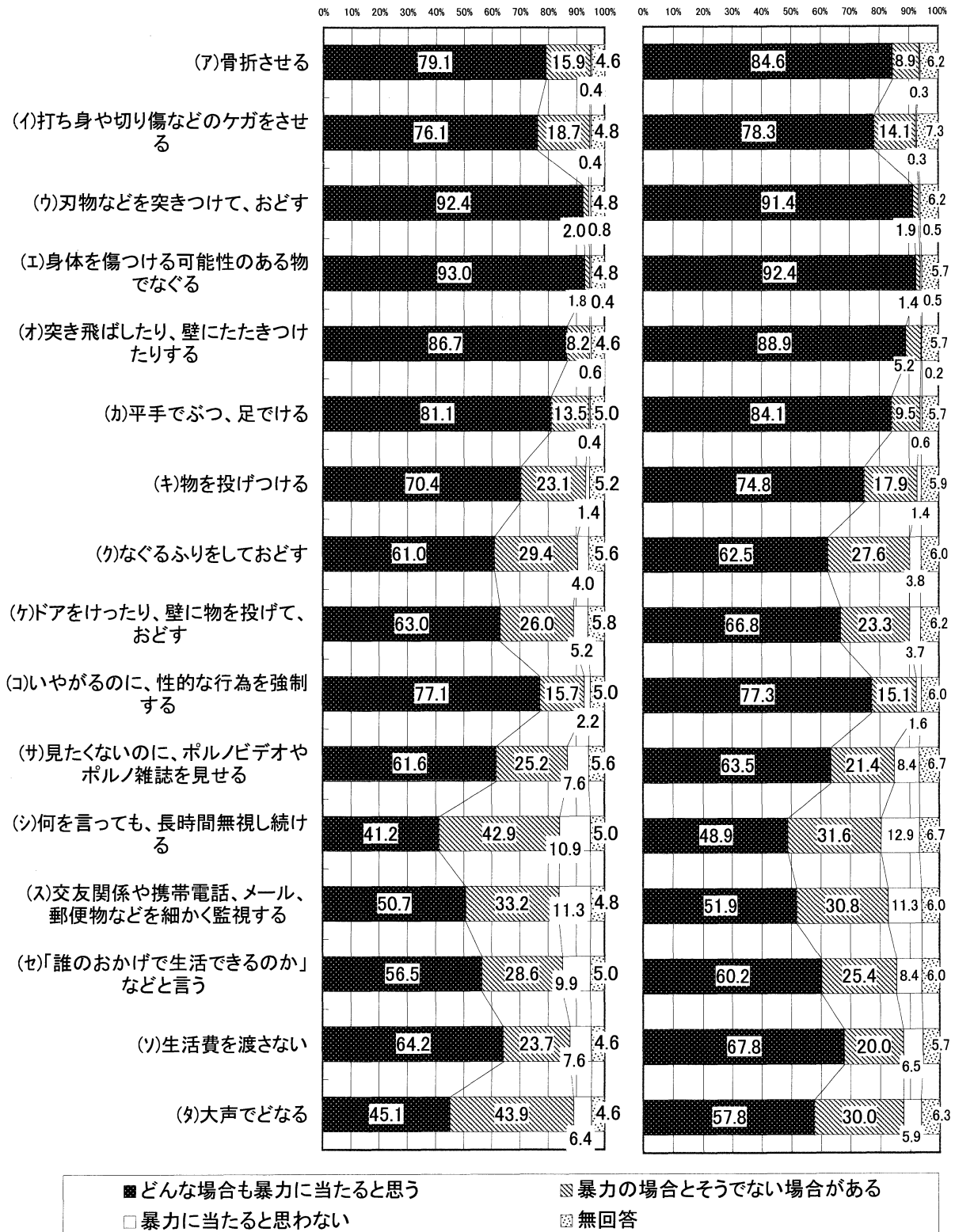
一方で①「何を言っても、長時間無視し続ける」45.3%、②「交友関係や携帯電話、メール、郵便物などを細かく監視する」51.1%、③「大声でどなる」52.0%、④「『誰のおかげで生活できるのか』などと言う」58.4%、⑤「なぐるふりをしておどす」61.6%などの直接身体的に被害を与えない行為は「どんな場合も暴力に当たると思う」と答えた比率は低く、「暴力の場合とそうでない場合がある」と答えた人が多い。

また、「何を言っても、長時間無視し続ける」12.0%、「交友関係や携帯電話、メール、郵便物などを細かく監視する」11.2%などは「暴力に当たると思わない」との認識が高いのも特徴である。

〈図8-2〉 問8 配偶者・恋人からの行為に対する暴力認識 [性別]

〈男性〉 N=503

〈女性〉 N=630



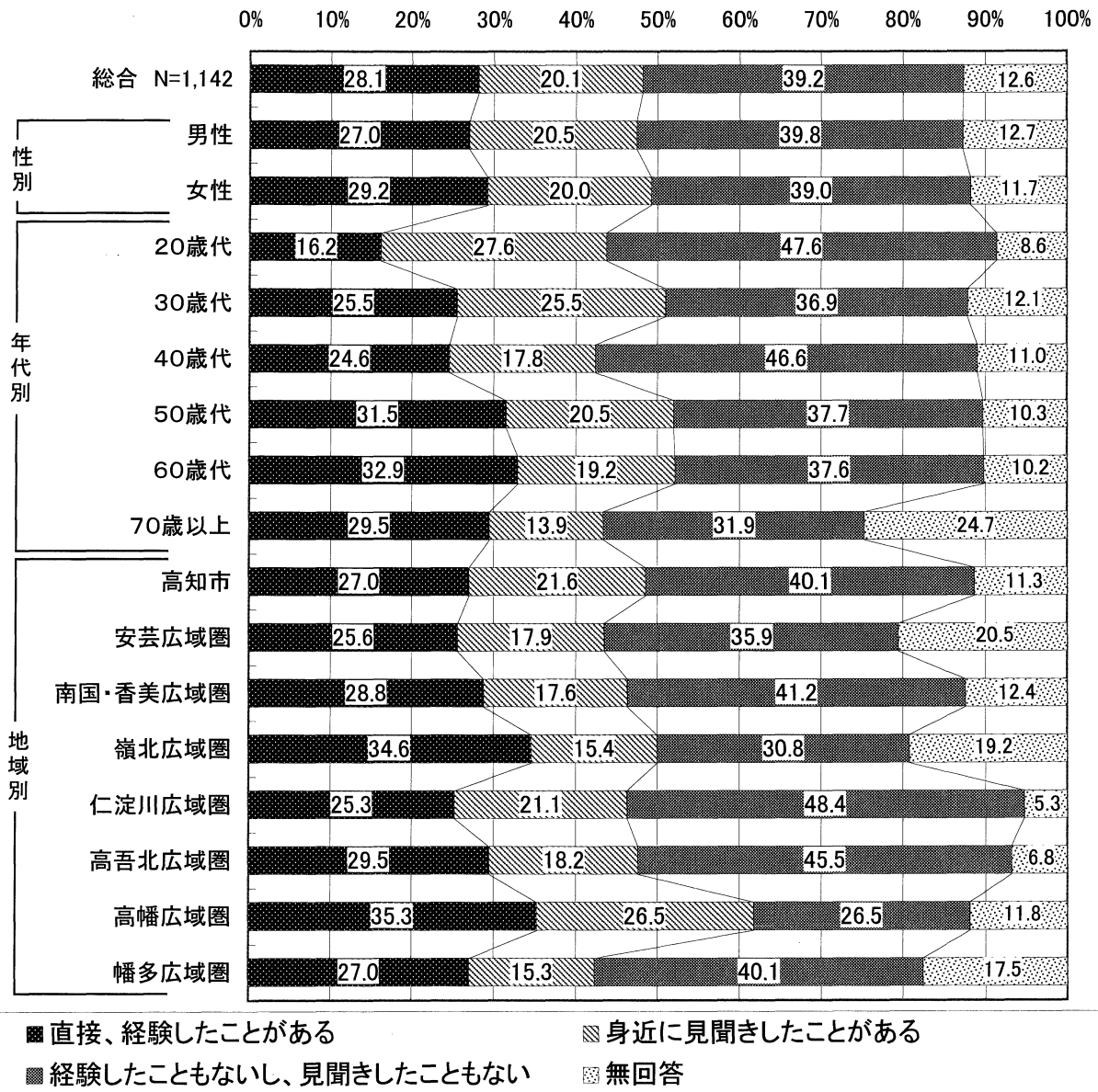
配偶者・恋人からの行為に対する暴力認識を男女で比較すると、全般的に女性の方が暴力として認識している比率が高い。

男性の方が比率が上回るのは、「刃物などを突きつけて、おどす」が92.4%/91.4%で1.0ポイント、「身体を傷つける可能性のある物でなぐる」が93.0%/92.4%で0.6ポイントと、2件の項目でわずかに上回るにとどまる。男性は、すべての項目において「暴力の場合とそうでない場合がある」の比率が高く、同じ行為でもその程度や状況において、暴力かそうでないかは一概に決められないと考えていることが推察される。

問9(1) あなたは、問8にあげたようなことを経験したり、見聞きしたことがありますか。
(1つだけ○印)

◆総合、性別に関わらず「経験したこともないし、見聞きしたこともない」が一番高い。「直接、経験したことがある」も3割近くを占めている。

〈図9-1〉 問9(1) DVの経験の有無



DV行為の経験の有無を聞くと、総合、性別、年代別に関わらず「経験したこともないし、見聞きしたこともない」が高い。総合では『直接経験または見聞きした』（「直接、経験したことがある」＋「身近に見聞きしたことがある」）の比率が48.2%となっている。

性別では『直接経験または見聞きした』が男性47.5%に対し女性49.2%と1.7ポイント上回っている。年代別では、20歳代は「直接経験した」は16.2%と低い「身近に見聞きした」が27.6%と高い比率を示している。しかし一方で、「経験したこともないし、見聞きしたこともない」も47.6%と高い。「経験したこともないし、見聞きしたこともない」は40歳代46.6%でも高い比率となっている。60歳代32.9%、50歳代31.5%で、「直接経験した」が高いのが特徴である。

地域別では、「直接経験した」のは高幡広域圏35.3%、嶺北広域圏34.6%などで高く、特に高幡広域圏は、『直接経験または見聞きした』人が61.8%を占めているのが注目される。

問9(2) あなたは、あなたの配偶者や恋人に(から)、次のようなことをしたこと、またはされたことはありますか。(ア)から(チ)までの項目ごとに、あてはまる番号(1~4)に○印をつけてください。あてはまらない場合は○印は不要です。(○印はいくつでも)

◆「大声でどなる」行為が、『加害経験』『被害経験』ともに、他の行為と比較しても比率が高く、DVとしての認識が低いままに行為を行っていることが推察される。

＜図9-2＞ 問9(2) したこと、されたことのあるDV行為[総合 N=321]

※濃い色の項目は、「どちらもない」の割合が低い(「したこと・されたことがある」割合が高い)もの

	した		された		どちらも ない
	何度も した	1,2度 した	何度も された	1,2度 された	
(ア)骨折させる	0.6	0.9	0.9	2.2	95.3
(イ)打ち身や切り傷などのケガをさせる	0.9	4.7	5.3	8.7	81.3
(ウ)刃物などを突きつけて、おどす	0.6	0.9	2.5	3.1	92.8
(エ)身体を傷つける可能性のある物で、なぐる	0.9	1.6	2.8	4.0	91.0
(オ)突き飛ばしたり、壁にたたきつけたりする	2.2	4.7	6.2	7.2	80.7
(カ)平手でぶつ、足でける	4.0	10.9	10.9	16.5	61.4
(キ)物を投げつける	3.4	11.2	8.4	13.4	65.4
(ク)なぐるふりをしておどす	4.4	7.2	8.4	9.7	71.3
(ケ)ドアをけったり、壁に物を投げて、おどす	3.4	11.8	10.6	13.1	62.3
(コ)いやがるのに、性的な行為を強制する	2.5	0.9	8.1	5.9	82.6
(ク)見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	0.9	1.2	2.2	3.1	92.5
(シ)何を言っても、長時間無視し続ける	9.0	10.9	12.1	7.2	63.9
(ス)交友関係や携帯電話、メール、郵便物などを細かく監視する	2.5	2.2	5.3	1.9	88.8
(セ)「誰のおかげで生活できるのか」などと言う	2.2	6.2	9.7	5.9	76.0
(ソ)生活費を渡さない	1.9	1.9	6.9	2.2	87.2
(タ)大声でどなる	18.7	18.4	26.2	10.6	32.4
(チ)その他	0.3	0.3	2.2	0.3	96.9

DV行為を実際にしたこと、されたことがあるかについて聞くと、『加害経験』（「何度もした」＋「1,2度した」）は①「大声でどなる」37.1%、②「何を言っても、長時間無視し続ける」19.9%、③「ドアをけったり、壁に物を投げて、おどす」15.2%、④「平手でぶつ、足でける」14.9%、⑤「物を投げつける」14.6%の順となっている。

また、『被害経験』（「何度もされた」＋「1,2度された」）は、①「大声でどなる」36.8%、②「平手でぶつ、足でける」27.4%、③「ドアをけったり、壁に物を投げて、おどす」23.7%、④「物を投げつける」21.8%、⑤「何を言っても、長時間無視し続ける」19.3%の順となっており、「大声でどなる」は『加害経験』も『被害経験』も多いが、「平手でぶつ、足でける」は『被害経験』が『加害経験』を12.5ポイントと大きく上回っているのが注目される。

<図9-3> 問9(2) したこと、されたことのあるDV行為[性別 男性N=136、女性N=184]

※濃い色の項目は、「どちらもない」の割合が低い(「したこと・されたことがある」割合が高い)もの

		した		された		どちらもない
		何度もした	1,2度した	何度もされた	1,2度された	
(ア)骨折させる	男	1.5	1.5	0.0	0.0	97.1
	女	0.0	0.5	1.6	3.8	94.0
(イ)打ち身や切り傷などのケガをさせる	男	2.2	9.6	0.0	2.9	86.8
	女	0.0	1.1	9.2	13.0	77.2
(ウ)刃物などを突きつけて、おどす	男	1.5	0.7	0.0	2.2	95.6
	女	0.0	1.1	4.3	3.8	90.8
(エ)身体を傷つける可能性のある物で、なぐる	男	2.2	1.5	0.7	1.5	94.9
	女	0.0	1.6	4.3	6.0	88.0
(オ)突き飛ばしたり、壁にたたきつけたりする	男	4.4	5.9	1.5	2.2	88.2
	女	0.5	3.8	9.8	10.9	75.0
(カ)平手でぶつ、足でける	男	7.4	21.3	3.7	4.4	69.1
	女	1.6	3.3	16.3	25.5	55.4
(キ)物を投げつける	男	6.6	16.2	2.2	5.9	71.3
	女	1.1	7.6	13.0	19.0	60.9
(ク)なぐるふりをしておどす	男	8.1	14.0	1.5	1.5	76.5
	女	1.6	2.2	13.6	15.8	67.4
(ケ)ドアをけったり、壁に物を投げて、おどす	男	7.4	22.8	1.5	2.9	67.6
	女	0.5	3.8	17.4	20.7	58.2
(コ)いやがるのに、性的な行為を強制する	男	4.4	1.5	0.0	1.5	92.6
	女	1.1	0.5	14.1	9.2	75.0
(サ)見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	男	2.2	0.7	0.0	0.7	96.3
	女	0.0	1.6	3.8	4.9	89.7
(シ)何を言っても、長時間無視し続ける	男	12.5	20.6	11.0	4.4	58.1
	女	6.0	3.8	13.0	9.2	68.5
(ス)交友関係や携帯電話、メール、郵便物などを細かく監視する	男	2.2	2.2	3.7	0.0	91.9
	女	2.7	2.2	6.5	3.3	86.4
(セ)「誰のおかげで生活できるのか」などと言う	男	2.9	12.5	1.5	0.0	83.1
	女	1.6	1.6	15.8	10.3	70.7
(ソ)生活費を渡さない	男	2.2	3.7	0.0	0.7	93.4
	女	1.6	0.5	12.0	3.3	82.6
(タ)大声でどなる	男	28.7	38.2	9.6	2.2	29.4
	女	11.4	3.8	38.6	16.8	34.2
(チ)その他	男	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	女	0.5	0.5	3.8	0.5	94.6

DV行為の有無について性別で比較したところ、男性で『加害経験』（「何度もした」＋「1,2度した」）が多いのは①「大声でどなる」66.9%、②「何を言っても、長時間無視し続ける」33.1%、③「ドアをけったり、壁に物を投げて、おどす」30.2%で、女性は①「大声でどなる」15.2%、②「何を言っても、長時間無視し続ける」9.8%、③「物を投げつける」8.7%の順になっている。

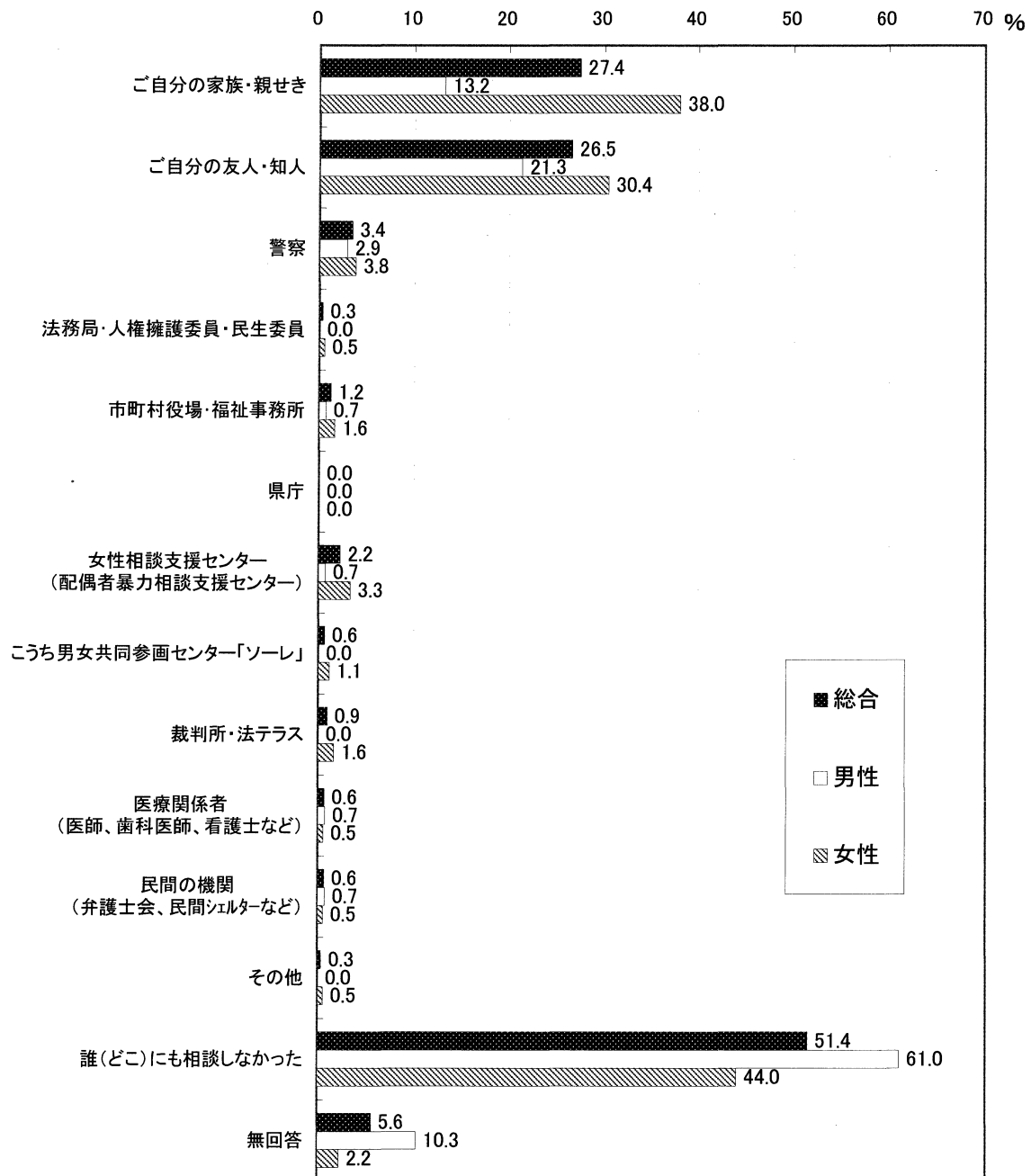
『被害経験』（「何度もされた」＋「1,2度された」）を見ると、男性は①「何を言っても、長時間無視し続ける」15.4%、②「大声でどなる」11.8%、③「平手でぶつ、足でける」「物を投げつける」各8.1%が多く、女性は①「大声でどなる」55.4%、②「平手でぶつ、足でける」41.8%、③「ドアをけったり、壁に物を投げて、おどす」38.1%の順になっている。

『加害経験』は「交友関係や携帯電話、メール、郵便物などを細かく監視する」以外では男性が女性を大きく上回っており、一方『被害経験』はすべての項目で女性が男性を上回っているのが特徴である。

問9(3) あなたは、問9(2)でしたこと、されたことについて誰(どこ)かに打ち明けたり、相談したりしましたか。あてはまるものに○印をつけてください。(○印はいくつでも)

◆「誰(どこ)にも相談しない」人が半数ほどを占める。相談先としては「家族・親せき」「友人・知人」が多く、公的機関などの外部に相談する人は少ない。男性は「友人・知人」に、女性は「家族・親せき」に相談する人が多い。DV行為について外部に相談しづらい実態が見える。

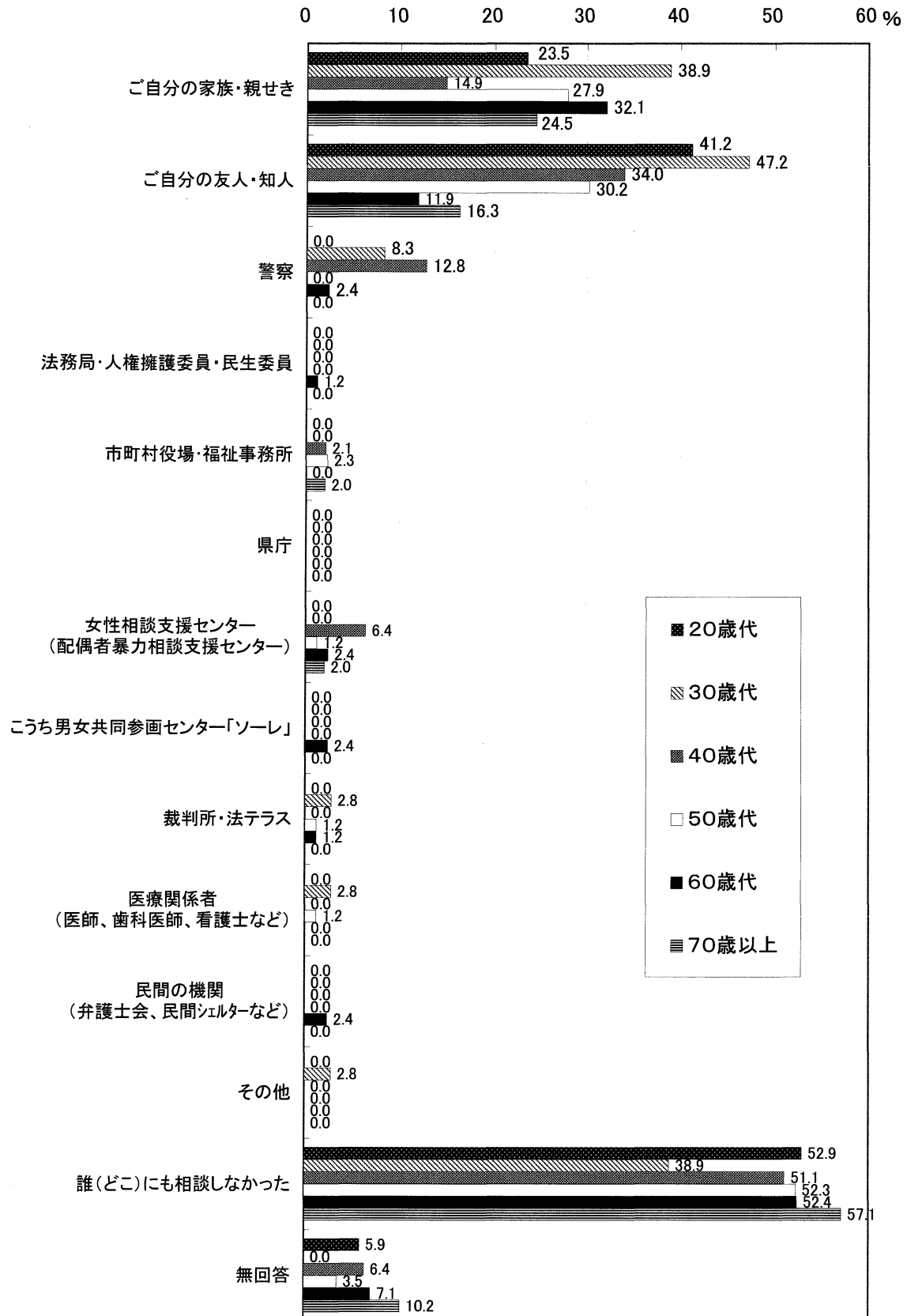
〈図9-4〉 問9(3) DV行為について相談した相手 [総合 N=321、性別]



DV行為について相談した相手について聞くと、総合で「誰(どこ)にも相談しなかった」が51.4%と最も高く、「家族・親せき」27.4%、「友人・知人」26.5%と続く。それ以外の項目については「警察」3.4%、「女性相談支援センター」2.2%など回答数が大きく下がり、公的機関や外部への相談は思い留まる現状が見て取れる。

また、性別で見ると、「誰(どこ)にも相談しなかった」が男性61.0%、女性44.0%と男性が17.0ポイント上回り、男性は「友人・知人」21.3%、「家族・親せき」13.2%と友人・知人が多く、女性は「家族・親せき」38.0%、「友人・知人」30.4%と家族・親せきの方が多くなっており、それ以外の公的機関などへの相談は、女性で「警察」3.8%、「女性相談支援センター」3.3%となっている。

〈図9-5〉 問9(3) DV行為について相談した相手 [年代別]

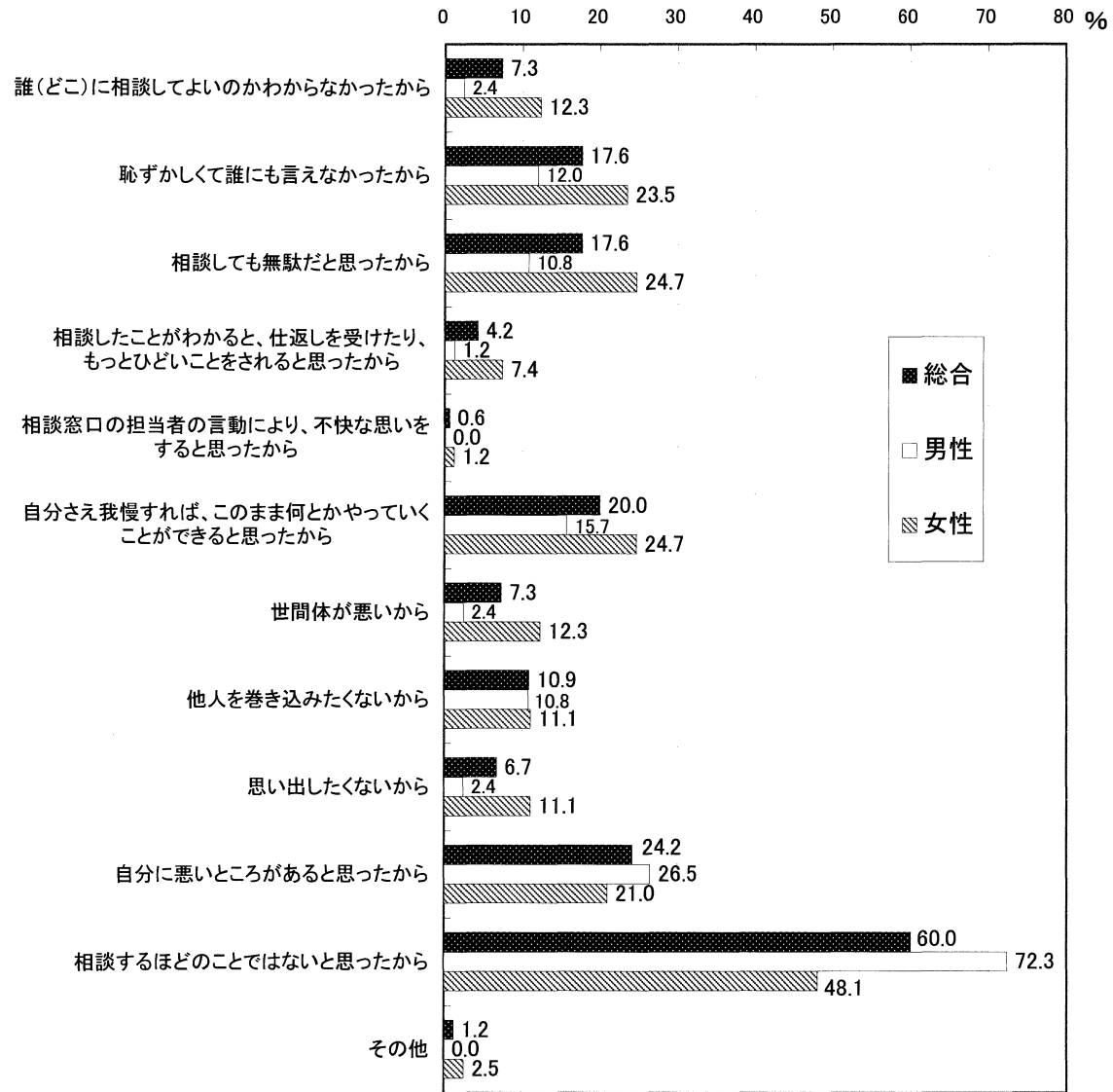


DV行為の相談相手について年代別で見ると、30歳代を除く各年代で「誰(どこ)にも相談しなかった」が最も多く、30歳代は「友人・知人」47.2%、「家族・親せき」38.9%が高い比率を示している。女性相談支援センターへの相談は20歳代～30歳代では全く無く、40歳代6.4%で高いのが特徴である。また、「警察」は40歳代12.8%、30歳代8.3%となっているのが注目される。

問9(4)(問9(3)で「誰(どこ)にも相談しなかった」と答えた方におたずねします
 あなたが、誰(どこ)にも相談しなかったのはなぜですか。あてはまるものに○印をつけてください。(○印はいくつでも)

◆6割の人が「相談するほどではなかったから」と答えており、「自分に悪いところがあると思った」「自分さえ我慢すれば」と思って相談しない人や、「恥ずかしいから」「相談しても無駄だから」と答えた人が多いのも注目される。性別では「相談するほどのことではないと思ったから」は男性が多く、「恥ずかしくて誰にも言えなかったから」「相談しても無駄だと思ったから」は女性が男性の2倍もある。

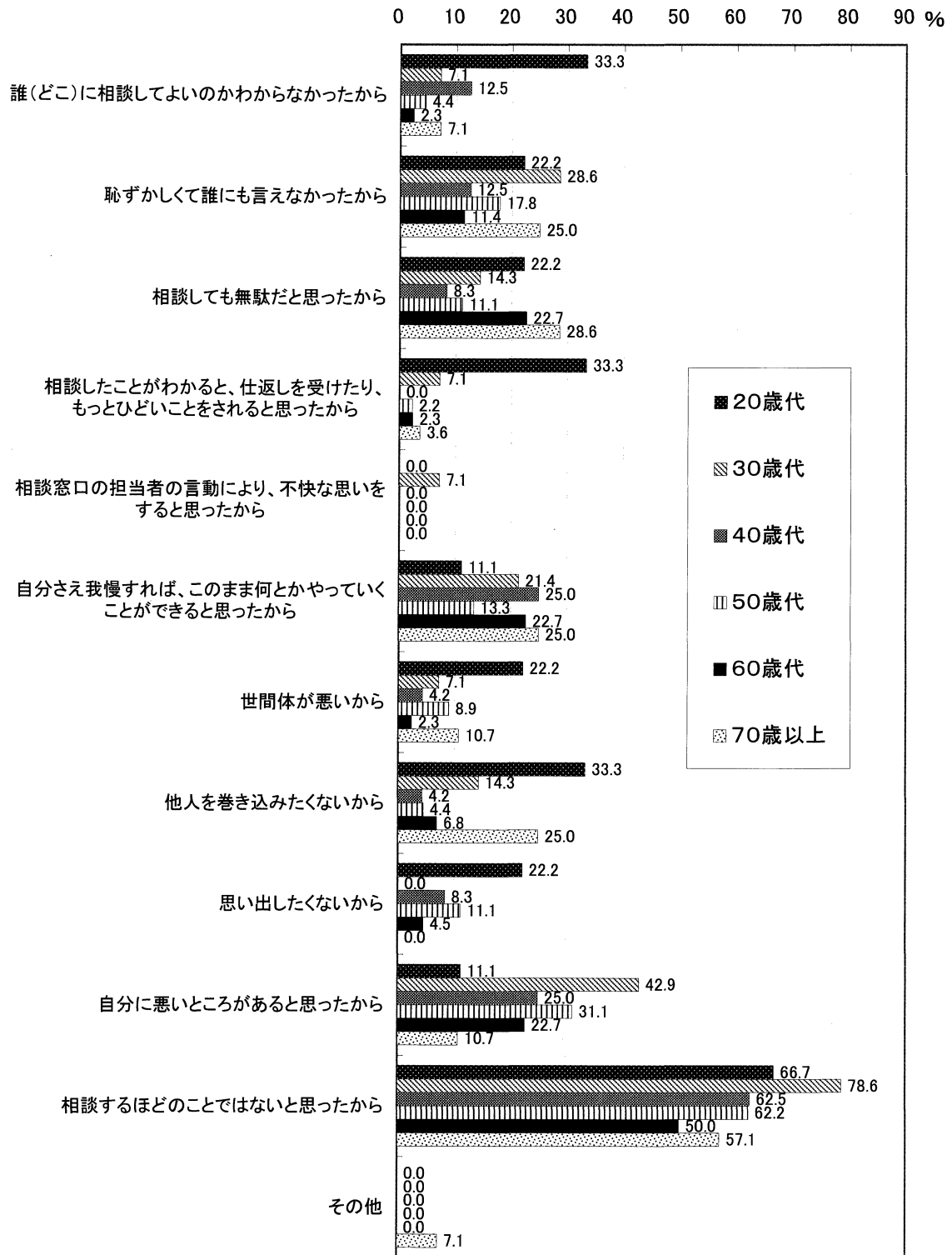
<図9-6> 問9(4) DV行為について相談しなかった理由 [総合 N=165、性別]



問9(3)の質問で「DV行為を誰(どこ)にも相談しなかった」と答えた人に相談しなかった理由について聞くと、性別に関わらず「相談するほどのことではないと思ったから」と答えており、多くの人がDV行為を自覚しながらも相談するほどの問題ではないと認識していることが注目される。以下、総合では「自分に悪いところがあると思ったから」24.2%、「自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思ったから」20.0%などが続き、相談するよりも自分自身で解決することを選ぶ人が多いことが分かる。また、「恥ずかしくて誰にも言えなかったから」「相談しても無駄だと思ったから」各17.6%など、相談することを決断するまでに大きな壁を感じていることが見てとれる。

性別で比較すると、「相談するほどのことではないと思ったから」が男性72.3%、女性48.1%と男性が24.2ポイント大きく上回り、DV行為に対する男女の意識の差が現れている。それ以外の項目では、「恥ずかしくて誰にも言えなかったから」が男性12.0%、女性23.5%、「相談しても無駄だと思ったから」が男性10.8%、女性24.7%など、女性の方が大きく上回っているのが特徴である。

〈図9-7〉 問9(4) DV行為について相談しなかった理由 [年代別]



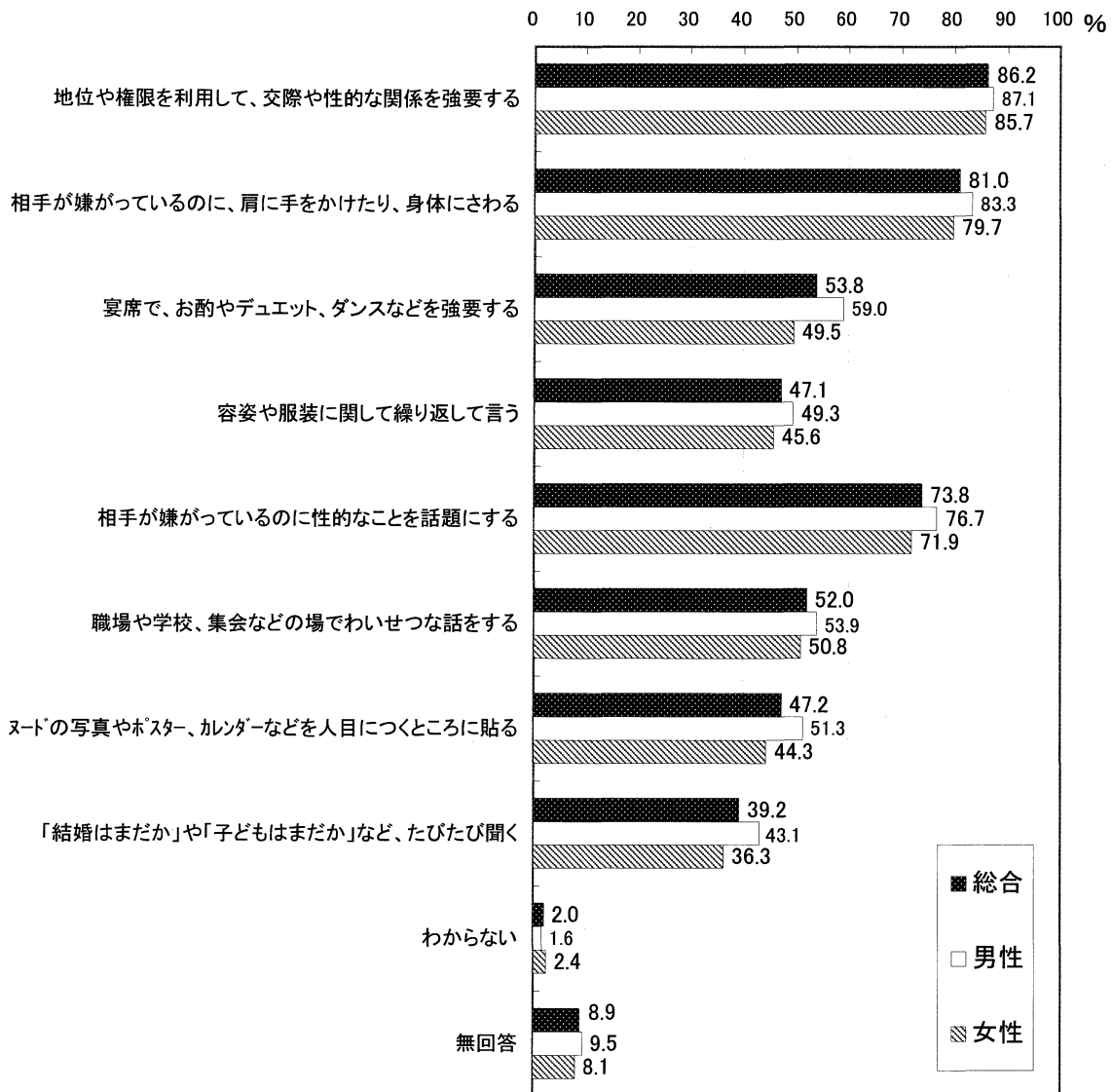
DV行為について相談しなかった理由を年代別で見ると、いずれの年代でも「相談するほどのことではないと思ったから」が最も高い。20歳代で「誰(どこ)に相談してよいのかわからなかったから」「相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどいことをされると思ったから」「他人を巻き込みたくないから」が各33.3%、30歳代で「自分に悪いところがあると思ったから」42.9%、60歳代以上では「相談しても無駄だと思ったから」51.3%などが特に高い。

5 セクシュアル・ハラスメント(セクハラ=性的いやがらせ)について

問10 次にあげることのうち、あなたがセクシュアル・ハラスメントだと思うことはどれですか。あてはまるものに○印をつけてください。(○印はいくつでも)

◆すべての項目で、男性の方が女性より「セクハラだと思う」と答えた比率が高い。「地位や権限を利用して、交際や性的な関係を強要する」「相手が嫌がっているのに、肩に手をかけたり、身体にさわる」などはセクハラとの認識が高い。それに比べ、「容姿や服装に関して繰り返し言う」「結婚、子どものことについてたびたび聞く」など、発言に関してはセクハラと認識する人が少ない。

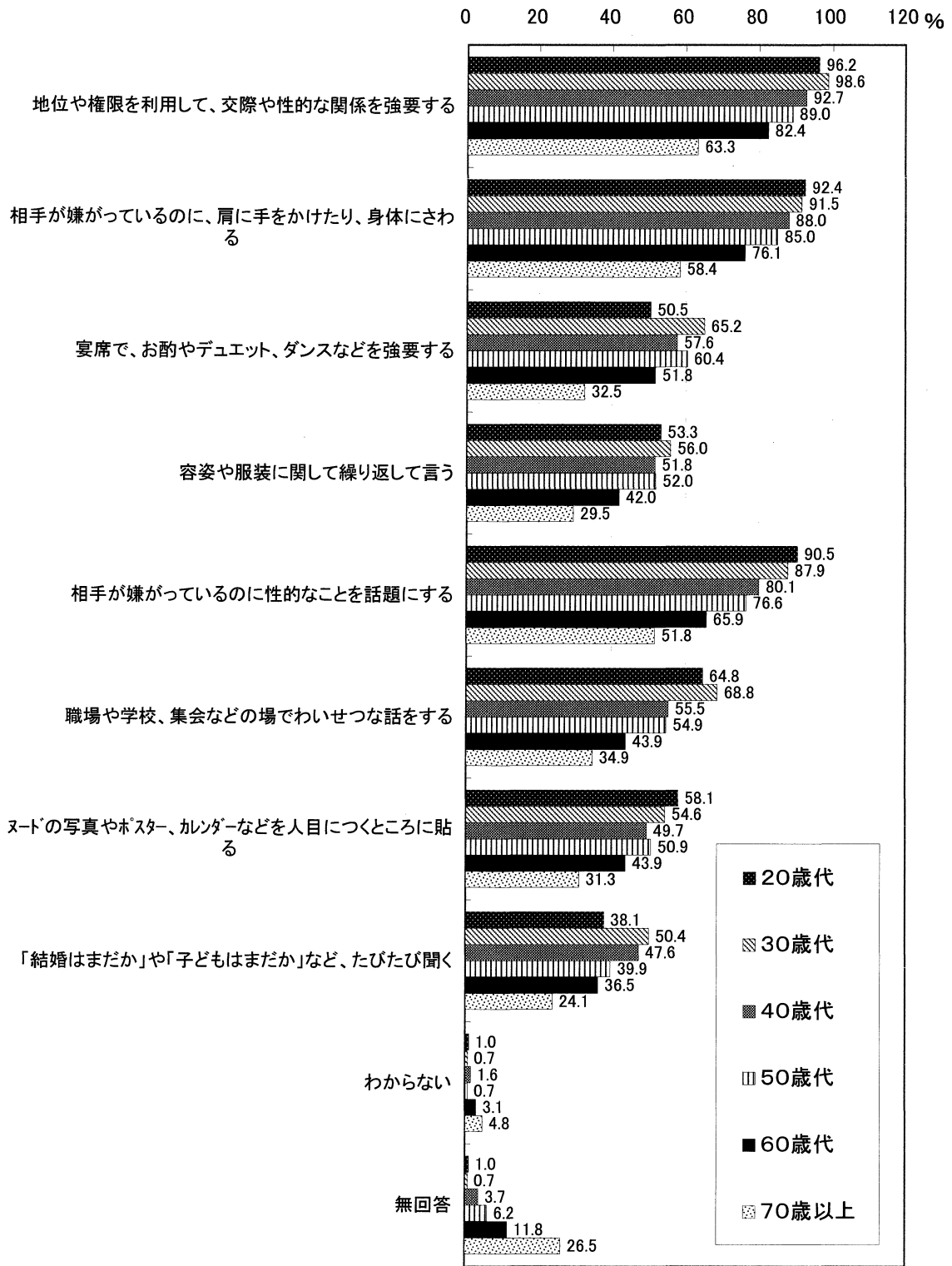
＜図10-1＞ 問10 セクハラだと思う行為 [総合 N=1,142、性別]



今回の調査で初めての質問項目となったセクハラだと思う行為について聞くと、総合では①「地位や権限を利用して、交際や性的な関係を強要する」86.2%、②「相手が嫌がっているのに、肩に手をかけたり、身体にさわる」81.0%、③「相手が嫌がっているのに性的なことを話題にする」73.8%などが特に高くなっている。セクハラだと思う人が半数を切っているのは、①「『結婚はまだか』や『子どもはまだか』など、たびたび聞く」39.2%、②「容姿や服装に関して繰り返し言う」47.1%、③ヌードの写真やポスター、カレンダーなどを人目につくところに貼る」47.2%などとなっている。

性別で見ると、各項目とも男性の方が「セクハラだと思う」と答えた比率が高いのが注目される。特に「宴席で、お酌やデュエット、ダンスなどを強要する」は男性59.0%に対して女性49.5%と9.5ポイント差、「ヌードの写真やポスター、カレンダーなどを人目につくところに貼る」は男性51.3%に対し女性44.3%と7.0ポイント差、「『結婚はまだか』や『子どもはまだか』など、たびたび聞く」は男性43.1%に対して女性36.3%で6.8ポイント差など、いくつかの項目で性別によるセクハラ意識に差が見られる。

〈図10-2〉 問10 セクハラだと思う行為 [年代別]



セクハラと思う行為について年代別で見ると、20歳代は「宴席で、お酌やデュエット、ダンスなどを強要する」50.5%が30歳代～50歳代の60%前後と比較してやや低く、「『結婚はまだか』や『子どもはまだか』など、たびたび聞く」38.1%も30歳代・40歳代の50%前後と比較すると10ポイント程度下回っている。一方で、「地位や権限を利用して、交際や性的な関係を強要する」96.2%、「相手が嫌がっているのに、肩に手をかけたり、身体にさわる」92.4%、「相手が嫌がっているのに性的なことを話題にする」90.5%などの比率が高い。

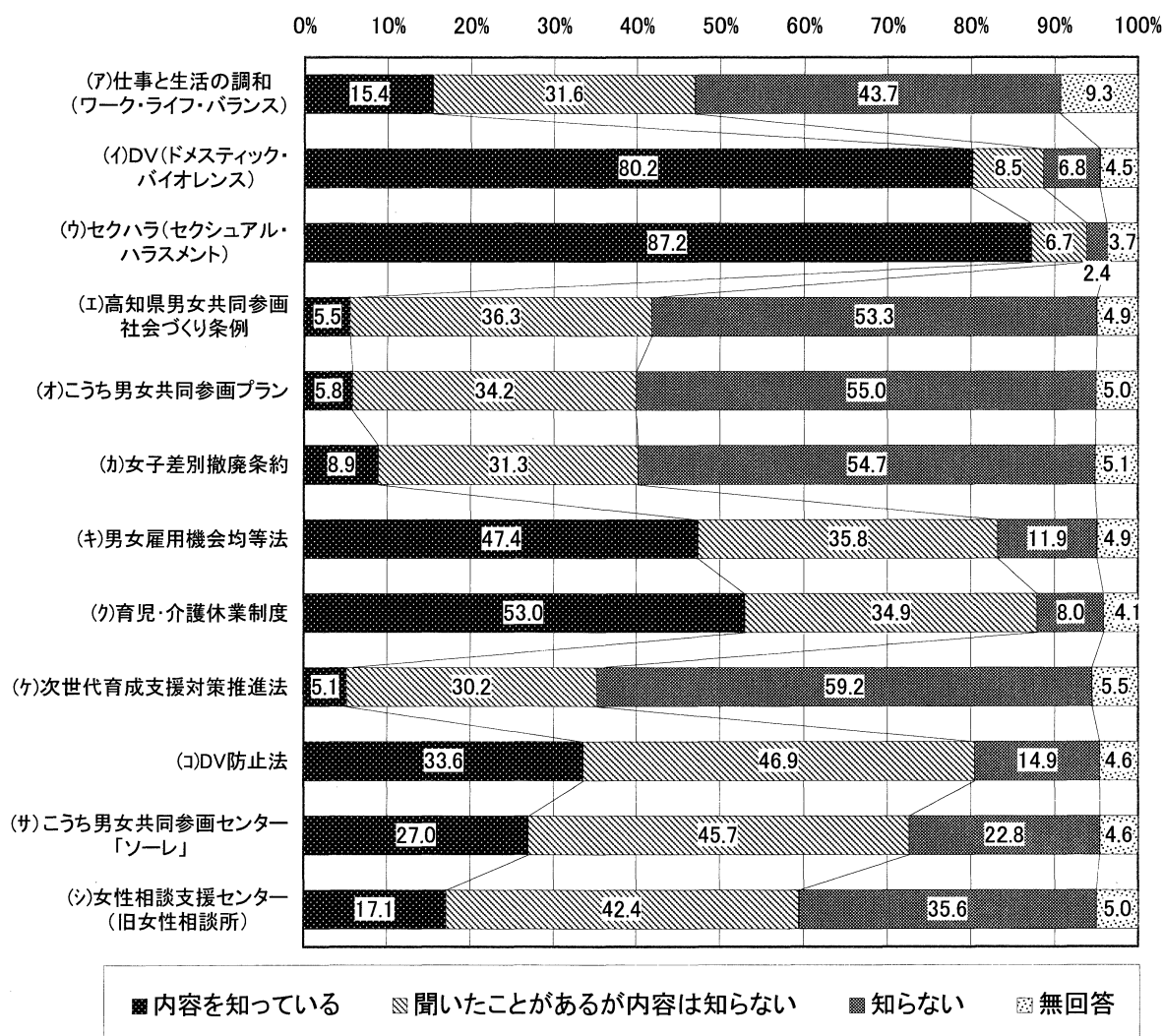
60歳代以上は、「容姿や服装に関して繰り返して言う」や「相手が嫌がっているのに性的なことを話題にする」、「職場や学校、集会などの場でわいせつな話をする」など、発言にまつわる行為に関してはセクハラという意識が低いことがうかがえる。

6 男女共同参画の推進について

問11 あなたは、次にあげる言葉について、知っていますか。(ア)から(シ)までの項目ごとに、それぞれあてはまる番号(1~3)に1つだけ○印をつけてください。

◆「DV」「セクハラ」については8割以上の人の内容まで知っている。「男女雇用機会均等法」「育児・介護休業制度」については、約5割の人が内容まで知っているが、3割強の人は名前しか知らない。また、「高知県男女共同参画社会づくり条例」「こうち男女共同参画プラン」「女子差別撤廃条約」「次世代育成支援対策推進法」は半数以上の人が「知らない」と答えている。

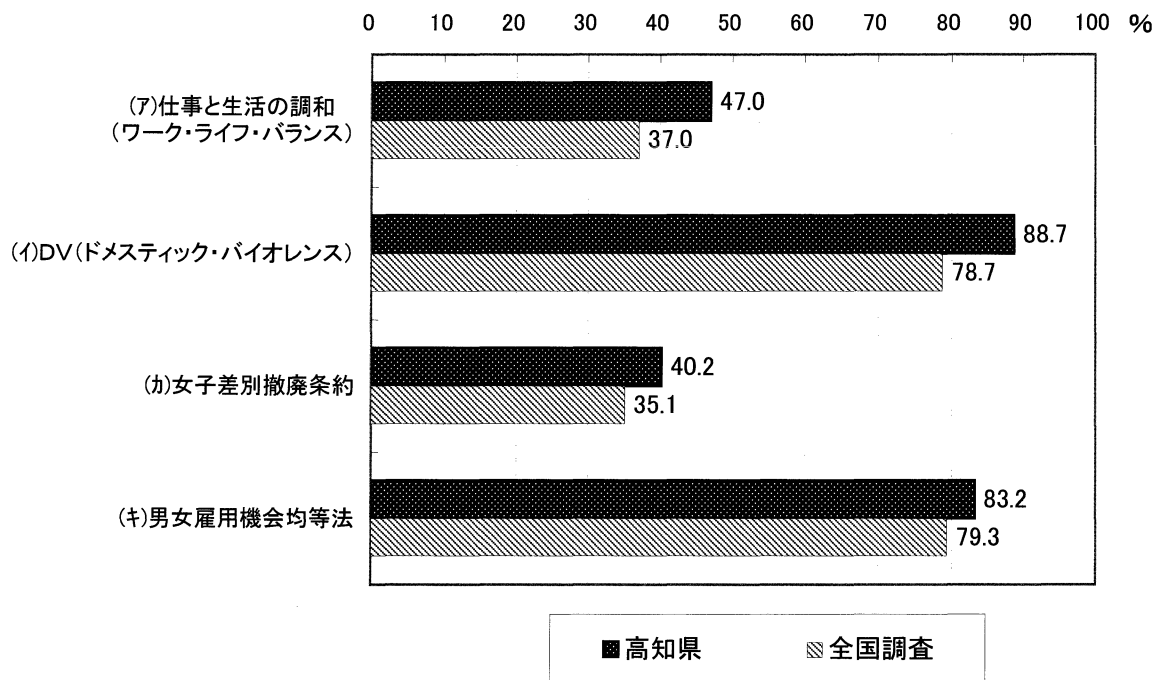
〈図11-1〉 問11 法律や制度・各種用語の周知度 [総合 N=1,142]



男女共同参画にまつわる用語、制度、施設名の周知度について聞くと、「セクハラ」87.2%、「DV」80.2%の2件で「内容を知っている」と答えた人が多かった。『名前を知っている』(「内容を知っている」+「聞いたことがあるが内容は知らない」)人は「育児・介護休業制度」87.9%、「男女雇用機会均等法」83.2%、「DV防止法」80.5%、「ソーレ」72.7%の4項目でも多かったが、それらの内で「内容を知っている」人は半数かそれ以下に留まり、言葉として聞いたことはあってもその内容までは周知が行き届いていない現状が見て取れる。

また、「知らない」と答えた人が多いのは、「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」47.0%、「高知県男女共同参画社会づくり条例」41.8%、「女子差別撤廃条約」40.2%、「こうち男女共同参画プラン」40.0%、「次世代育成支援対策推進法」35.3%などで、条例・制度などの周知度が低いのが目立っている。

＜図11-2＞ 問11 法律や制度・各種用語の周知度－全国調査との比較※ [高知 N=1,142、全国 N=3,240]



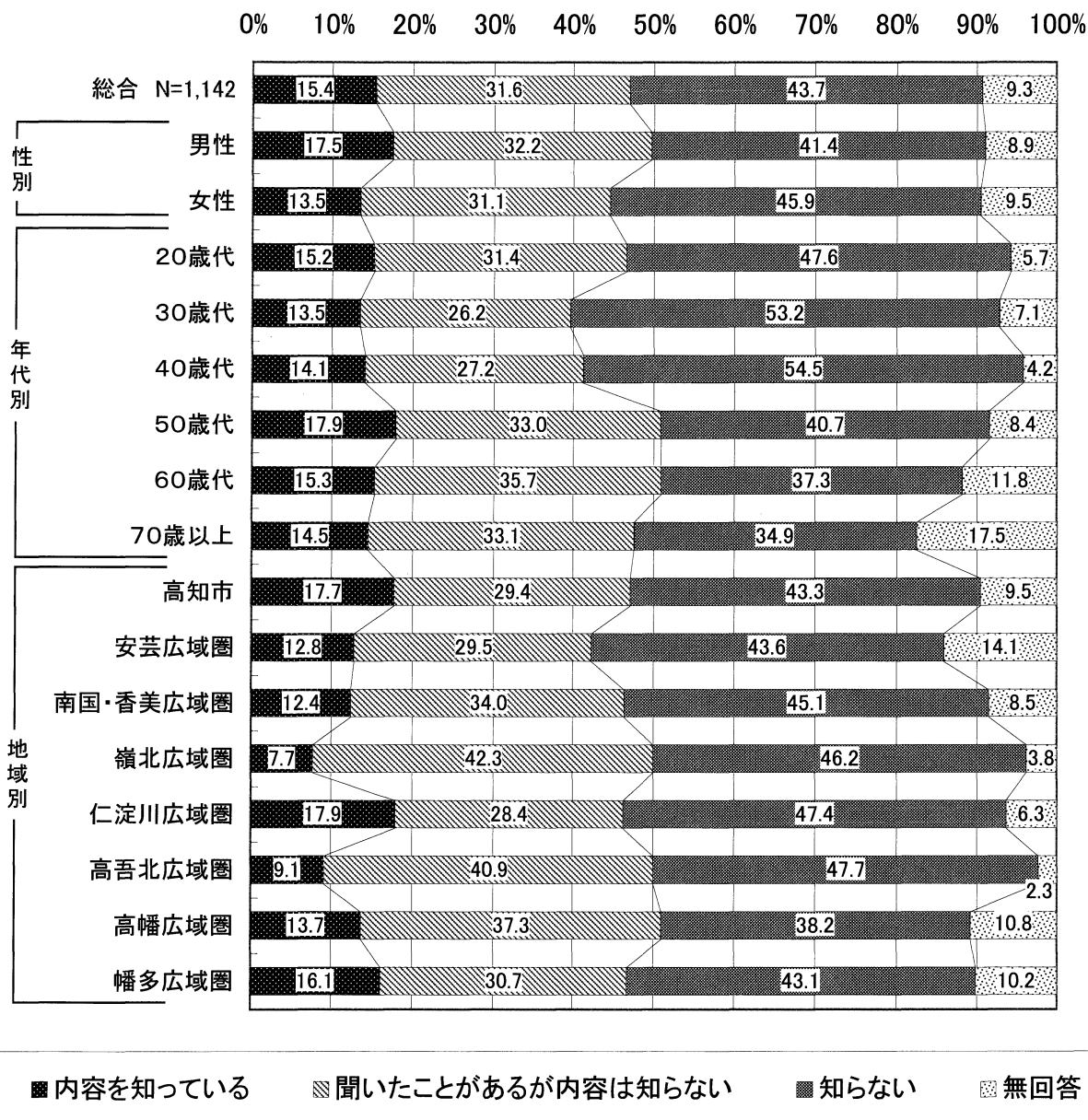
※全国調査の質問文は「これらの言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものを全てあげてください。」となっているため、高知県の数値は「内容を知っている」「聞いたことがあるが内容は知らない」の回答を合わせたものを表示している

用語・制度についての周知度を全国調査と比較すると、「仕事と生活の調和」は高知県47.0%に対し全国調査37.0%、「DV(ドメスティック・バイオレンス)」は高知県88.7%に対し全国調査78.7%と、いずれも高知県が10ポイント上回っている。また「女子差別撤廃条約」は高知県40.2%に対し全国調査35.1%、「男女雇用機会均等法」は高知県83.2%に対し全国調査79.3%と、いずれも高知県が5ポイント程度上回っている。各項目とも高知県における周知度が全国調査を上回っているのが特徴である。

(ア)仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)

◆男性の方が周知度は若干高い。中高年層で『名前を知っている』人が多い。地域によっては「聞いたことがあるが内容は知らない」という人の比率が高い。

〈図11-3〉 問11(ア)仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)



今回の調査で新しく追加された項目である「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」の周知度については、性別では『名前を知っている』(「内容を知っている」+「聞いたことがあるが内容は知らない」)は男性が49.7%に対し女性が44.6%と男性が5.1ポイント上回っている。「内容を知っている」も男性17.5%、女性13.5%と4.0ポイント上回っており、名前、内容ともに男性への周知度が高い。

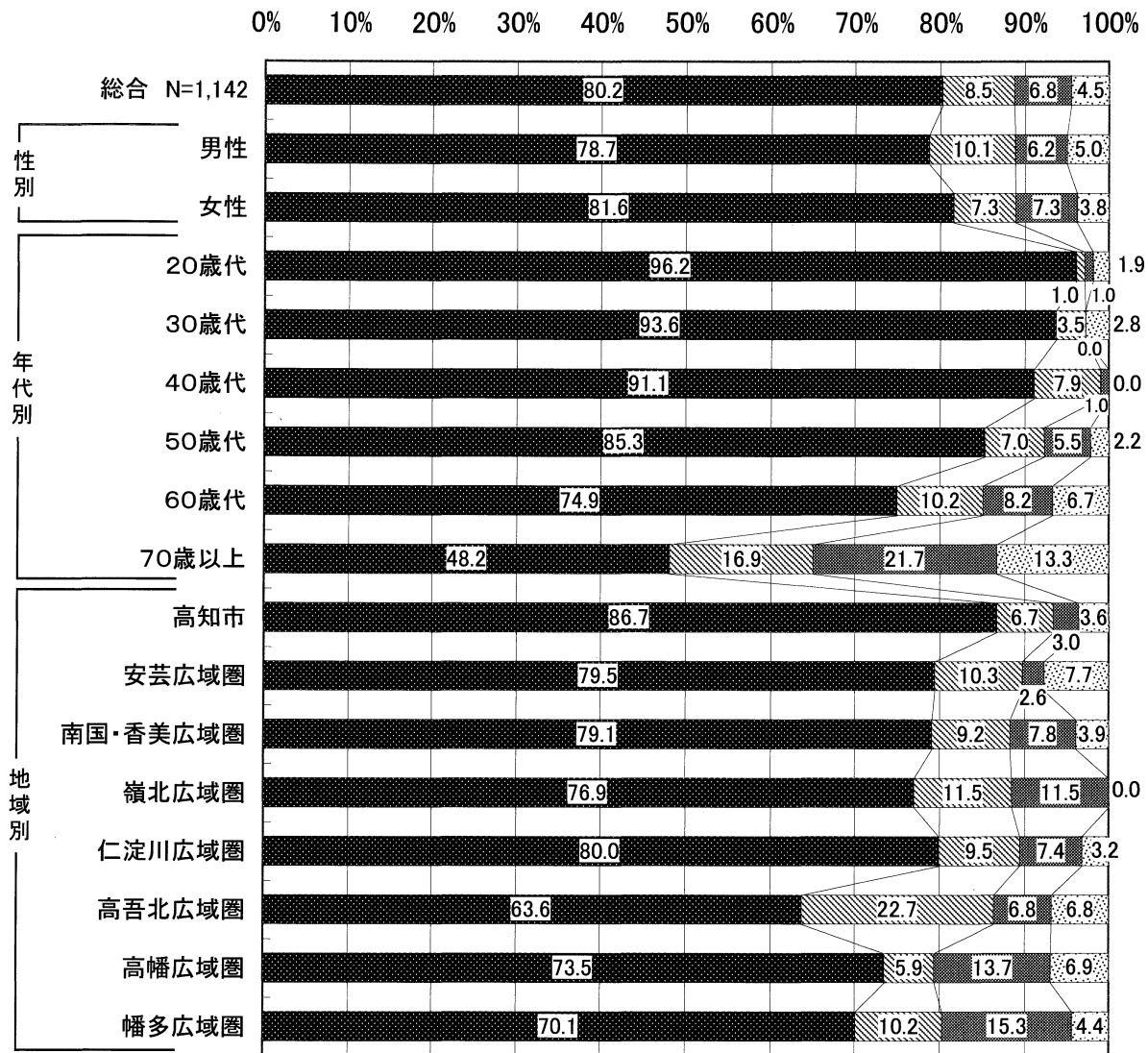
年代別では、『名前を知っている』は50歳代50.9%、60歳代51.0%、70歳代47.6%と、中高年層への周知度が高く、30歳代・40歳代の半数以上の人々が「知らない」と答えている。

地域別に見ると、高幡広域圏51.0%、嶺北広域圏50.0%、高吾北広域圏50.0%などの地域で『名前を知っている』が高く、安芸広域圏42.3%が最も低い。一方で「内容を知っている」のは上記3地域以外の、仁淀川広域圏17.9%、高知市17.7%などで高いが、仁淀川広域圏47.4%が「知らない」と答えているのが注目される。嶺北広域圏42.3%や高吾北広域圏40.9%などでは「聞いたことがあるが内容は知らない」人が多いのが特徴である。

(イ)DV(ドメスティック・バイオレンス)

◆低い年代ほど周知度は高く、20歳代はほとんど全ての人が内容も含めて知っている。県西部でやや周知度が低い。

〈図11-4〉 問11(イ)DV(ドメスティック・バイオレンス)



■ 内容を知っている ▨ 聞いたことがあるが内容は知らない ■ 知らない □ 無回答

今回の調査で新しく追加された項目である「DV(ドメスティックバイオレンス)」の周知度について、性別では『名前を知っている』(「内容を知っている」+「聞いたことがあるが内容は知らない」)割合はほとんど変わらないが、「内容を知っている」は男性78.7%に女性81.6%とわずかながら女性が多い。

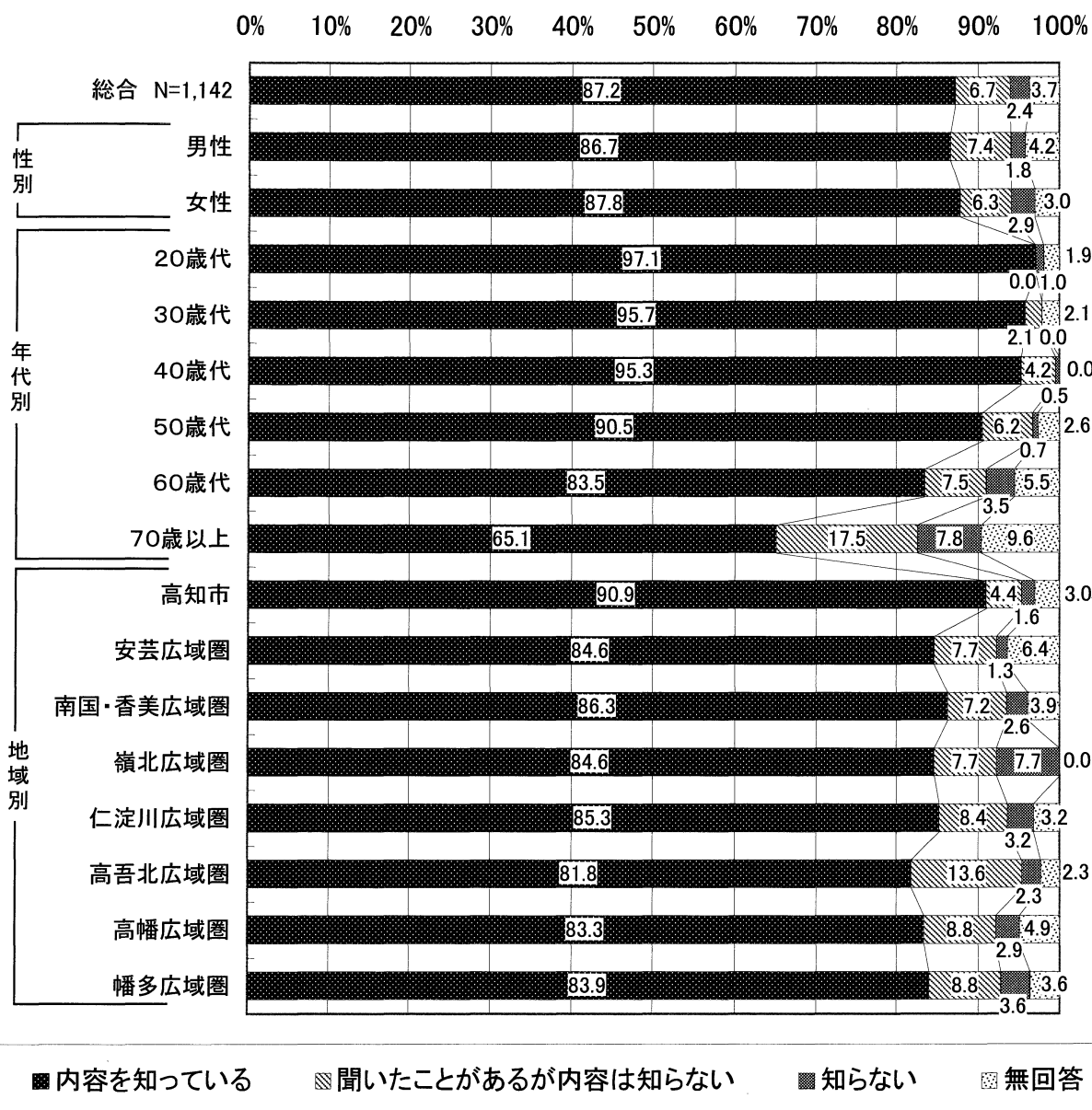
年代別では、20歳代は『名前を知っている』が97.2%と全員に近い人が知っており、「内容を知っている」でも96.2%とほとんどの人が知っている。年齢が低いほど周知度は高く、70歳以上では『名前を知っている』は65.1%(うち「内容を知っている」48.2%、以下同様)と大きく下がる。

地域別では、すべての地域において80%~90%程度の周知度を示しており、その中で特に高いのは高知市93.4%(うち86.7%)で、低いのは高幡広域圏79.4%(うち73.5%)、幡多広域圏80.3%(うち70.1%)と、県西部での周知度がやや低いのが特徴である。「内容を知っている」は高吾北広域圏63.6%が最も低い比率となっている。

(ウ)セクハラ(セクシュアル・ハラスメント)

◆9割近い人が内容も含めて知っている。低い年代での周知度は非常に高く、60歳を超えるとやや低めとなっている。

〈図11-5〉 問11(ウ)セクハラ(セクシュアル・ハラスメント)



今回の調査で新しく追加された項目である「セクハラ(セクシュアル・ハラスメント)」の周知度については、性別による差異はほとんど見られず、どちらも『名前を知っている』(「内容を知っている」+「聞いたことがあるが内容は知らない」) 94.1%、「内容を知っている」は87%前後の比率を示している。

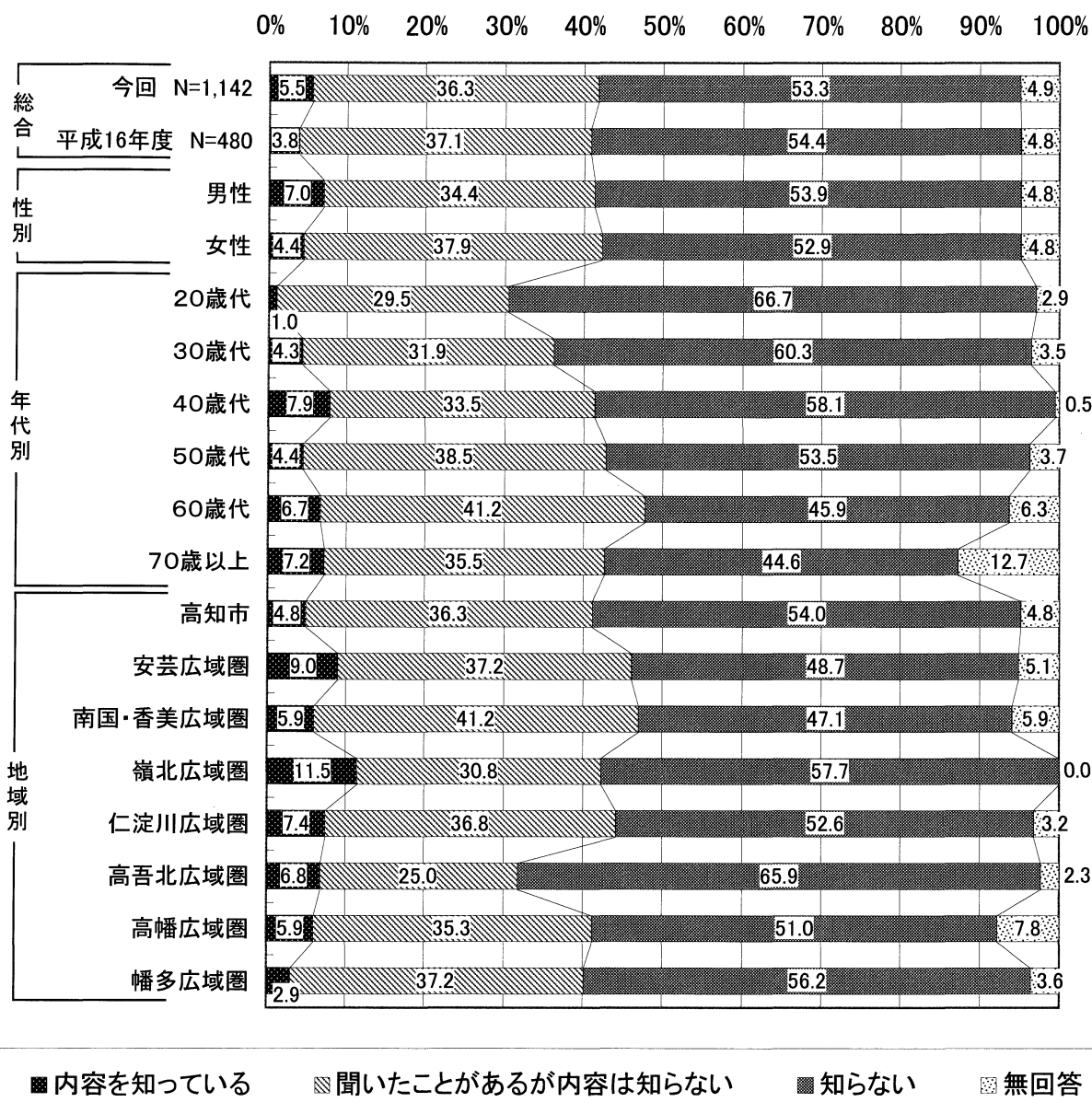
年代別では、『名前を知っている』は20歳代の97.1%、30歳代の97.8%、40歳代の99.5%と、広い年代で周知されているが、70歳以上では『名前を知っている』82.6%(うち「内容を知っている」65.1%、以下同様)と少し下がる。

地域別では、全域で『名前を知っている』が90%を超えており、高知市が95.3%(うち90.9%)と特に高い。高吾北広域圏は『名前を知っている』は95.4%と高い比率を占めているが、「内容を知っている」は81.8%と少し低くなっている。

(エ)高知県男女共同参画社会づくり条例

◆約4割の人が『名前を知っている』と答えており、60歳代については5割弱の人が『名前を知っている』と答えている。

〈図11-6〉 問11(エ)高知県男女共同参画社会づくり条例



「高知県男女共同参画社会づくり条例」の周知度について前回の調査と比較すると、『名前を知っている』（「内容を知っている」＋「聞いたことがあるが内容は知らない」）は前回40.9%に対し今回41.8%と0.9ポイントと微増であるが、「内容を知っている」人は前回3.8%に対し今回5.5%と1.7ポイント増加している。

性別では『名前を知っている』は男性41.1%、女性42.3%と近い比率だが、「内容を知っている」は男性7.0%、女性4.4%と、男性の方がやや多い。

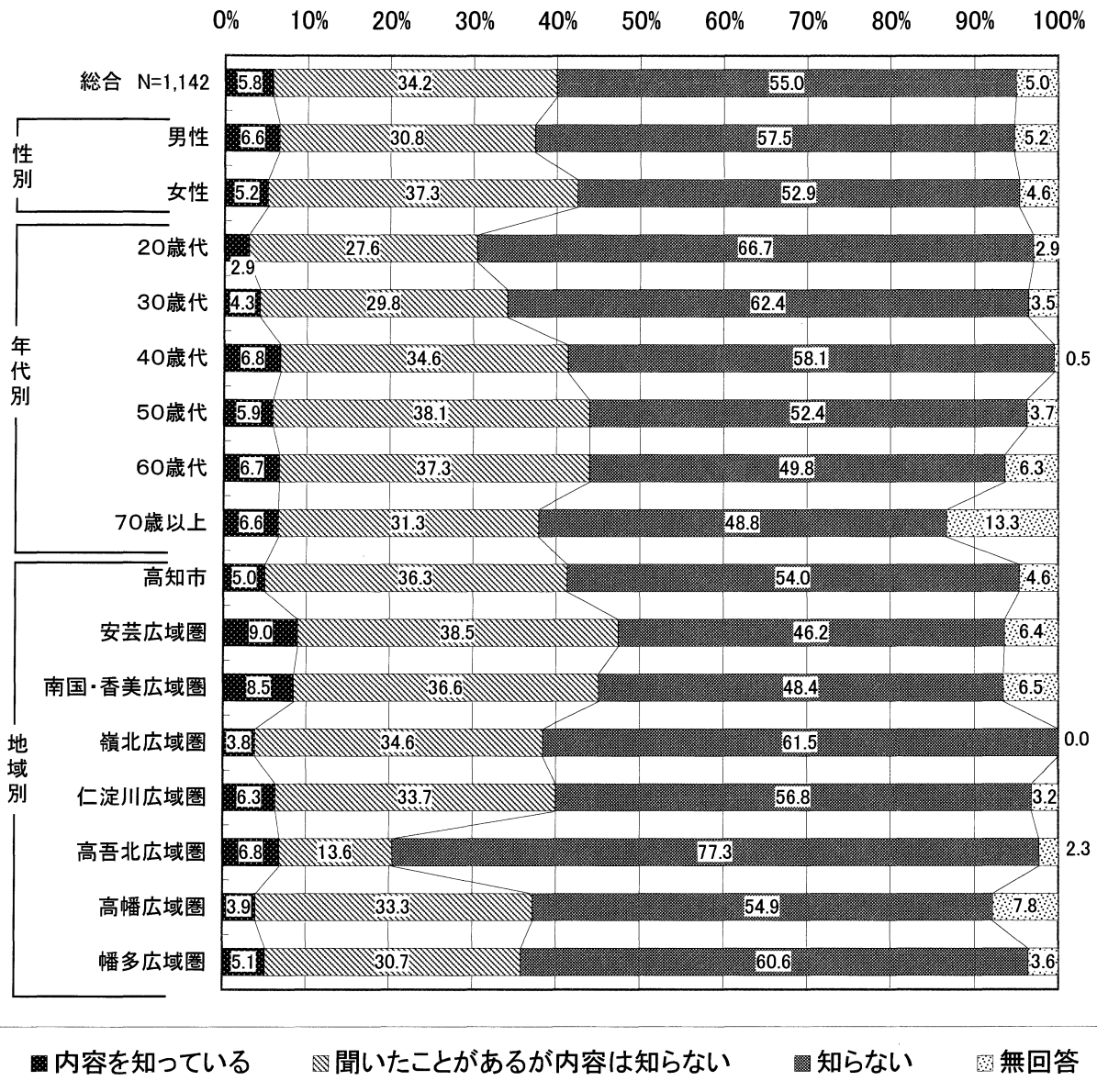
年代別では、『名前を知っている』は60歳代47.9%で最も高く、低い年代ほどその周知度は下がり、20歳代では30.5%、「内容を知っている」のはわずか1.0%に留まる。「内容を知っている」が最も高いのは40歳代7.9%となっている。

地域別に見ると、『名前を知っている』が最も高いのは南国・香美広域圏47.1%、安芸広域圏46.2%などで、高吾北広域圏は31.8%と最も低い。「内容を知っている」は嶺北広域圏11.5%となっている。

(オ)こうち男女共同参画プラン

◆女性の方が『名前を知っている』比率が高い。40～60歳代では、4割を超える人が『名前を知っている』。高吾北広域圏における周知度の低さが目立つ。

<図11-7> 問11(オ)こうち男女共同参画プラン



今回の調査で新しく追加された項目である「こうち男女共同参画プラン」の周知度について、性別では『名前を知っている』（「内容を知っている」＋「聞いたことがあるが内容は知らない」）は男性37.4%に対して女性42.5%と、女性の方が5.1ポイント上回る。

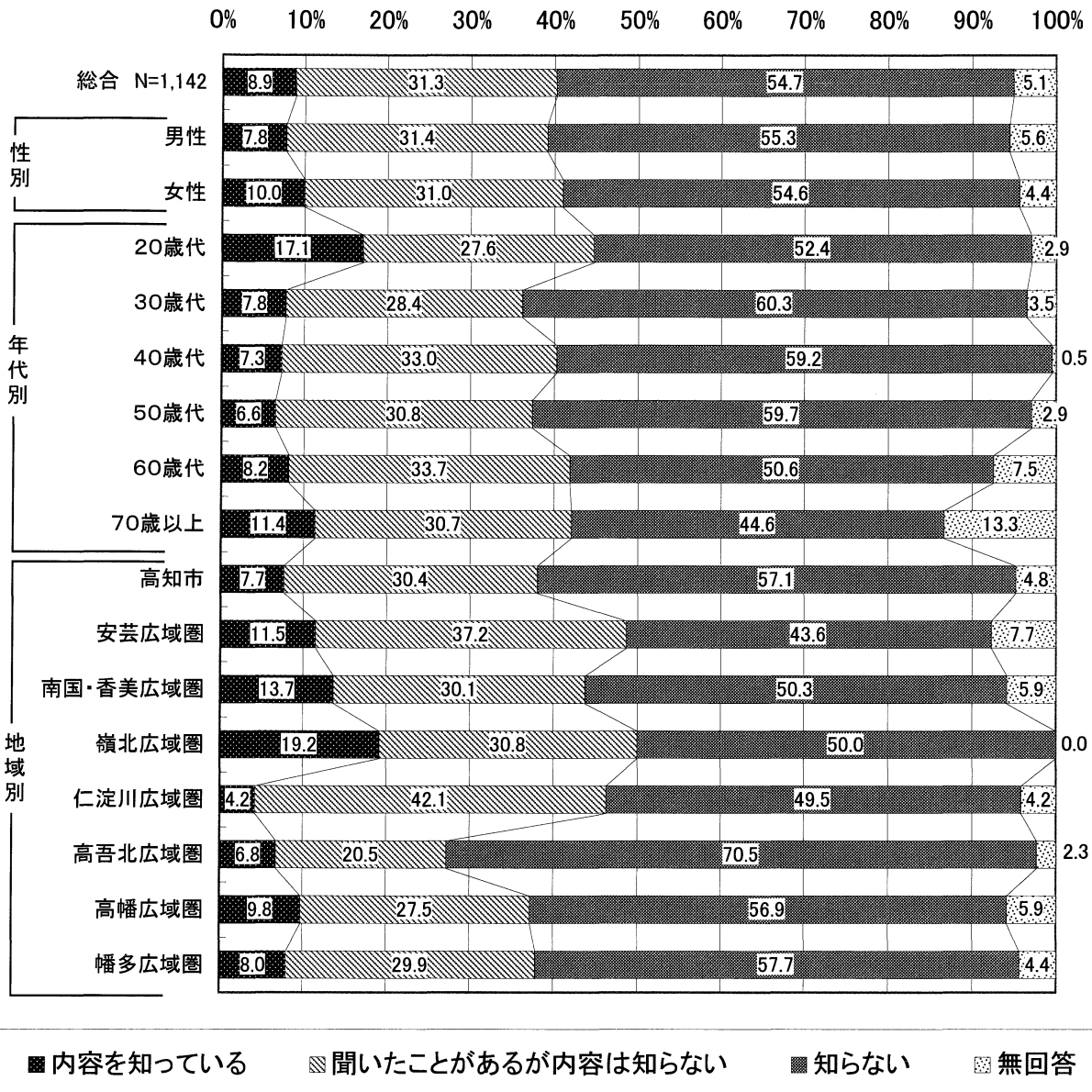
年代別では、『名前を知っている』は50歳代、60歳代が各44.0%で最も高く、20歳代30.5%まで年代が低くなるほど周知度も下がる。

地域別では、安芸広域圏が『名前を知っている』47.5%（うち「内容を知っている」9.0%、以下同様）、南国・香美広域圏が45.1%（うち8.5%）と周知度が高く、高吾北広域圏では20.4%（うち6.8%）と大変低く、77.3%の人が「知らない」と答える結果となった。また「内容を知っている」比率が低いのは、嶺北広域圏3.8%、高幡広域圏3.9%などの地域である。

(カ)女子差別撤廃条約

◆20歳代が「内容を知っている」を含めて周知度が高い。地域別による周知度の差が大きいのが目立つ。

<図11-8> 問11(カ)女子差別撤廃条約



今回の調査で新しく追加された項目である「女子差別撤廃条約」の周知度について、性別では『名前を知っている』（「内容を知っている」＋「聞いたことがあるが内容は知らない」）は男性39.2%に対し女性41.0%で1.8ポイント、「内容を知っている」でも男性7.8%に女性10.0%で2.2ポイントと、いずれも女性が上回っている。

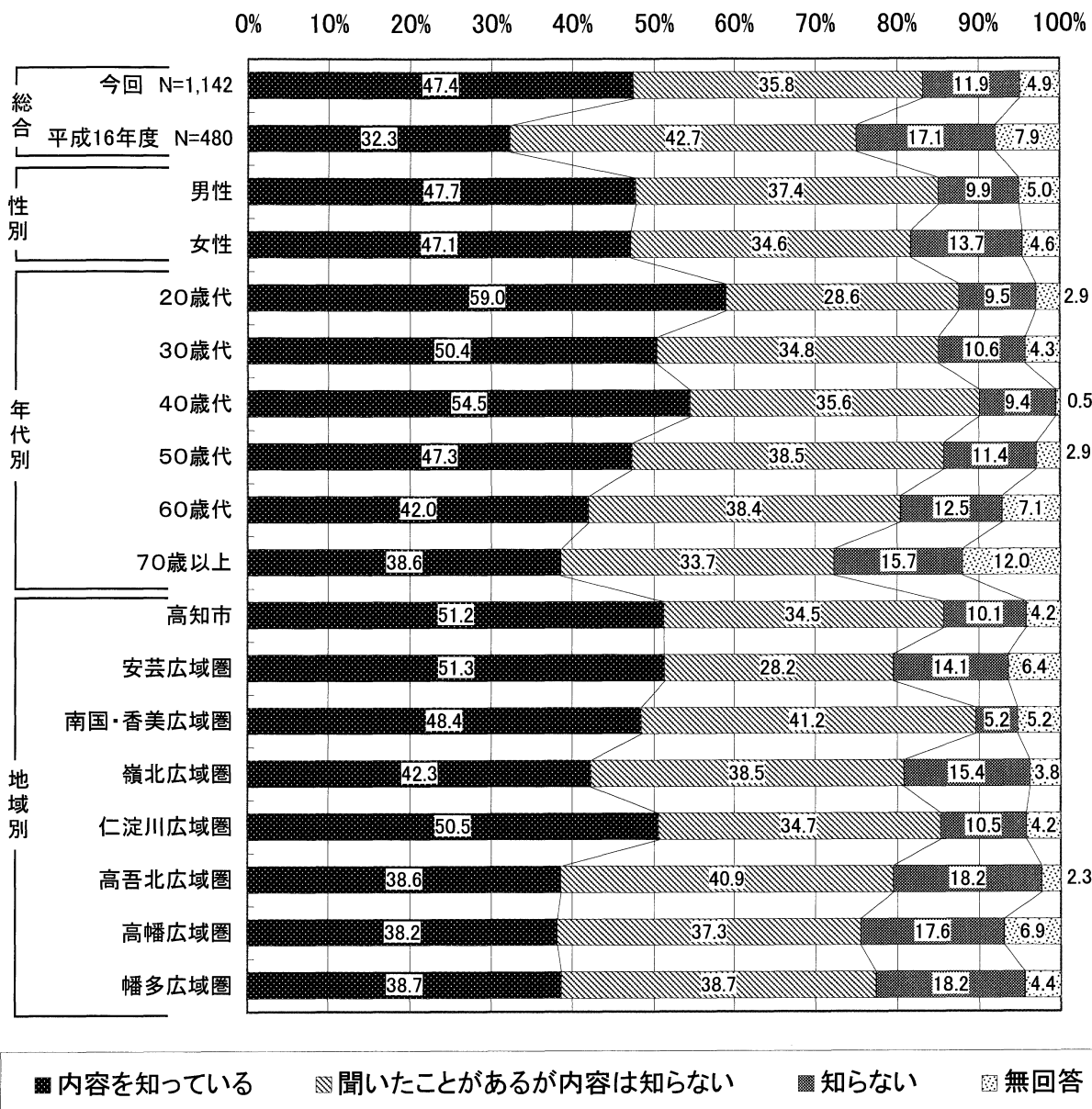
年代別では、20歳代の『名前を知っている』は44.7%と最も高く、その中でも「内容を知っている」は17.1%と、他の年代と比較しても大幅に比率が高い。

地域別では、『名前を知っている』は嶺北広域圏50.0%、安芸広域圏48.7%、仁淀川広域圏46.3%などで高く、特に嶺北広域圏は「内容を知っている」が19.2%と、他の地域より周知度が高い。それに反して仁淀川広域圏では、「内容を知っている」が4.2%と、名前を知っていても内容までは知らない、という人が多いことが目立つ。また、高吾北広域圏は、『名前を知っている』27.3%（うち「内容を知っている」6.8%）と、周知度が低いことが見て取れる。

(キ)男女雇用機会均等法

◆前回の調査と比較すると「内容を知っている」人は大きく増加。40歳代以下の年代で半数以上の人「内容を知っている」と答えている。地域によって周知度に若干の差異が見られる。

〈図11-9〉 問11(キ)男女雇用機会均等法



「男女雇用機会均等法」の周知度について前回の調査と比較すると、『名前を知っている』（「内容を知っている」＋「聞いたことがあるが内容は知らない」）が前回75.0%に対して今回83.2%と8.2ポイント増加しており、「内容を知っている」を見ると前回32.3%だったのが今回は47.4%と、15.1ポイントの大幅増となった。

性別で比較すると、『名前を知っている』人の比率は男性85.1%に対して女性81.7%と、男性が3.4ポイント上回っている。

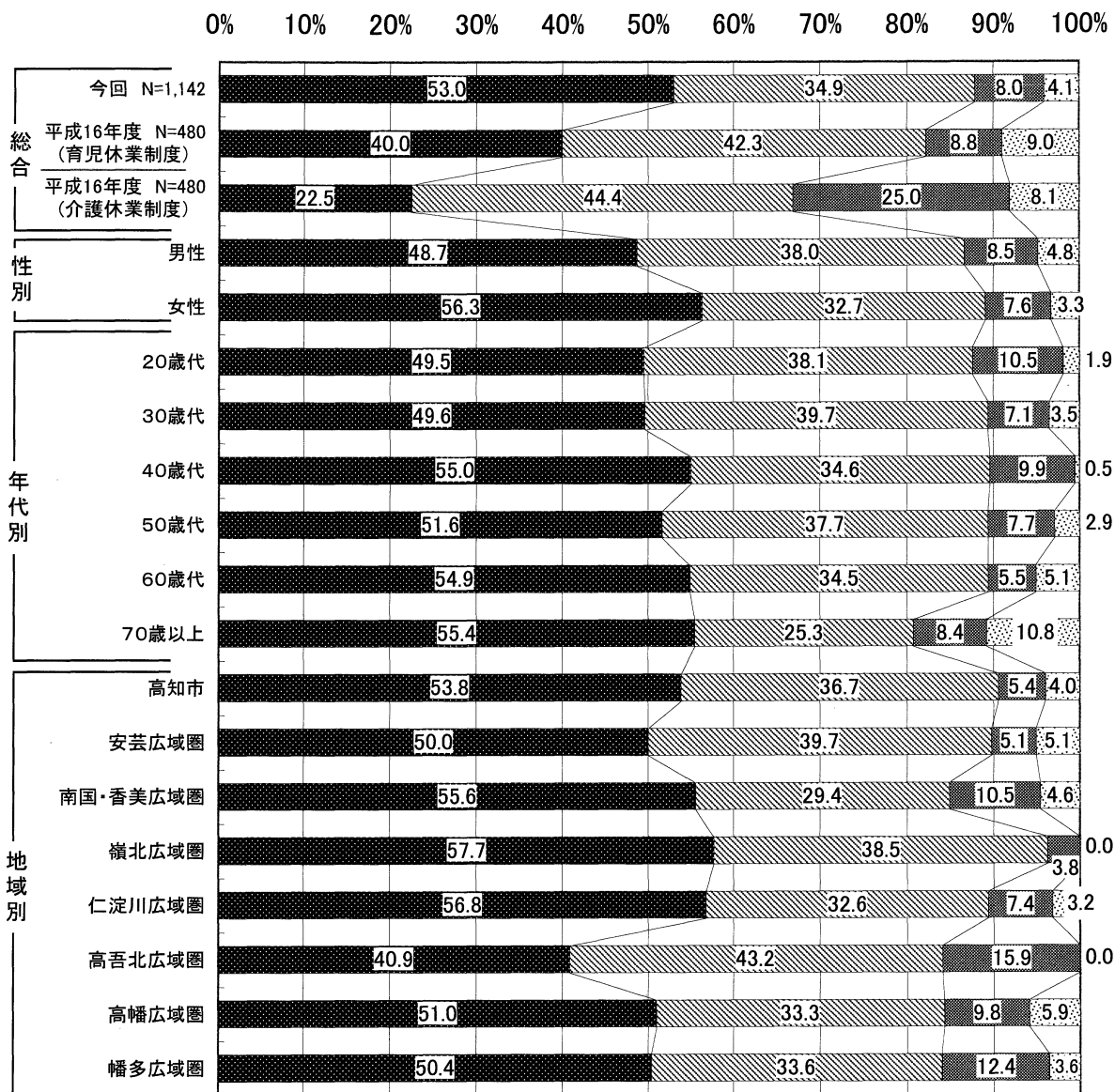
年代別では、『名前を知っている』は40歳代の90.1%（うち「内容を知っている」54.5ポイント、以下同様）が最も高く、次いで20歳代87.6%（うち59.0%）、30歳代85.2%（うち50.4%）の順で周知度が高い。最も周知度が低いのは70歳以上で、72.3%（うち38.6%）となっている。

地域別では、『名前を知っている』では南国・香美広域圏が89.6%（うち48.4%）と最も周知度が高いが、高知市85.7%（うち51.2%）、安芸広域圏79.5%（うち51.3%）などが「内容を知っている」比率では上回る。低いのは、高幡広域圏75.5%（うち38.2%）、幡多広域圏77.4%（うち38.7%）などである。

(ク)育児・介護休業制度

◆育児休業、介護休業ともに、制度については5割以上の人に内容を知られるようになった。女性の方が内容を知っている比率が高い。

<図11-10> 問11(ク)育児・介護休業制度



■ 内容を知っている ▨ 聞いたことがあるが内容は知らない ■ 知らない ▩ 無回答

「育児・介護休業制度」の周知度について前回の調査（前回は「育児休業制度」と「介護休業制度」それぞれの用語について聞く形式のため、両制度を合わせた比率での比較はできない）と比較すると、今回は『名前を知っている』（「内容を知っている」＋「聞いたことがあるが内容は知らない」）が87.9%（うち「内容を知っている」53.0%、以下同様）と、半数以上の方が内容も知っているのに対して、前回の「育児休業制度」の項目は82.3%（うち40.0%）、「介護休業制度」は66.9%（うち22.5%）と低く、5年のうちに両制度の周知度は大きく向上していることが注目される。

また、性別で見ると、男性86.7%（うち48.7%）、女性89.0%（うち56.3%）と、『名前を知っている』『内容を知っている』ともに女性が上回っている。

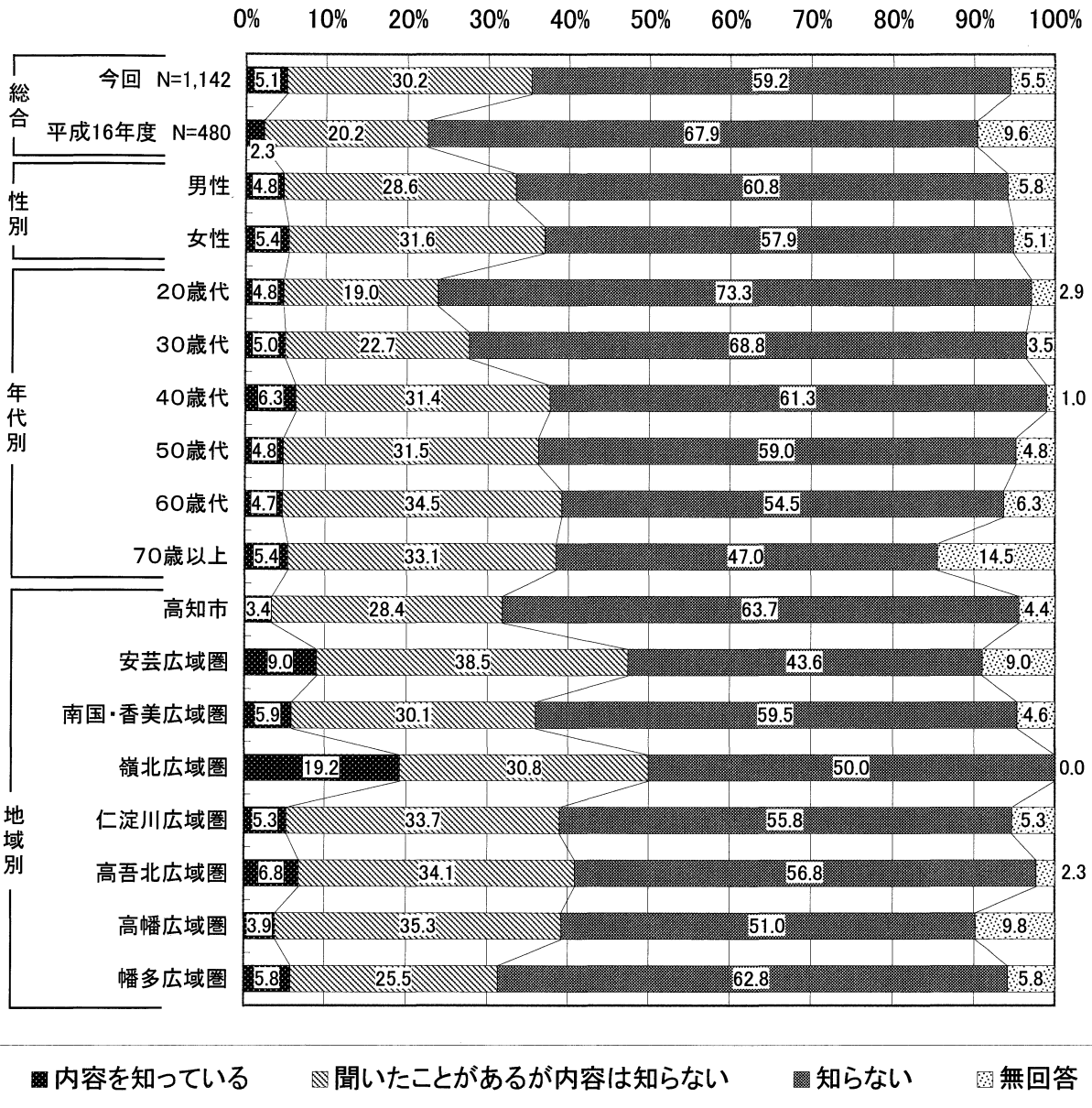
年代別では、70歳以上80.7%（うち55.4%）を除き、全ての年代で90%近い人が『名前を知っている』と答えている。

地域別に見ると、嶺北広域圏が96.2%（うち57.7%）と最も高く、次に高知市90.5%（53.8%）、安芸広域圏89.7%（うち50.0%）の順となっている。一番周知度が低いのは、高吾北広域圏で、『名前を知っている』では84.1%と他の地域と大差ないが、「内容を知っている」は40.9%と低く、内容の周知徹底が課題であると言える。

(ケ)次世代育成支援対策推進法

◆前回の調査と比較すると周知度は大幅に増加している。女性の周知度が男性を上回る。40歳代以上の年代で知っている比率は高くなっている。嶺北広域圏の「内容を知っている」比率が特に高い。

＜図11-11＞ 問11(ケ)次世代育成支援対策推進法



他の項目と比較すると全般的に周知度の低い「次世代育成支援対策推進法」については、前回の調査と比較すると前回の『名前を知っている』22.5%（うち「内容を知っている」2.3%、以下同様）に対して今回は35.3%（うち5.1%）と12.8ポイント増加している。

性別で比較すると、男性33.4%（うち4.8%）、女性37.0%（うち5.4%）と女性が上回っている。

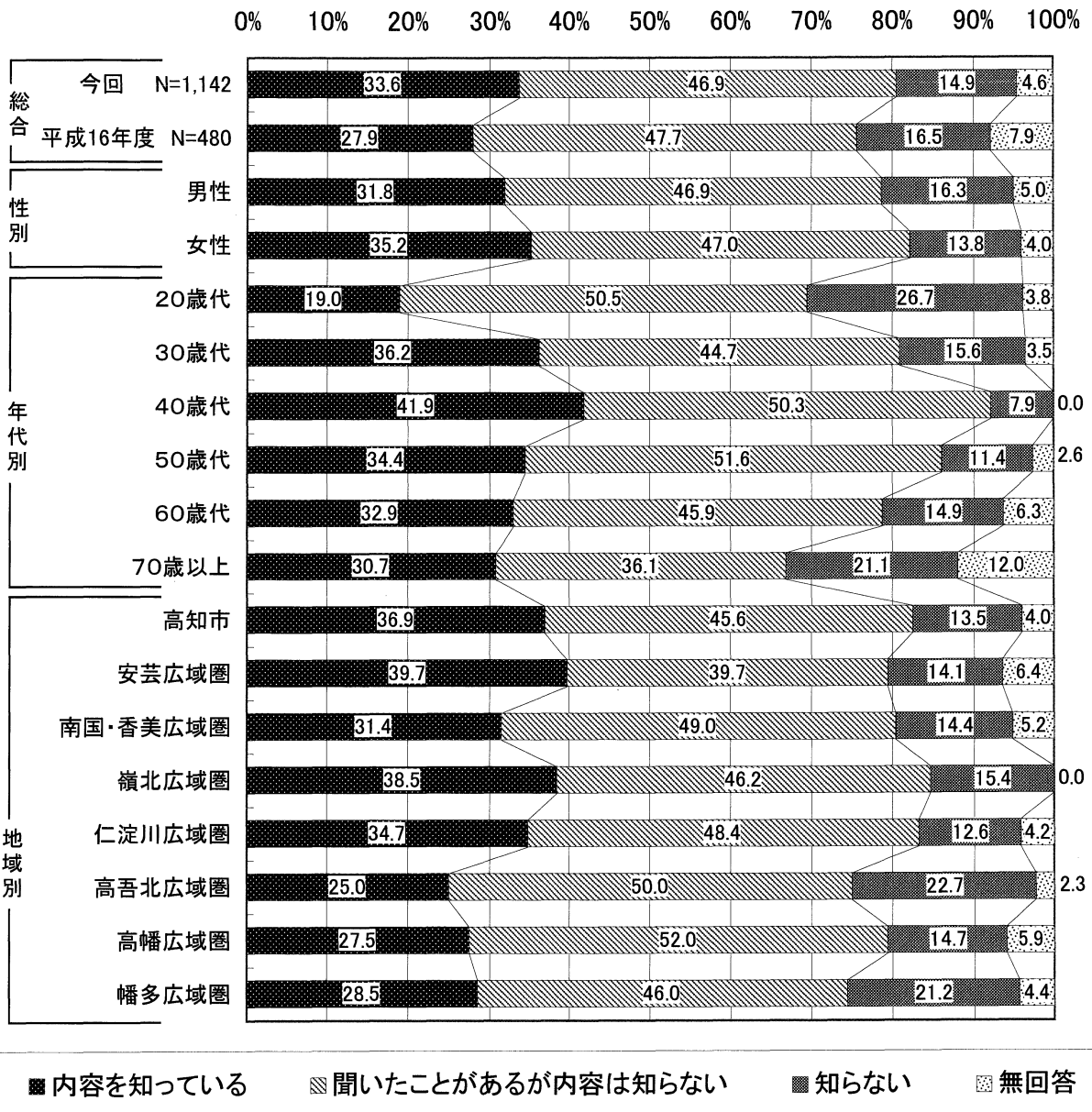
年代別では、40歳代以上の年代で周知度が高く、60歳代39.2%（うち4.7%）が最も高い。20歳代23.8%（うち4.8%）、30歳代27.7%（うち5.0%）が他の年代を大きく下回っている。

地域別に見ると、嶺北広域圏50.0%（うち19.2%）、安芸広域圏47.5%（うち9.0%）などにおける周知度が高く、特に嶺北広域圏での「内容を知っている」人の多さは群を抜いている。逆に低いのは高知市31.8%（うち3.4%）、幡多広域圏31.3%（5.8%）などの地域であり、上位地域とは15ポイント前後の差がある。

(コ)配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(いわゆるDV防止法)

◆前回の調査と比較すると微増。女性の周知度がやや高い。20歳代の「内容を知っている」比率が他の年代と比べて大幅に低くなっており、この年代への周知・啓発が課題である。

<図11-12> 問11(コ)DV防止法



「DV防止法」の周知度について前回の調査と比較すると、前回『名前を知っている』（「内容を知っている」＋「聞いたことがあるが内容は知らない」）人の比率が75.6%（うち「内容を知っている」27.9%、以下同様）に対して今回は80.5%（うち33.6%）と、約5ポイントの微増。

性別で見ると、男性78.7%（うち31.8%）、女性82.2%（35.2%）と、女性の方が若干周知度が高い。

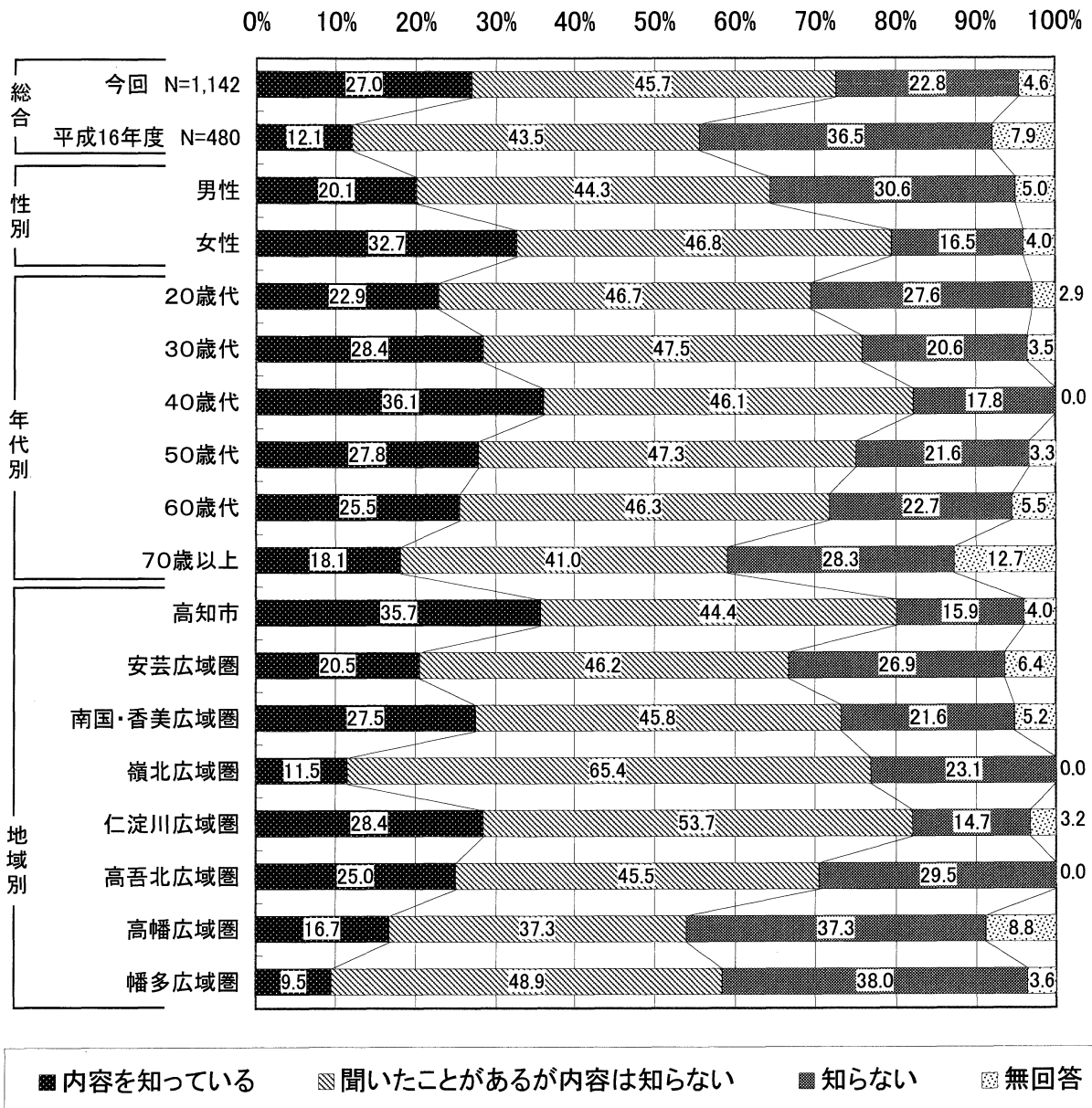
年代別では40歳代92.2%（うち41.9%）、50歳代86.0%（うち34.4%）における周知度が高く、20歳代69.5%（うち19.0%）、70歳以上66.8%（うち30.7%）などが低くなっている。特に20歳代の「内容を知っている」人の比率が他の層を大幅に下回っていることが注目される。

地域別では、嶺北広域圏84.7%（うち38.5%）、仁淀川広域圏83.1%（うち34.7%）、高知市82.5%（うち36.9%）などでの周知度が高く、高吾北広域圏75.0%（うち25.0%）や幡多広域圏74.5%（うち28.5%）などの地域でやや低い。

(サ)こうち男女共同参画センター「ソーレ」

◆前回の調査と比較すると周知度は大きく向上。女性の『名前を知っている』比率が男性を大幅に上回る。40歳代の『名前を知っている』人の比率が高い。所在地である高知市など周辺地域で周知度が高く、西部地域での低さが目立つ。

<図11-13> 問11(サ)こうち男女共同参画センター「ソーレ」



「こうち男女共同参画センター『ソーレ』」の周知度について前回の調査と比較すると、前回『名前を知っている』（「内容を知っている」＋「聞いたことがあるが内容は知らない」）55.6%（うち「内容を知っている」12.1%）に対して、今回は72.7%（うち27.0%）と、大幅に増加していることが注目される。

また、性別では、男性の『名前を知っている』64.4%（うち20.1%）に対して女性は79.5%（うち32.7%）と、名前・内容ともに、女性の方が大きく上回っている。

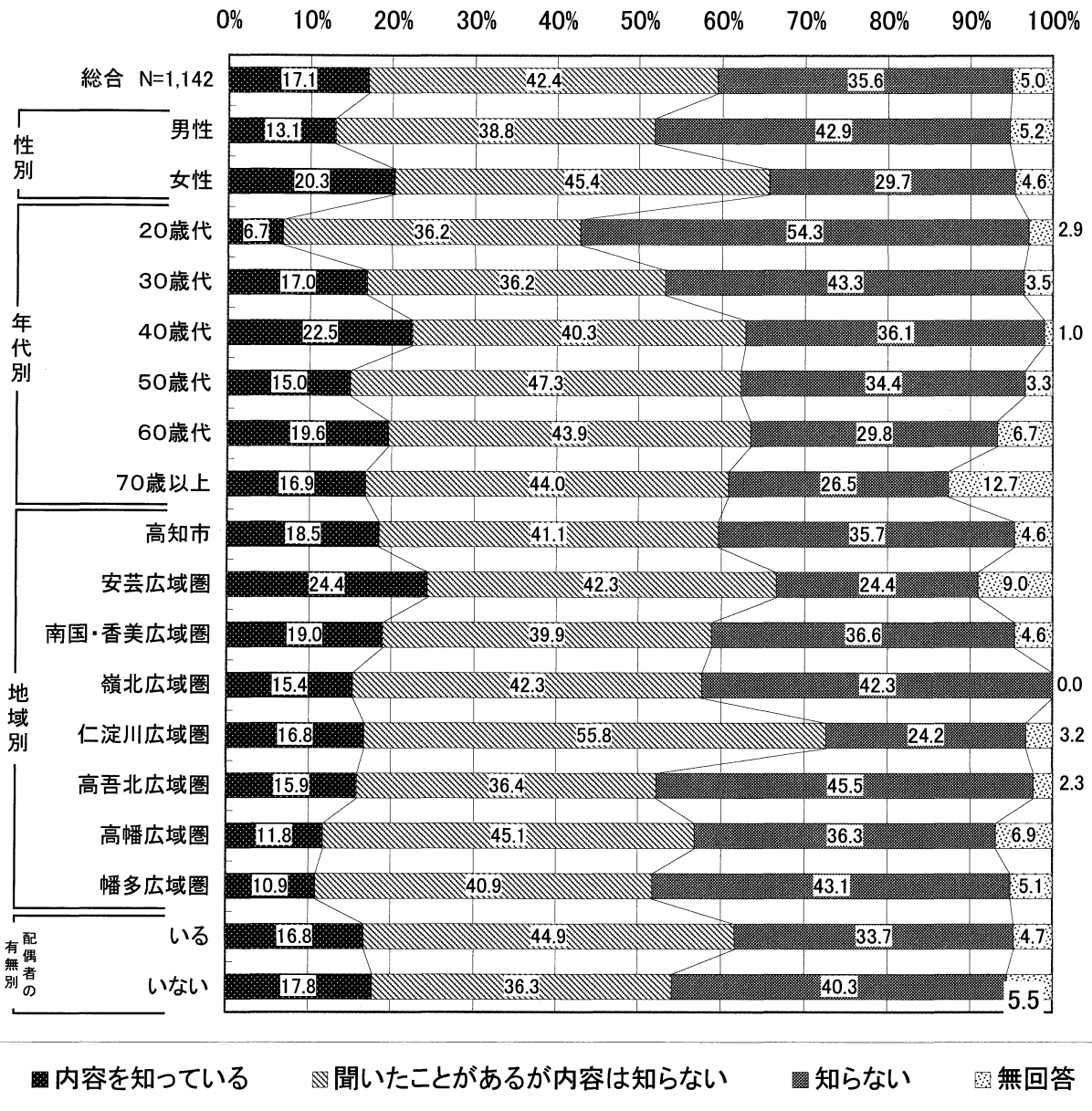
年代別では、最も高い40歳代の『名前を知っている』82.2%（うち36.1%）に対し、最も低い70歳以上59.1%（うち18.1%）は23.1ポイントの大きな差がある。

地域別に見ると、『名前を知っている』では仁淀川広域圏82.1%（うち28.4%）、高知市80.1%（うち35.7%）、嶺北広域圏76.9%（うち11.5%）の順となっているが、「内容を知っている」だと所在地である高知市が最も高い。その一方で嶺北広域圏での「内容を知っている」比率は低めであり、名前を聞いたことがあっても内容までは周知が徹底されていないことが課題と言える。また、高幡広域圏54.0%（うち16.7%）、幡多広域圏58.4%（うち9.5%）など、西部地域での周知度の低さが目立っている。

(シ)女性相談支援センター(旧女性相談所)

◆女性の方が周知度が高い。20歳代の周知度が低く、半数の人が「知らない」と答えており、「内容を知っている」人の少なさが目立っている。

〈図11-14〉 問11(シ)女性相談支援センター(旧女性相談所)



今回の調査で新しく追加された項目である「女性相談支援センター(旧女性相談所)」の周知度について、性別では男性の『名前を知っている』51.9% (うち「内容を知っている」13.1%、以下同様) に対し、女性は65.7% (うち20.3%) と、女性の方が名前、内容ともに周知度が高い。

年代別では、『名前を知っている』(「内容を知っている」+「聞いたことがあるが内容は知らない」)は20歳代42.9% (うち6.7%)、30歳代53.2% (うち17.0%) で低く、特に20歳代の「内容を知っている」人の比率が低い。他の年代は、60%強の人が『名前を知っている』と答えている。

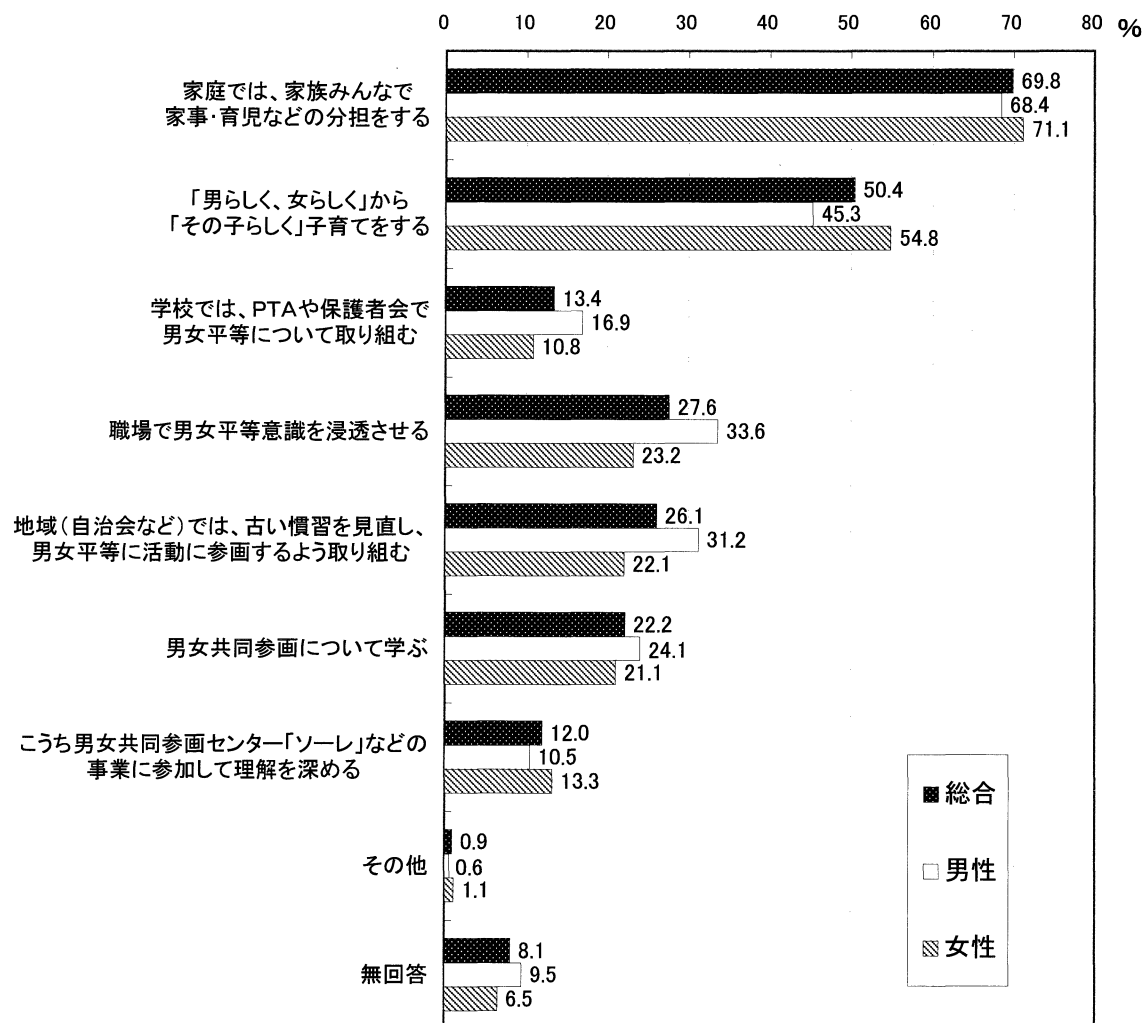
地域別では、仁淀川広域圏72.6% (うち16.8%)、安芸広域圏66.7% (うち24.4%) が高く、高吾北広域圏52.3% (うち15.9%)、幡多広域圏51.8% (うち10.9%) などの地域での周知度が低い。

配偶者の有無別で見ると、配偶者のいる人の『名前を知っている』61.7%に対し配偶者のいない人は54.1%と、配偶者のいる人の方が周知度が7.6ポイント上回っているのが注目される。

問12 男女共同参画は、私たち一人ひとりの身近な課題です。まず自分にできることから始めることが大切ですが、あなたは、何ができますか。次の中でできると思うものに○印をつけてください。(○印はいくつでも)

◆総合では、「家族みんなで家事・育児などの分担」や「『その子らしく』子育てをする」と答えた人が多い。性別では、「『男らしく、女らしく』から『その子らしく』子育てをする」などの項目では女性の方が、「職場で男女平等意識を浸透させる」「地域(自治会など)では、古い慣習を見直し、男女平等に活動に参画するよう取り組む」などでは男性の方が高くなっている。

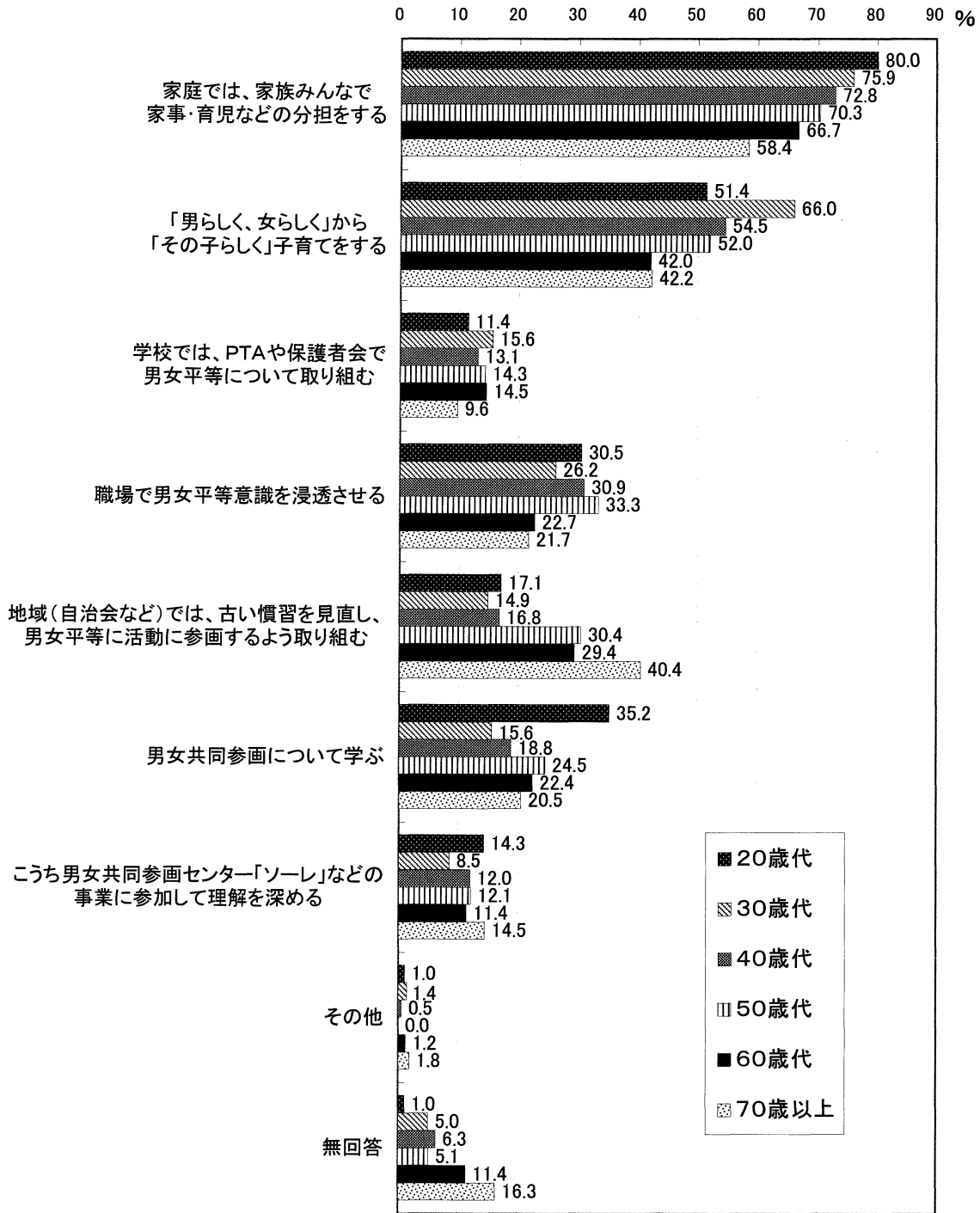
〈図12-1〉 問12 男女共同参画社会実現のためにできること [総合 N=1,142、性別]



今回初めて追加された質問項目である、男女共同参画社会を実現するために個人にできることについて聞くと、総合では「家庭では、家族みんなで家事・育児などの分担をする」69.8%、「『男らしく、女らしく』から『その子らしく』子育てをする」50.4%の2項目が特に高く、他には「職場で男女平等意識を浸透させる」27.6%、「地域(自治会など)では、古い慣習を見直し、男女平等に活動に参画するよう取り組む」26.1%などが続く。

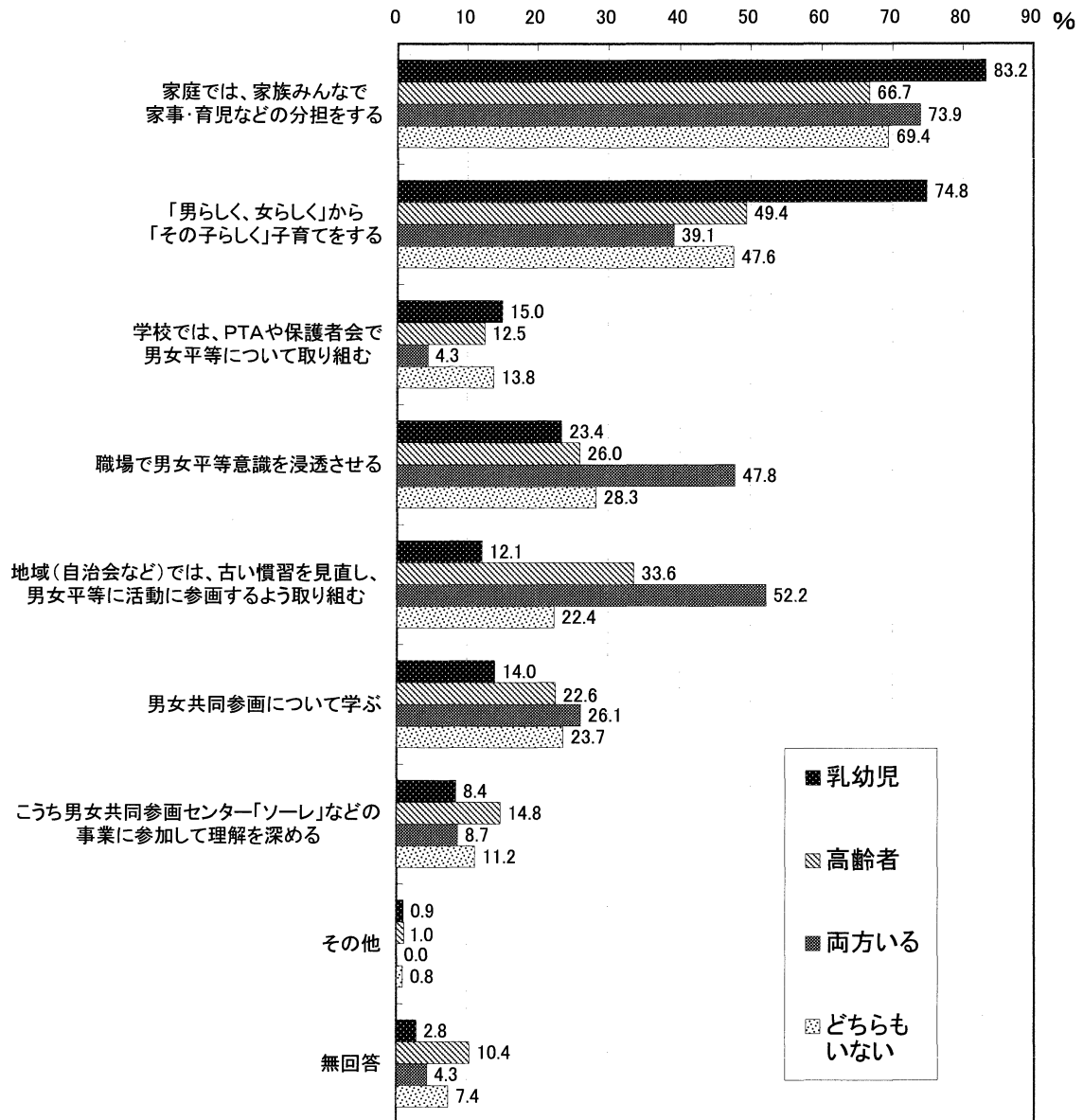
性別では、「家庭では、家族みんなで家事・育児などの分担をする」については性別であまり差が無い。「『男らしく、女らしく』から『その子らしく』子育てをする」などの項目では女性の方が、「職場で男女平等意識を浸透させる」「地域(自治会など)では、古い慣習を見直し、男女平等に活動に参画するよう取り組む」などでは男性の方が高くなっている。

〈図12-2〉 問12 男女共同参画社会実現のためにできること [年代別]



男女共同参画社会実現のためにできることを、年代別に見ると、「家庭では、家族みんなで家事・育児などの分担をする」が最も高い。次に「『男らしく、女らしく』から『その子らしく』子育てをする」が続いており、30歳代66.0%で特に高くなっている。「地域(自治会など)では、古い慣習を見直し、男女平等に活動に参画するよう取り組む」は70歳以上で多く、20歳代では「男女共同参画について学ぶ」と答えた人が多い。

〈図12-3〉 問12 男女共同参画社会実現のためにできること [同居家族別]



男女共同参画社会実現のためにできることを、同居家族の有無別に見ると、「家庭では、家族みんなで家事・育児などの分担をする」が最も高い。それ以下の項目については、乳幼児のいる家庭では「『男らしく、女らしく』から『その子らしく』子育てをする」74.8%が特に高く、乳幼児・高齢者が両方いる家庭では「職場で男女平等意識を浸透させる」47.8%、「地域(自治会など)では、古い慣習を見直し、男女平等に活動に参画するよう取り組む」52.2%と答えた人が多い。

VI 調査結果

〔数 表〕

問1 次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。(ア)から(ク)までの項目ごとに、あなたの

	総合		性別			年代別							職業別									
	実数	%	男性	女性	無回答	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答	自営・農林・水産業	自営・商工・サービス業	自由業	管理職	専門技術職	事務職	労務職	パート・アルバイト・内職など	専業主婦・主夫	
サンプル	1,142	100.0	503	630	9	105	141	191	273	255	166	11	85	103	11	42	116	154	84	133	116	
(ア) 家庭生活	男性の方が非常に優遇されている	109	9.5	5.0	13.0	22.2	7.6	12.1	12.0	12.1	7.8	4.2	9.1	3.5	9.7	27.3	7.1	12.9	13.6	7.1	13.5	12.1
	どちらかといえば男性の方が優遇されている	497	43.5	37.2	48.7	33.3	43.8	36.2	41.4	48.4	49.0	35.5	45.5	45.9	35.9	27.3	35.7	49.1	47.4	34.5	45.9	52.6
	平等	373	32.7	41.9	25.4	22.2	28.6	34.0	33.5	30.8	31.8	38.0	27.3	40.0	39.8	36.4	50.0	27.6	30.5	36.9	29.3	27.6
	どちらかといえば女性の方が優遇されている	64	5.6	7.8	4.0	0.0	6.7	11.3	6.3	4.8	2.4	5.4	9.1	3.5	9.7	0.0	7.1	3.4	3.2	11.9	4.5	5.2
	女性の方が非常に優遇されている	6	0.5	0.6	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	2.4	0.0	0.0
	わからない	69	6.0	5.2	6.7	11.1	12.4	5.7	6.3	3.3	5.1	7.8	9.1	4.7	4.9	9.1	0.0	5.2	4.5	6.0	6.0	1.7
無回答	24	2.1	2.4	1.7	11.1	1.0	0.7	0.5	0.7	2.4	7.8	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.9	0.6	1.2	0.8	0.9	
(イ) 職場生活	男性の方が非常に優遇されている	102	8.9	4.8	12.2	11.1	11.4	8.5	11.0	10.6	7.5	5.4	0.0	5.9	10.7	9.1	2.4	6.9	12.3	8.3	14.3	11.2
	どちらかといえば男性の方が優遇されている	427	37.4	37.4	37.6	22.2	32.4	44.7	35.6	36.6	38.0	36.1	45.5	34.1	35.0	18.2	50.0	29.3	44.8	38.1	33.8	42.2
	平等	331	29.0	34.8	24.3	33.3	26.7	31.2	38.7	34.4	25.1	13.9	36.4	25.9	35.0	54.5	35.7	49.1	33.1	40.5	29.3	10.3
	どちらかといえば女性の方が優遇されている	65	5.7	6.0	5.6	0.0	13.3	5.0	5.2	6.2	5.5	1.8	0.0	7.1	4.9	0.0	7.1	9.5	5.8	9.5	8.3	6.0
	女性の方が非常に優遇されている	13	1.1	1.8	0.6	0.0	1.0	3.5	0.5	1.1	1.2	0.0	0.0	1.2	1.0	0.0	4.8	1.7	1.9	0.0	0.8	0.0
	わからない	135	11.8	9.5	13.5	22.2	14.3	6.4	8.4	9.5	13.7	19.9	9.1	15.3	9.7	18.2	0.0	3.4	1.9	2.4	12.8	20.7
無回答	69	6.0	5.8	6.2	11.1	1.0	0.7	0.5	1.5	9.0	22.9	9.1	10.6	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.8	9.5	
(ウ) 学校教育	男性の方が非常に優遇されている	5	0.4	0.2	0.6	0.0	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	
	どちらかといえば男性の方が優遇されている	75	6.6	5.6	7.1	22.2	4.8	4.3	7.3	7.3	8.2	5.4	0.0	3.5	9.7	9.1	4.8	7.8	7.8	7.1	6.8	5.2
	平等	752	65.8	68.2	64.4	33.3	69.5	73.0	74.9	73.3	56.5	48.2	81.8	67.1	67.0	54.5	85.7	75.0	73.4	60.7	67.7	70.7
	どちらかといえば女性の方が優遇されている	34	3.0	4.8	1.6	0.0	7.6	2.1	4.2	2.2	2.7	1.2	0.0	3.5	2.9	18.2	0.0	1.7	2.6	3.6	5.3	1.7
	女性の方が非常に優遇されている	4	0.4	0.4	0.3	0.0	1.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.9
	わからない	202	17.7	15.3	19.4	33.3	17.1	19.9	12.6	13.9	22.7	21.1	9.1	14.1	15.5	18.2	9.5	10.3	15.6	23.8	18.8	14.7
無回答	70	6.1	5.6	6.5	11.1	0.0	0.0	1.0	2.2	9.4	22.3	9.1	11.8	4.9	0.0	0.0	1.7	0.6	4.8	1.5	6.9	
(エ) 政治の場	男性の方が非常に優遇されている	208	18.2	12.5	22.9	11.1	23.8	21.3	20.9	21.2	15.3	9.6	0.0	11.8	15.5	18.2	11.9	24.1	22.1	17.9	29.3	18.1
	どちらかといえば男性の方が優遇されている	472	41.3	42.3	40.5	44.4	45.7	46.1	45.0	41.4	40.8	30.1	54.5	31.8	41.7	27.3	50.0	55.2	48.7	34.5	39.8	44.0
	平等	248	21.7	29.6	15.4	22.2	16.2	18.4	23.0	22.7	20.4	26.5	27.3	28.2	23.3	36.4	31.0	13.8	22.1	34.5	9.8	14.7
	どちらかといえば女性の方が優遇されている	15	1.3	2.2	0.6	0.0	2.9	0.7	1.6	1.8	0.8	0.6	0.0	4.7	1.0	18.2	2.4	0.0	0.6	1.2	0.0	2.6
	女性の方が非常に優遇されている	2	0.2	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	141	12.3	8.5	15.4	11.1	11.4	13.5	8.4	10.3	16.5	13.3	18.2	14.1	14.6	0.0	4.8	6.9	6.5	8.3	19.5	14.7
無回答	56	4.9	4.4	5.2	11.1	0.0	0.0	1.0	2.6	5.5	19.9	0.0	8.2	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	1.5	6.0	
(オ) 地域活動の場	男性の方が非常に優遇されている	48	4.2	2.0	5.9	11.1	3.8	3.5	6.8	4.8	2.7	3.0	9.1	3.5	2.9	0.0	2.4	6.9	5.8	4.8	4.5	2.6
	どちらかといえば男性の方が優遇されている	321	28.1	23.1	32.1	33.3	24.8	19.9	25.1	34.4	29.4	27.7	36.4	32.9	25.2	18.2	35.7	32.8	23.4	15.5	33.1	35.3
	平等	476	41.7	50.5	34.8	33.3	40.0	45.4	50.8	39.9	42.0	32.5	27.3	35.3	48.5	54.5	50.0	41.4	50.0	53.6	33.1	43.1
	どちらかといえば女性の方が優遇されている	91	8.0	11.3	5.4	0.0	6.7	9.9	4.2	8.1	8.2	10.2	18.2	7.1	10.7	18.2	9.5	5.2	7.8	11.9	6.8	4.3
	女性の方が非常に優遇されている	5	0.4	0.6	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.8	0.0
	わからない	158	13.8	8.7	17.9	11.1	24.8	21.3	12.6	11.4	10.6	11.4	9.1	14.1	8.7	9.1	2.4	12.9	13.0	13.1	20.3	12.1
無回答	43	3.8	3.8	3.7	11.1	0.0	0.0	0.5	1.1	5.5	15.1	0.0	7.1	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	1.5	2.6	
(カ) 法律や制度の上	男性の方が非常に優遇されている	75	6.6	3.4	9.2	0.0	6.7	7.1	10.5	4.8	7.5	3.0	9.1	8.2	6.8	9.1	7.1	11.2	5.8	2.4	8.3	8.6
	どちらかといえば男性の方が優遇されている	298	26.1	20.7	30.3	33.3	26.7	22.0	29.8	32.6	24.3	18.7	0.0	21.2	23.3	36.4	19.0	38.8	26.6	27.4	33.1	27.6
	平等	396	34.7	45.3	26.2	33.3	24.8	36.2	32.5	38.8	33.3	36.1	54.5	36.5	35.0	45.5	57.1	31.9	42.9	40.5	18.8	27.6
	どちらかといえば女性の方が優遇されている	99	8.7	11.3	6.7	0.0	11.4	16.3	10.5	7.3	5.5	4.8	18.2	4.7	13.6	9.1	9.5	6.9	12.3	16.7	9.0	5.2
	女性の方が非常に優遇されている	14	1.2	2.2	0.5	0.0	3.8	1.4	0.5	1.1	1.2	0.6	0.0	0.0	2.9	0.0	4.8	0.9	0.6	2.4	1.5	0.0
	わからない	207	18.1	12.1	22.9	22.2	25.7	15.6	14.7	13.9	22.7	19.3	18.2	20.0	15.5	0.0	2.4	8.6	10.4	8.3	27.8	28.4
無回答	53	4.6	5.0	4.3	11.1	1.0	1.4	1.6	1.5	5.5	17.5	0.0	9.4	2.9	0.0	0.0	1.7	1.3	2.4	1.5	2.6	
(キ) 習社会通念・慣	男性の方が非常に優遇されている	208	18.2	11.7	23.5	11.1	28.6	22.7	23.6	18.3	13.7	7.8	27.3	16.5	20.4	27.3	11.9	29.3	22.7	10.7	24.8	18.1
	どちらかといえば男性の方が優遇されている	600	52.5	56.3	49.4	66.7	41.0	53.2	57.6	60.4	51.0	43.4	45.5	47.1	47.6	45.5	64.3	52.6	57.1	54.8	54.9	57.8
	平等	148	13.0	16.5	10.3	0.0	10.5	12.1	9.4	11.4	15.7	17.5	18.2	16.5	17.5	18.2	11.9	9.5	12.3	20.2	6.0	12.9
	どちらかといえば女性の方が優遇されている	31	2.7	4.4	1.4	0.0	4.8	2.1	2.6	3.3	2.0	2.4	0.0	1.2	1.0	0.0	11.9	3.4	2.6	3.6	1.5	0.9
	女性の方が非常に優遇されている	2	0.2	0.2	0.2	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	わからない	109	9.5	6.6	11.9	11.1	14.3	9.2	5.8	5.5	12.5	13.3	9.1	8.2	9.7	9.1	0.0	4.3	5.2	9.5	12.0	9.5
無回答	44	3.9	4.4	3.3	11.1	1.0	0.0	1.0	1.1	5.1	15.1	0.0	10.6	3.9	0.0	0.0	0.9	0.0	1.2	0.8	0.9	
(ク) 社会全体	男性の方が非常に優遇されている	92	8.1	4.0	11.1	22.2	7.6	9.9	10.5	9.2	7.8	1.2	27.3	2.4	10.7	0.0	7.1	13.8	8.4	6.0	13.5	9.5
	どちらかといえば男性の方が優遇されている	649	56.8	57.1	56.7	55.6	56.2	53.9	61.8	65.6	54.9	42.8	54.5	54.1	51.5	72.7	54.8	65.5	65.6	56.0	57.9	59.5
	平等	196	17.2	22.7	13.0	0.0	17.1	18.4	15.2	14.3	16.1	24.7	18.2	20.0	21.4	27.3	33.3	12.9	14.9	22.6	11.3	13.8
	どちらかといえば女性の方が優遇されている	47	4.1	6.2	2.5	0.0	3.8	5.7	4.2	5.1	3.5	2.4	0.0	1.2	4.9	0.0	4.8	4.3	3.9	6.0	6.8	3.4
	女性の方が非常に優遇されている	3	0.3	0.4	0.2	0.0	1.0	0.0	0.0	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0
	わからない	112	9.8	6.4	12.5	11.1	14.3	12.1	7.9	4.0	12.9</											

問2 結婚、家庭、離婚について、あなたのご意見をうかがいます。(ア)から(オ)までの項目ごとに、あなたの

	総合		性別			年代別								職業別								
	実数	%	男性	女性	無回答	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答	自営・農林・水産業	自営・商業・サービス業	自由業	管理職	専門・技術職	事務職	労務職	パート・アルバイト・内職など	専業主夫・主婦	
サンプル	1,142	100.0	503	630	9	105	141	191	273	255	166	11	85	103	11	42	116	154	84	133	116	
(ア)結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい	賛成	442	38.7	33.6	43.0	22.2	55.2	56.0	53.4	36.3	27.8	17.5	36.4	21.2	30.1	45.5	38.1	56.9	47.4	47.6	45.1	36.2
	どちらかといえば賛成	290	25.4	24.1	26.3	33.3	30.5	21.3	23.0	27.8	25.1	25.3	18.2	22.4	23.3	18.2	31.0	22.4	28.6	19.0	28.6	25.9
	どちらかといえば反対	238	20.8	24.7	17.8	22.2	6.7	12.1	15.7	23.1	30.6	24.7	18.2	35.3	31.1	0.0	16.7	14.7	16.9	19.0	16.5	23.3
	反対	78	6.8	8.7	5.4	0.0	3.8	3.5	2.6	5.5	8.2	15.7	18.2	11.8	7.8	27.3	4.8	1.7	1.9	7.1	5.3	6.9
	わからない	66	5.8	6.8	5.1	0.0	3.8	6.4	4.7	5.9	6.7	6.6	0.0	5.9	5.8	0.0	9.5	4.3	5.2	4.8	4.5	5.2
	無回答	28	2.5	2.2	2.4	22.2	0.0	0.7	0.5	1.5	1.6	10.2	9.1	3.5	1.9	9.1	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	2.6
(イ)女性は結婚したら、自分自身のことより夫や子どもなど家族を中心に考えて生活した方がよい	賛成	96	8.4	7.8	8.6	33.3	7.6	6.4	4.7	5.9	7.8	18.7	27.3	10.6	6.8	9.1	2.4	6.9	3.9	7.1	8.3	5.2
	どちらかといえば賛成	408	35.7	35.2	36.3	22.2	26.7	34.8	32.5	35.9	40.0	39.2	36.4	31.8	48.5	27.3	26.2	28.4	31.8	42.9	41.4	35.3
	どちらかといえば反対	322	28.2	26.0	30.0	22.2	33.3	33.3	30.4	32.6	24.3	17.5	18.2	30.6	19.4	9.1	31.0	31.9	37.7	26.2	28.6	33.6
	反対	193	16.9	17.3	16.7	11.1	22.9	19.9	22.0	16.5	16.5	6.6	9.1	15.3	14.6	36.4	28.6	26.7	15.6	15.5	17.3	17.2
	わからない	87	7.6	9.5	6.2	0.0	9.5	5.7	8.9	7.3	7.8	6.6	9.1	5.9	7.8	9.1	11.9	6.0	11.0	6.0	4.5	6.9
	無回答	36	3.2	4.2	2.2	11.1	0.0	0.0	1.6	1.8	3.5	11.4	0.0	5.9	2.9	9.1	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	1.7
(ウ)結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない	賛成	262	22.9	18.1	26.7	33.3	35.2	39.7	29.3	16.8	16.5	12.0	45.5	11.8	16.5	27.3	21.4	31.9	27.3	27.4	32.3	21.6
	どちらかといえば賛成	208	18.2	15.1	20.6	22.2	24.8	22.7	18.3	19.0	18.0	10.2	0.0	10.6	21.4	18.2	21.4	16.4	24.7	21.4	16.5	20.7
	どちらかといえば反対	336	29.4	33.8	26.2	11.1	17.1	22.0	27.7	38.5	29.4	30.1	36.4	34.1	35.0	9.1	45.2	34.5	29.2	25.0	24.8	26.7
	反対	169	14.8	18.7	11.7	11.1	7.6	5.0	7.9	15.4	19.2	27.7	18.2	24.7	16.5	27.3	7.1	8.6	8.4	10.7	12.0	15.5
	わからない	131	11.5	10.7	12.2	0.0	15.2	10.6	15.2	8.4	13.7	7.8	0.0	12.9	7.8	9.1	4.8	7.8	10.4	13.1	14.3	13.8
	無回答	36	3.2	3.6	2.5	22.2	0.0	0.0	1.6	1.8	3.1	12.0	0.0	5.9	2.9	9.1	0.0	0.9	0.0	2.4	0.0	1.7
(エ)結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい	賛成	228	20.0	17.1	21.9	44.4	21.9	24.1	24.6	19.4	18.4	12.7	27.3	12.9	13.6	18.2	26.2	25.0	24.7	23.8	22.6	18.1
	どちらかといえば賛成	306	26.8	25.4	27.9	22.2	24.8	27.7	31.4	27.1	26.3	22.9	18.2	24.7	23.3	18.2	33.3	29.3	32.5	25.0	29.3	25.9
	どちらかといえば反対	277	24.3	26.6	22.4	22.2	24.8	24.1	17.8	27.5	25.9	24.1	18.2	32.9	28.2	27.3	26.2	19.8	22.1	23.8	23.3	30.2
	反対	113	9.9	13.9	6.8	0.0	6.7	8.5	6.3	12.5	9.8	13.9	0.0	14.1	15.5	27.3	7.1	8.6	5.2	10.7	8.3	2.6
	わからない	180	15.8	13.1	18.1	0.0	21.9	15.6	18.3	11.7	16.5	13.3	36.4	10.6	16.5	0.0	7.1	17.2	15.6	14.3	16.5	19.8
	無回答	38	3.3	3.8	2.9	11.1	0.0	0.0	1.6	1.8	3.1	13.3	0.0	4.7	2.9	9.1	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	3.4
(オ)一般に、今の社会では離婚すると女性の方が不利である	賛成	250	21.9	12.1	29.5	33.3	28.6	27.0	24.6	19.8	21.2	14.5	27.3	12.9	12.6	18.2	14.3	33.6	22.1	19.0	25.6	33.6
	どちらかといえば賛成	296	25.9	27.8	24.4	22.2	25.7	22.7	27.2	30.4	25.5	21.1	18.2	25.9	25.2	9.1	28.6	27.6	33.1	21.4	30.1	21.6
	どちらかといえば反対	117	10.2	13.1	7.9	11.1	5.7	11.3	11.0	12.5	9.4	9.6	0.0	10.6	14.6	9.1	19.0	7.8	14.3	9.5	5.3	7.8
	反対	76	6.7	7.8	5.7	11.1	4.8	10.6	7.9	7.3	5.1	4.8	0.0	3.5	6.8	27.3	9.5	6.9	5.8	11.9	6.0	6.0
	わからない	361	31.6	34.8	29.4	11.1	35.2	27.7	27.7	28.2	34.5	37.3	45.5	42.4	38.8	27.3	28.6	23.3	24.7	35.7	31.6	27.6
	無回答	42	3.7	4.4	3.0	11.1	0.0	0.7	1.6	1.8	4.3	12.7	9.1	4.7	1.9	9.1	0.0	0.9	0.0	2.4	1.5	3.4

問3 家庭における男女の役割分担について、あなたの理想に最も近いのはどれですか。（1つだけ○印）

	総合		性別			年代別							職業別									
	実数	%	男性	女性	無回答	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答	自営・農林・水産業	自営・サービス業	自営・商工	自由業	管理職	専門技術職	事務職	労務職	パート・アルバイト・内職など	専業主婦・主夫
サンプル	1,142	100.0	503	630	9	105	141	191	273	255	166	11	85	103	11	42	116	154	84	133	116	
夫が家計を支え、妻が家事・育児に専念する	175	15.3	18.5	12.7	22.2	13.3	11.3	16.8	11.7	19.2	18.7	9.1	16.5	17.5	63.6	21.4	9.5	7.8	15.5	11.3	21.6	
妻が家計を支え、夫が家事・育児に専念する	1	0.1	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	
夫と妻が共同で家計を支え、主に妻が家事・育児を分担する	109	9.5	13.9	6.0	11.1	4.8	2.8	7.9	13.2	11.4	12.0	0.0	17.6	13.6	0.0	9.5	9.5	9.1	11.9	3.0	3.4	
夫と妻が共同で家計を支え、主に夫が家事・育児を分担する	3	0.3	0.0	0.5	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	
夫と妻が共同で家計を支え、共同で家事・育児を分担する	506	44.3	39.4	48.6	22.2	48.6	55.3	45.0	44.0	40.8	37.3	45.5	30.6	38.8	27.3	38.1	55.2	48.7	41.7	52.6	44.8	
夫と妻の役割を固定せず、家事・育児も分担制にせず自由に行う	313	27.4	24.9	29.5	22.2	29.5	29.8	26.2	28.2	26.3	25.3	36.4	31.8	27.2	0.0	31.0	25.0	31.8	27.4	30.1	28.4	
その他	15	1.3	1.2	1.4	0.0	2.9	0.7	2.1	1.5	0.4	1.2	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	1.5	0.9	
無回答	20	1.8	2.2	1.1	22.2	0.0	0.0	2.1	1.5	1.6	4.2	9.1	3.5	1.0	9.1	0.0	0.9	0.6	3.6	0.8	0.0	

問4 （結婚されている方だけお答えください）現在、あなたの家庭では夫婦の役割分担をどのようにしていますか

	総合		性別			年代別							職業別									
	実数	%	男性	女性	無回答	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答	自営・農林・水産業	自営・サービス業	自営・商工	自由業	管理職	専門技術職	事務職	労務職	パート・アルバイト・内職など	専業主婦・主夫
サンプル	816	100.0	373	438	5	19	98	140	215	212	125	7	76	81	9	38	77	93	50	102	111	
夫が家計を支え、妻が家事・育児に専念する	175	21.4	20.1	22.6	20.0	36.8	29.6	23.6	14.0	23.1	21.6	0.0	15.8	18.5	22.2	18.4	7.8	11.8	20.0	14.7	63.1	
妻が家計を支え、夫が家事・育児に専念する	6	0.7	0.5	0.9	0.0	0.0	0.0	1.4	0.5	0.9	0.8	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	1.3	2.2	0.0	0.0	0.0	
夫と妻が共同で家計を支え、主に妻が家事・育児を分担する	286	35.0	31.6	37.9	40.0	42.1	30.6	45.0	43.3	29.2	22.4	28.6	43.4	46.9	55.6	31.6	42.9	50.5	32.0	50.0	5.4	
夫と妻が共同で家計を支え、主に夫が家事・育児を分担する	9	1.1	1.1	1.1	0.0	0.0	0.0	1.4	0.9	0.5	3.2	0.0	0.0	1.2	0.0	2.6	1.3	3.2	0.0	0.0	0.9	
夫と妻が共同で家計を支え、共同で家事・育児を分担する	148	18.1	20.1	16.7	0.0	15.8	23.5	18.6	19.5	14.2	17.6	28.6	13.2	12.3	11.1	28.9	28.6	15.1	24.0	16.7	11.7	
夫と妻の役割を固定せず、家事・育児も分担制にせず自由に行う	140	17.2	20.9	13.9	20.0	5.3	15.3	8.6	15.8	24.1	20.0	28.6	22.4	16.0	0.0	15.8	13.0	14.0	22.0	13.7	9.0	
その他	29	3.6	2.4	4.6	0.0	0.0	1.0	0.7	4.7	3.8	7.2	0.0	0.0	2.5	0.0	2.6	5.2	2.2	2.0	3.9	6.3	
無回答	23	2.8	3.2	2.3	20.0	0.0	0.0	0.7	1.4	4.2	7.2	14.3	5.3	2.5	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	1.0	3.6	

				配偶者の有無			夫婦共働きか			居住地域別								世帯構成別					同居家族別							
学生	無職	その他	無回答	いる	いない	無回答	はい	いいえ	無回答	高知市	安芸広域圏	南国・香美広域圏	嶺北広域圏	仁淀川広域圏	高吾北広域圏	高幡広域圏	幡多広域圏	無回答	単身世帯	夫婦のみ	二世帯世帯	三世帯世帯	その他	無回答	乳幼児	高齢者	両方いる	どちらもない	どちらもある	無回答
24	243	17	14	816	325	1	427	379	10	496	78	153	26	95	44	102	137	11	107	320	532	149	28	6	107	393	23	607	12	
12.5	18.5	11.8	7.1	16.2	13.2	0.0	12.6	19.8	30.0	18.1	9.0	12.4	7.7	16.8	22.7	7.8	15.3	18.2	13.1	17.5	15.4	13.4	10.7	0.0	16.8	16.5	21.7	14.2	8.3	
0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
4.2	11.1	17.6	14.3	10.2	8.0	0.0	10.8	9.5	10.0	8.1	6.4	9.2	15.4	9.5	9.1	11.8	13.9	18.2	9.3	10.3	8.3	10.7	21.4	0.0	1.9	10.7	21.7	9.6	16.7	
0.0	0.8	0.0	0.0	0.1	0.6	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.7	0.0	0.9	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0
62.5	39.9	47.1	35.7	44.6	43.7	0.0	48.9	40.4	20.0	45.0	46.2	45.1	46.2	43.2	40.9	47.1	39.4	45.5	32.7	44.1	47.2	47.0	32.1	0.0	53.3	41.5	26.1	45.6	25.0	
20.8	24.7	5.9	35.7	26.7	29.2	0.0	26.0	27.7	20.0	26.4	32.1	28.1	30.8	28.4	25.0	30.4	26.3	9.1	37.4	24.7	26.3	27.5	32.1	66.7	26.2	27.7	26.1	27.2	41.7	
0.0	2.5	5.9	0.0	1.0	1.8	100.0	0.7	1.3	0.0	1.6	1.3	1.3	0.0	0.0	2.3	0.0	1.5	9.1	2.8	0.6	1.5	0.7	0.0	16.7	1.9	0.5	4.3	1.6	0.0	
0.0	2.5	11.8	7.1	1.1	3.4	0.0	0.9	0.8	20.0	0.6	3.8	3.9	0.0	2.1	0.0	2.0	2.9	0.0	3.7	2.2	1.1	0.7	3.6	16.7	0.0	2.3	0.0	1.6	8.3	

すか。(1つだけ○印)

				配偶者の有無			夫婦共働きか			居住地域別								世帯構成別					同居家族別							
学生	無職	その他	無回答	いる	いない	無回答	はい	いいえ	無回答	高知市	安芸広域圏	南国・香美広域圏	嶺北広域圏	仁淀川広域圏	高吾北広域圏	高幡広域圏	幡多広域圏	無回答	単身世帯	夫婦のみ	二世帯世帯	三世帯世帯	その他	無回答	乳幼児	高齢者	両方いる	どちらもない	どちらもある	無回答
0	161	10	8	816	0	0	427	379	10	350	57	103	24	73	28	72	105	4	2	320	375	106	11	2	99	264	18	427	8	
0.0	14.3	40.0	0.0	21.4	0.0	0.0	7.3	36.9	40.0	26.0	8.8	25.2	8.3	17.8	17.9	16.7	19.0	25.0	0.0	18.4	25.3	18.9	9.1	0.0	31.3	20.1	33.3	19.7	12.5	
0.0	1.2	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.2	1.3	0.0	1.1	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.9	0.5	0.9	0.0	0.0	1.0	0.4	0.0	0.9	0.0	
0.0	24.2	40.0	25.0	35.0	0.0	0.0	52.0	16.1	30.0	34.3	45.6	31.1	37.5	42.5	21.4	34.7	34.3	25.0	0.0	30.9	34.1	50.0	54.5	0.0	32.3	35.6	44.4	34.7	50.0	
0.0	1.2	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.7	1.3	10.0	1.4	0.0	1.0	4.2	1.4	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	1.3	0.9	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	0.9	0.0	0.0
0.0	20.5	20.0	37.5	18.1	0.0	0.0	21.5	14.5	10.0	18.6	17.5	17.5	16.7	15.1	21.4	20.8	16.2	50.0	0.0	19.7	17.1	17.9	18.2	0.0	15.2	17.0	11.1	19.9	12.5	
0.0	26.7	0.0	37.5	17.2	0.0	0.0	15.0	20.1	0.0	13.1	17.5	21.4	29.2	17.8	21.4	19.4	21.0	0.0	0.0	20.0	17.3	7.5	9.1	100.0	16.2	17.0	11.1	17.6	25.0	
0.0	5.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	1.4	6.1	0.0	3.7	3.5	1.9	4.2	2.7	10.7	2.8	3.8	0.0	100.0	5.3	2.4	0.9	0.0	0.0	2.0	3.8	0.0	4.0	0.0	
0.0	6.8	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	1.9	3.7	10.0	1.7	5.3	1.9	0.0	2.7	3.6	4.2	5.7	0.0	0.0	3.8	1.9	2.8	9.1	0.0	2.0	4.2	0.0	2.3	0.0	

問5 女性の働き方についておたずねします。あなたが、女性の望ましい働き方と思うものはどれですか。
(1つだけ○印)

	総合		性別			年代別							職業別									
	実数	%	男性	女性	無回答	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答	自営・農林・水産業	自営・商工・サービス業	自由業	管理職	専門技術職	事務職	労務職	パート・アルバイト・内職など	専業主婦・主夫	
サンプル	1,142	100.0	503	630	9	105	141	191	273	255	166	11	85	103	11	42	116	154	84	133	116	
結婚や出産に関わらず、仕事を続ける	287	25.1	23.5	26.7	11.1	21.9	35.5	31.9	24.2	18.8	21.1	36.4	20.0	16.5	36.4	40.5	35.3	39.6	21.4	27.1	18.1	
子育ての時期だけ一時やめて、その後はフルタイムで仕事を続ける	277	24.3	21.9	26.0	33.3	28.6	21.3	20.4	33.3	21.6	18.1	18.2	31.8	26.2	18.2	28.6	25.9	26.6	19.0	26.3	24.1	
子育ての時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事を続ける	269	23.6	22.1	24.8	22.2	27.6	27.0	24.1	18.3	27.5	19.9	27.3	14.1	21.4	18.2	14.3	17.2	18.8	33.3	31.6	31.9	
学校卒業後は仕事をせず、結婚後または子育て終了後から仕事をする	9	0.8	0.8	0.8	0.0	0.0	1.4	0.0	1.1	0.8	1.2	0.0	0.0	3.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5	1.7	
出産するまでは仕事を持つが、子どもがきたら家事や育児に専念する	163	14.3	16.7	12.5	0.0	16.2	6.4	12.0	11.4	19.6	19.3	9.1	24.7	21.4	9.1	9.5	9.5	7.1	8.3	11.3	16.4	
結婚するまでは仕事をして、結婚後は家事に専念する	47	4.1	6.0	2.7	0.0	1.9	2.1	3.7	2.6	5.5	8.4	0.0	2.4	1.9	9.1	2.4	1.7	3.9	6.0	1.5	3.4	
仕事をしない	5	0.4	0.6	0.3	0.0	0.0	0.0	1.0	0.7	0.4	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.9	
その他	35	3.1	3.0	3.2	0.0	3.8	5.0	4.2	3.7	1.2	1.8	0.0	2.4	2.9	0.0	0.0	7.8	1.9	6.0	0.8	1.7	
無回答	50	4.4	5.6	3.0	33.3	0.0	1.4	2.6	4.8	4.7	10.2	9.1	4.7	4.9	9.1	4.8	2.6	1.3	6.0	0.0	1.7	

問6 男女がともに働きやすい環境をつくるために、あなたは何が必要だと思いますか。(2つまで○印)

	総合		性別			年代別							職業別									
	実数	%	男性	女性	無回答	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答	自営・農林・水産業	自営・商工・サービス業	自由業	管理職	専門技術職	事務職	労務職	パート・アルバイト・内職など	専業主婦・主夫	
サンプル	1,142	100.0	503	630	9	105	141	191	273	255	166	11	85	103	11	42	116	154	84	133	116	
男女とも労働時間の短縮や休日の増加を促進する	284	24.9	28.4	22.4	0.0	29.5	32.6	29.3	26.7	19.2	16.3	18.2	8.2	16.5	36.4	26.2	31.9	42.9	31.0	18.8	21.6	
男女を対象とする仕事と子育て・介護の両立を支援する体制を整備する	690	60.4	57.1	63.3	44.4	64.8	68.8	71.7	59.3	53.7	48.8	72.7	40.0	68.9	54.5	64.3	64.7	70.1	57.1	62.4	67.2	
パートタイムの就労条件・賃金を改善する	245	21.5	19.7	23.0	11.1	22.9	29.8	25.7	22.0	18.4	12.7	18.2	8.2	14.6	9.1	11.9	25.9	22.7	21.4	44.4	16.4	
職業生活を続けていく上での相談窓口を充実する	76	6.7	7.0	6.3	11.1	6.7	0.7	6.8	6.6	8.6	9.0	0.0	4.7	6.8	27.3	7.1	3.4	5.2	6.0	6.8	5.2	
農業や自営業の分野で、家族の間で収益の分配や休日などについてのルールづくりを進める	85	7.4	7.6	7.5	0.0	1.9	3.5	4.7	8.4	11.0	10.2	9.1	40.0	9.7	9.1	4.8	3.4	3.2	2.4	3.0	8.6	
女性の能力や実績が正当に評価されるような体制を整備する	205	18.0	16.7	18.9	22.2	21.0	14.9	18.8	20.5	15.3	18.1	9.1	16.5	20.4	18.2	21.4	25.9	17.5	20.2	18.0	18.1	
職場での待遇や役割分担を男女平等にする	210	18.4	19.9	17.3	11.1	20.0	21.3	15.2	14.7	24.3	16.3	9.1	12.9	17.5	9.1	16.7	18.1	14.3	22.6	20.3	17.2	
経営方針や仕事の企画に、必ず女性の意見を取り入れる	96	8.4	7.8	8.9	11.1	6.7	5.0	2.6	9.9	9.0	16.3	0.0	12.9	8.7	9.1	4.8	4.3	5.2	7.1	4.5	7.8	
その他	29	2.5	2.8	2.4	0.0	2.9	3.5	6.3	2.6	0.8	0.0	0.0	1.2	1.0	0.0	7.1	0.9	5.8	3.6	1.5	1.7	
無回答	32	2.8	2.8	2.5	22.2	0.0	0.7	1.0	1.5	3.9	8.4	9.1	4.7	2.9	0.0	0.0	0.9	0.0	2.4	0.0	3.4	

				配偶者の有無			夫婦共働きか			居住地域別							世帯構成別					同居家族別								
学生	無職	その他	無回答	いる	いない	無回答	はい	いいえ	無回答	高知市	安芸広域圏	南国・香美広域圏	嶺北広域圏	仁淀川広域圏	高吾北広域圏	高幡広域圏	幡多広域圏	無回答	単身世帯	夫婦のみ	二世帯世帯	三世帯世帯	その他	無回答	乳幼児	高齢者	両方いる	いない	どちらも	無回答
20.8	18.5	5.9	28.6	24.6	26.5	0.0	29.5	19.8	0.0	25.2	25.6	29.4	23.1	26.3	20.5	18.6	25.5	27.3	24.3	24.4	26.9	26.2	3.6	0.0	27.1	24.2	8.7	26.4	8.3	
37.5	18.1	17.6	21.4	25.2	21.8	0.0	30.7	19.0	30.0	25.0	19.2	22.9	30.8	25.3	20.5	30.4	21.9	9.1	20.6	22.5	23.3	32.2	35.7	16.7	20.6	24.2	26.1	24.7	33.3	
25.0	23.0	41.2	14.3	24.0	22.5	0.0	21.1	27.4	20.0	23.6	29.5	24.8	23.1	22.1	27.3	20.6	20.4	27.3	22.4	20.3	27.3	18.8	21.4	16.7	27.1	19.6	30.4	25.2	25.0	
0.0	0.4	0.0	0.0	1.0	0.3	0.0	0.7	1.3	0.0	0.8	1.3	0.7	0.0	1.1	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.8	0.7	0.0	0.0	1.9	1.3	0.0	0.3	0.0	
12.5	18.1	17.6	14.3	14.1	14.8	0.0	11.2	17.2	20.0	14.7	10.3	11.1	11.5	12.6	20.5	15.7	17.5	9.1	14.0	16.9	12.6	14.8	17.9	0.0	10.3	16.3	34.8	12.7	25.0	
0.0	8.6	0.0	7.1	4.8	2.5	0.0	2.8	7.1	0.0	3.6	5.1	2.0	11.5	4.2	2.3	4.9	6.6	0.0	2.8	6.6	3.2	2.7	3.6	16.7	4.7	6.4	0.0	2.8	0.0	
0.0	0.4	5.9	0.0	0.4	0.6	0.0	0.2	0.5	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	1.1	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.4	0.0	7.1	0.0	0.0	0.3	0.0	0.7	0.0	
4.2	3.7	0.0	0.0	2.3	4.9	0.0	2.3	2.4	0.0	3.4	2.6	4.6	0.0	2.1	2.3	0.0	3.6	9.1	7.5	2.5	3.0	2.0	0.0	0.0	7.5	1.8	0.0	3.3	0.0	
0.0	9.1	11.8	14.3	3.6	6.2	100.0	1.4	5.3	30.0	3.0	6.4	4.6	0.0	5.3	4.5	7.8	4.4	18.2	8.4	5.3	2.6	2.7	10.7	50.0	0.9	6.1	0.0	4.0	8.3	

				配偶者の有無			夫婦共働きか			居住地域別							世帯構成別					同居家族別								
学生	無職	その他	無回答	いる	いない	無回答	はい	いいえ	無回答	高知市	安芸広域圏	南国・香美広域圏	嶺北広域圏	仁淀川広域圏	高吾北広域圏	高幡広域圏	幡多広域圏	無回答	単身世帯	夫婦のみ	二世帯世帯	三世帯世帯	その他	無回答	乳幼児	高齢者	両方いる	いない	どちらも	無回答
29.2	21.8	23.5	14.3	26.2	21.5	0.0	28.8	23.5	20.0	30.8	19.2	17.6	11.5	30.5	20.5	25.5	14.6	18.2	18.7	22.2	27.8	24.8	21.4	33.3	38.3	20.1	30.4	25.5	16.7	
70.8	52.3	58.8	42.9	59.7	62.5	0.0	64.2	55.7	20.0	62.3	55.1	58.8	69.2	55.8	56.8	60.8	62.0	45.5	61.7	55.9	62.0	67.1	50.0	16.7	69.2	59.3	60.9	59.8	50.0	
25.0	18.1	23.5	14.3	21.1	22.5	0.0	22.2	20.1	10.0	21.8	23.1	20.9	15.4	17.9	27.3	22.5	22.6	0.0	18.7	20.0	24.1	18.1	17.9	16.7	25.2	17.6	13.0	24.1	0.0	
4.2	9.9	5.9	7.1	5.9	8.6	0.0	4.4	7.4	10.0	6.9	10.3	3.9	7.7	8.4	2.3	6.9	6.6	9.1	9.3	5.9	6.6	6.7	7.1	0.0	0.9	7.6	0.0	7.2	8.3	
0.0	4.1	0.0	21.4	8.7	4.3	0.0	10.3	6.3	30.0	4.6	7.7	7.8	15.4	10.5	6.8	11.8	10.9	0.0	4.7	9.4	6.0	11.4	3.6	0.0	4.7	11.7	13.0	4.9	8.3	
16.7	14.0	11.8	0.0	17.3	19.7	0.0	17.6	16.9	20.0	18.8	17.9	19.0	15.4	22.1	13.6	18.6	12.4	18.2	16.8	18.1	19.2	14.1	21.4	0.0	14.0	17.0	21.7	19.1	16.7	
16.7	22.6	5.9	28.6	18.1	19.1	0.0	16.6	20.3	0.0	18.1	12.8	21.6	19.2	23.2	22.7	11.8	19.7	9.1	14.0	20.3	18.6	16.8	17.9	16.7	15.0	17.6	17.4	19.4	25.0	
8.3	14.0	11.8	7.1	8.5	8.3	0.0	6.6	10.6	10.0	7.5	10.3	10.5	7.7	3.2	9.1	8.8	11.7	9.1	14.0	11.6	5.1	8.7	14.3	0.0	6.5	10.2	17.4	7.2	8.3	
4.2	2.1	5.9	0.0	2.6	2.5	0.0	2.8	2.4	0.0	3.4	2.6	2.6	7.7	1.1	2.3	1.0	0.7	0.0	4.7	1.9	2.8	0.7	7.1	0.0	5.6	1.3	0.0	3.0	0.0	
0.0	5.8	11.8	14.3	2.9	2.2	100.0	1.6	4.2	10.0	1.4	6.4	5.2	0.0	0.0	2.3	1.0	5.1	27.3	1.9	4.1	1.5	2.7	7.1	50.0	1.9	4.1	0.0	2.0	16.7	

問7 あなたは、男女共同参画社会を実現するためには、どのようなことに力を入れていくべきだと思います

	総合		性別			年代別							職業別							
	実数	%	男性	女性	無回答	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答	自営・農林・水産業	自営・サービス業	自営・商工業	自由業	管理職	専門技術職	事務職	労務職
サンプル	1,142	100.0	503	630	9	105	141	191	273	255	166	11	85	103	11	42	116	154	84	133
法律や制度の面で見直しを行い、男女差別につながるものを改めること	291	25.5	29.8	22.2	11.1	19.0	29.8	28.3	22.0	27.5	25.3	27.3	24.7	27.2	18.2	21.4	25.0	20.8	35.7	24.8
女性をとりまくさまざまな偏見や固定的な社会通念、慣習、しきたりを改めること	306	26.8	26.8	26.8	22.2	28.6	33.3	32.5	26.0	24.7	18.1	27.3	22.4	24.3	27.3	26.2	31.0	32.5	31.0	25.6
女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図ること	248	21.7	19.9	23.3	11.1	14.3	15.6	16.2	28.6	23.1	24.7	18.2	25.9	25.2	0.0	33.3	17.2	21.4	21.4	18.0
女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること	241	21.1	15.9	24.9	44.4	18.1	22.0	23.0	24.9	20.0	16.3	9.1	15.3	17.5	18.2	16.7	29.3	19.5	16.7	33.8
女性の役職への登用や政策決定の場への参画を進めること	77	6.7	8.9	4.9	11.1	9.5	2.1	6.8	8.1	5.9	8.4	0.0	4.7	5.8	0.0	16.7	0.9	11.7	3.6	6.8
労働時間を短縮するなど、男女が家事や家庭責任を分担できる働き方を確保すること	357	31.3	30.8	31.6	33.3	38.1	39.7	33.5	29.3	27.8	25.9	27.3	24.7	23.3	36.4	28.6	39.7	42.9	29.8	27.1
男性自身が生活者としての家事能力を身につけること	193	16.9	15.9	17.9	0.0	16.2	20.6	19.9	16.8	12.9	16.3	27.3	23.5	17.5	18.2	14.3	22.4	13.0	11.9	21.1
家庭や学校で男女平等教育を行うこと	112	9.8	10.7	9.2	0.0	5.7	11.3	11.5	10.3	9.4	9.0	9.1	4.7	9.7	18.2	2.4	11.2	11.7	8.3	9.8
その他	23	2.0	3.0	1.3	0.0	4.8	1.4	3.7	1.5	1.6	0.6	0.0	3.5	1.9	9.1	7.1	2.6	3.2	2.4	0.0
わからない	93	8.1	8.7	7.6	11.1	11.4	5.0	1.6	6.2	11.4	13.9	18.2	10.6	11.7	9.1	2.4	5.2	4.5	9.5	5.3
無回答	22	1.9	1.4	2.2	11.1	0.0	0.7	0.5	0.4	3.1	6.0	9.1	2.4	2.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3

か。(2つまで○印)

専業主婦・ 主夫	学生	無職	その他	無回答	配偶者の有無			夫婦共働きか			居住地域別										世帯構成別					同居家族別				
					いる	いない	無回答	はい	いいえ	無回答	高知市	安芸広域圏	南 国・香 美 広域圏	嶺 北 広域圏	仁 淀 川 広域圏	高 吾 北 広域圏	高 幡 広域圏	幡 多 広域圏	無回答	単身世帯	夫婦のみ	二世 代世帯	三世 代世帯	その他	無回答	乳幼児	高齢者	両方 いる	い ない	ど ち ら も
116	24	243	17	14	816	325	1	427	379	10	496	78	153	26	95	44	102	137	11	107	320	532	149	28	6	107	393	23	607	12
21.6	29.2	28.4	17.6	21.4	24.8	27.1	100.0	23.2	26.6	20.0	28.2	21.8	28.8	26.9	20.0	18.2	28.4	19.0	9.1	27.1	27.5	25.0	23.5	17.9	16.7	21.5	24.7	34.8	26.7	8.3
27.6	20.8	23.5	41.2	7.1	26.3	28.0	0.0	29.5	23.5	0.0	27.4	23.1	25.5	34.6	25.3	20.5	26.5	29.9	27.3	24.3	23.8	29.9	26.8	14.3	16.7	27.1	24.9	26.1	27.8	33.3
26.7	12.5	21.8	11.8	14.3	22.4	20.0	0.0	20.4	24.5	30.0	22.0	21.8	16.3	19.2	24.2	25.0	23.5	24.1	9.1	25.2	25.6	18.2	23.5	25.0	0.0	13.1	23.4	26.1	22.2	8.3
22.4	16.7	15.6	41.2	21.4	22.8	16.9	0.0	25.8	19.8	10.0	20.6	25.6	22.2	19.2	21.1	18.2	18.6	23.4	9.1	17.8	22.2	21.6	20.8	17.9	0.0	24.3	19.1	26.1	21.6	25.0
6.0	16.7	7.0	0.0	7.1	6.6	7.1	0.0	6.3	6.9	10.0	8.5	3.8	4.6	11.5	8.4	2.3	4.9	5.8	0.0	6.5	5.0	7.5	8.7	3.6	0.0	4.7	7.1	8.7	6.9	0.0
26.7	41.7	30.5	29.4	21.4	31.7	30.2	0.0	32.3	30.9	40.0	33.9	33.3	30.7	23.1	25.3	36.4	31.4	25.5	27.3	25.2	30.0	35.2	24.2	35.7	16.7	42.1	27.5	26.1	32.1	25.0
16.4	12.5	14.8	11.8	21.4	17.9	14.5	0.0	19.0	17.2	0.0	15.7	17.9	19.0	7.7	26.3	22.7	14.7	13.9	9.1	8.4	17.2	17.7	17.4	32.1	0.0	18.7	17.8	13.0	16.3	8.3
9.5	0.0	12.3	5.9	14.3	10.2	8.9	0.0	9.6	10.8	10.0	8.7	9.0	11.1	11.5	9.5	18.2	12.7	8.8	0.0	9.3	9.7	10.0	9.4	10.7	16.7	14.0	9.7	4.3	9.4	8.3
0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	1.6	3.1	0.0	1.2	1.8	10.0	2.4	2.6	0.7	3.8	2.1	0.0	2.0	2.2	0.0	2.8	1.3	2.3	2.7	0.0	0.0	3.7	1.8	4.3	1.8	0.0
6.9	8.3	11.5	5.9	21.4	7.0	11.1	0.0	6.6	7.1	20.0	6.9	11.5	8.5	7.7	6.3	9.1	8.8	10.9	9.1	11.2	8.1	7.0	8.7	10.7	33.3	4.7	9.9	4.3	7.7	8.3
2.6	0.0	3.7	5.9	7.1	2.0	1.8	0.0	1.4	2.4	10.0	1.0	1.3	3.9	0.0	1.1	0.0	1.0	4.4	18.2	2.8	3.1	1.3	0.7	3.6	0.0	0.9	2.8	0.0	1.5	8.3

問9(1) あなたは、問8にあげたようなことを経験したり、見聞きしたことがありますか。(1つだけ○印)

	総合		性別			年代別							職業別								
	実数	%	男性	女性	無回答	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答	水産業	自営・農林・サービス業	自営・商工	自由業	管理職	専門技術職	事務職	労務職	パート・アルバイト・内職など
サンプル	1,142	100.0	503	630	9	105	141	191	273	255	166	11	85	103	11	42	116	154	84	133	116
直接、経験したことがある	321	28.1	27.0	29.2	11.1	16.2	25.5	24.6	31.5	32.9	29.5	18.2	24.7	35.0	36.4	23.8	31.9	22.1	32.1	23.3	29.3
身近に見聞きしたことがある	229	20.1	20.5	20.0	0.0	27.6	25.5	17.8	20.5	19.2	13.9	18.2	25.9	21.4	18.2	31.0	26.7	21.4	20.2	18.0	14.7
経験したこともないし、見聞きしたこともない	448	39.2	39.8	39.0	22.2	47.6	36.9	46.6	37.7	37.6	31.9	45.5	38.8	33.0	36.4	38.1	30.2	44.8	40.5	45.1	39.7
無回答	144	12.6	12.7	11.7	66.7	8.6	12.1	11.0	10.3	10.2	24.7	18.2	10.6	10.7	9.1	7.1	11.2	11.7	7.1	13.5	16.4

				配偶者の有無			夫婦共働きか			居住地域別								世帯構成別					同居家族別							
学生	無職	その他	無回答	いる	いない	無回答	はい	いいえ	無回答	高知市	安芸広域圏	南国・香美広域圏	嶺北広域圏	仁淀川広域圏	高吾北広域圏	高幡広域圏	幡多広域圏	無回答	単身世帯	夫婦のみ	二世帯世帯	三世帯世帯	その他	無回答	乳幼児	高齢者	両方いる	どちらもない	どちらも	無回答
4.2	33.3	29.4	0.0	29.3	24.9	100.0	26.7	32.2	30.0	27.0	25.6	28.8	34.6	25.3	29.5	35.3	27.0	36.4	25.2	31.6	27.1	27.5	25.0	16.7	30.8	27.7	21.7	27.8	41.7	
29.2	14.8	17.6	14.3	19.4	21.8	0.0	20.8	18.2	0.0	21.6	17.9	17.6	15.4	21.1	18.2	26.5	15.3	9.1	17.8	17.2	22.4	19.5	25.0	0.0	25.2	18.6	26.1	19.8	25.0	
62.5	35.4	41.2	64.3	38.1	42.2	0.0	39.3	36.9	30.0	40.1	35.9	41.2	30.8	48.4	45.5	26.5	40.1	18.2	42.1	37.2	39.5	42.3	35.7	16.7	35.5	37.7	47.8	41.0	16.7	
4.2	16.5	11.8	21.4	13.2	11.1	0.0	13.1	12.7	40.0	11.3	20.5	12.4	19.2	5.3	6.8	11.8	17.5	36.4	15.0	14.1	11.1	10.7	14.3	66.7	8.4	16.0	4.3	11.4	16.7	

問9(3) あなたは、問9(2)でしたこと、されたことについて誰(どこ)かに打ち明けたり、相談したりしました

	総合		性別			年代別							職業別									
	実数	%	男性	女性	無回答	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答	自営・農林・水産業	自営・商工・サービス業	自由業	管理職	専門・技術職	事務職	労務職	パート・アルバイト・内職など	専業主婦・主夫	
サンプル	321	100.0	136	184	1	17	36	47	86	84	49	2	21	36	4	10	37	34	27	31	34	
ご自分の家族・親せき	88	27.4	13.2	38.0	0.0	23.5	38.9	14.9	27.9	32.1	24.5	0.0	23.8	27.8	0.0	40.0	27.0	14.7	40.7	35.5	47.1	
ご自分の友人・知人	85	26.5	21.3	30.4	0.0	41.2	47.2	34.0	30.2	11.9	16.3	50.0	23.8	27.8	25.0	20.0	27.0	50.0	22.2	29.0	32.4	
警察	11	3.4	2.9	3.8	0.0	0.0	8.3	12.8	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	5.9	7.4	6.5	0.0	
法務局・人権擁護委員・民生委員	1	0.3	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
市町村役場・福祉事務所	4	1.2	0.7	1.6	0.0	0.0	0.0	2.1	2.3	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	
県庁	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
女性相談支援センター (配偶者暴力相談支援センター)	7	2.2	0.7	3.3	0.0	0.0	0.0	6.4	1.2	2.4	2.0	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	5.4	0.0	0.0	3.2	0.0	
こうち男女共同参画センター「ソーレ」	2	0.6	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
裁判所・法テラス	3	0.9	0.0	1.6	0.0	0.0	2.8	0.0	1.2	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	2.9	3.7	0.0	0.0	
医療関係者(医師、歯科医師、看護師など)	2	0.6	0.7	0.5	0.0	0.0	2.8	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
民間の機関(弁護士会、民間シェルターなど)	2	0.6	0.7	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	0.0	
その他	1	0.3	0.0	0.5	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
誰(どこ)にも相談しなかった	165	51.4	61.0	44.0	100.0	52.9	38.9	51.1	52.3	52.4	57.1	50.0	57.1	38.9	75.0	50.0	54.1	44.1	55.6	41.9	44.1	
無回答	18	5.6	10.3	2.2	0.0	5.9	0.0	6.4	3.5	7.1	10.2	0.0	4.8	13.9	0.0	0.0	2.7	2.9	3.7	3.2	0.0	

か。あてはまるものに○印をつけてください。(○印はいくつでも)

学生	無職	その他	無回答	配偶者の有無			夫婦共働きか			居住地域別										世帯構成別					同居家族別					
				いる	いない	無回答	はい	いいえ	無回答	高知市	安芸広域圏	南国・香美広域圏	嶺北広域圏	仁淀川広域圏	高吾北広域圏	高幡広域圏	幡多広域圏	無回答	単身世帯	夫婦のみ	二世帯世帯	三世帯世帯	その他	無回答	乳幼児	高齢者	両方いる	どちらもない	どちらもある	無回答
1	81	5	0	239	81	1	114	122	3	134	20	44	9	24	13	36	37	4	27	101	144	41	7	1	33	109	5	169	5	
0.0	18.5	20.0	0.0	27.6	27.2	0.0	24.6	31.1	0.0	26.9	25.0	18.2	33.3	33.3	38.5	36.1	24.3	25.0	37.0	23.8	31.3	22.0	0.0	0.0	33.3	29.4	40.0	24.9	20.0	
0.0	13.6	60.0	0.0	21.8	40.7	0.0	24.6	19.7	0.0	29.1	20.0	29.5	11.1	29.2	23.1	25.0	16.2	75.0	37.0	15.8	32.6	24.4	28.6	0.0	36.4	19.3	40.0	29.0	20.0	
0.0	3.7	0.0	0.0	2.1	7.4	0.0	2.6	1.6	0.0	4.5	5.0	4.5	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	2.0	4.9	4.9	0.0	0.0	6.1	3.7	0.0	3.0	0.0	
0.0	1.2	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	
0.0	2.5	20.0	0.0	0.4	3.7	0.0	0.0	0.8	0.0	0.7	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	3.7	1.0	0.7	0.0	14.3	0.0	0.0	1.8	0.0	1.2	0.0	
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
0.0	3.7	0.0	0.0	1.7	3.7	0.0	0.9	2.5	0.0	1.5	0.0	4.5	0.0	4.2	0.0	2.8	2.7	0.0	3.7	3.0	0.7	4.9	0.0	0.0	0.0	3.7	3.7	0.0	1.8	0.0
0.0	2.5	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.6	0.0	
0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	2.5	0.0	0.9	0.0	0.0	0.7	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	1.2	0.0	
0.0	1.2	0.0	0.0	0.4	1.2	0.0	0.9	0.0	0.0	0.7	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	
0.0	1.2	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	2.7	0.0	0.0	1.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	0.0	0.0	
0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	
100.0	61.7	40.0	0.0	55.2	40.7	0.0	52.6	56.6	100.0	53.0	65.0	45.5	66.7	50.0	46.2	47.2	54.1	0.0	33.3	59.4	46.5	58.5	71.4	0.0	51.5	52.3	60.0	50.3	60.0	
0.0	9.9	0.0	0.0	5.4	4.9	100.0	5.3	5.7	0.0	4.5	5.0	6.8	0.0	4.2	7.7	5.6	8.1	25.0	3.7	6.9	5.6	2.4	0.0	100.0	3.0	4.6	0.0	7.1	0.0	

問9(4) (問9(3)で「13. 誰(どこ)にも相談しなかった」と答えた方におたずねします。) あなたが、誰(どこ)

	総合		性別			年代別							職業別								
	実数	%	男性	女性	無回答	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答	自営・農林・水産業	自営・サービス業	自営・商工	自由業	管理職	専任・技術職	事務職	労務職	パート・アルバイト・内職など
サンプル	165	100.0	83	81	1	9	14	24	45	44	28	1	12	14	3	5	20	15	15	13	15
誰(どこ)に相談してよいのかわからなかったから	12	7.3	2.4	12.3	0.0	33.3	7.1	12.5	4.4	2.3	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	20.0	6.7	6.7	7.7	0.0
恥ずかしくて誰にも言えなかったから	29	17.6	12.0	23.5	0.0	22.2	28.6	12.5	17.8	11.4	25.0	0.0	25.0	14.3	33.3	20.0	25.0	6.7	13.3	15.4	20.0
相談しても無駄だと思ったから	29	17.6	10.8	24.7	0.0	22.2	14.3	8.3	11.1	22.7	28.6	0.0	25.0	21.4	0.0	20.0	15.0	13.3	0.0	15.4	33.3
相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどいことをされると思ったから	7	4.2	1.2	7.4	0.0	33.3	7.1	0.0	2.2	2.3	3.6	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	10.0	6.7	0.0	0.0	6.7
相談窓口の担当者の言動により、不快な思いをすと思ったから	1	0.6	0.0	1.2	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0
自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっ ていくことができると思ったから	33	20.0	15.7	24.7	0.0	11.1	21.4	25.0	13.3	22.7	25.0	0.0	33.3	14.3	33.3	0.0	10.0	20.0	26.7	15.4	33.3
世間体が悪いから	12	7.3	2.4	12.3	0.0	22.2	7.1	4.2	8.9	2.3	10.7	0.0	8.3	7.1	0.0	0.0	10.0	6.7	0.0	15.4	13.3
他人を巻き込みたくないから	18	10.9	10.8	11.1	0.0	33.3	14.3	4.2	4.4	6.8	25.0	0.0	16.7	7.1	33.3	0.0	15.0	6.7	6.7	7.7	0.0
思い出したくないから	11	6.7	2.4	11.1	0.0	22.2	0.0	8.3	11.1	4.5	0.0	0.0	16.7	7.1	0.0	0.0	0.0	13.3	6.7	15.4	13.3
自分に悪いところがあると思ったから	40	24.2	26.5	21.0	100.0	11.1	42.9	25.0	31.1	22.7	10.7	0.0	25.0	14.3	0.0	0.0	25.0	33.3	26.7	38.5	20.0
相談するほどのことではないと思ったから	99	60.0	72.3	48.1	0.0	66.7	78.6	62.5	62.2	50.0	57.1	100.0	41.7	71.4	33.3	60.0	60.0	73.3	66.7	69.2	20.0
その他	2	1.2	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

にも相談しなかったのはなぜですか。あてはまるものに○印をつけてください。(○印はいくつでも)

学生	無職	その他	無回答	配偶者の有無			夫婦共働きか			居住地域別								世帯構成別					同居家族別						
				いる	いない	無回答	はい	いいえ	無回答	高知市	安芸広域圏	南国・香美広域圏	嶺北広域圏	仁淀川広域圏	高吾北広域圏	高幡広域圏	幡多広域圏	無回答	単身世帯	夫婦のみ	二世帯	三世帯	その他	無回答	乳幼児	高齢者	両方いる	いない	どちらもある
1	50	2	0	132	33	0	60	69	3	71	13	20	6	12	6	17	20	0	9	60	67	24	5	0	17	57	3	85	3
0.0	6.0	50.0	0.0	5.3	15.2	0.0	6.7	4.3	0.0	11.3	0.0	10.0	0.0	8.3	0.0	0.0	5.0	0.0	11.1	6.7	9.0	4.2	0.0	0.0	5.9	7.0	0.0	8.2	0.0
0.0	16.0	50.0	0.0	16.7	21.2	0.0	15.0	18.8	0.0	16.9	0.0	40.0	0.0	0.0	16.7	11.8	30.0	0.0	33.3	11.7	17.9	29.2	0.0	0.0	17.6	26.3	66.7	10.6	0.0
0.0	20.0	0.0	0.0	14.4	30.3	0.0	11.7	15.9	33.3	21.1	15.4	5.0	33.3	25.0	16.7	5.9	20.0	0.0	33.3	16.7	19.4	8.3	20.0	0.0	5.9	19.3	33.3	17.6	33.3
0.0	4.0	0.0	0.0	3.0	9.1	0.0	3.3	2.9	0.0	4.2	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	11.1	5.0	1.5	8.3	0.0	0.0	5.9	7.0	0.0	2.4	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	0.0
0.0	18.0	50.0	0.0	17.4	30.3	0.0	18.3	17.4	0.0	18.3	23.1	35.0	0.0	16.7	0.0	11.8	30.0	0.0	0.0	20.0	20.9	25.0	20.0	0.0	29.4	28.1	0.0	12.9	33.3
0.0	6.0	0.0	0.0	6.1	12.1	0.0	6.7	5.8	0.0	8.5	0.0	15.0	0.0	8.3	16.7	5.9	0.0	0.0	22.2	5.0	4.5	16.7	0.0	0.0	0.0	12.3	0.0	5.9	0.0
0.0	14.0	50.0	0.0	8.3	21.2	0.0	6.7	8.7	33.3	9.9	15.4	15.0	0.0	16.7	0.0	11.8	10.0	0.0	0.0	13.3	7.5	16.7	20.0	0.0	17.6	19.3	0.0	3.5	33.3
0.0	2.0	0.0	0.0	6.1	9.1	0.0	6.7	5.8	0.0	5.6	7.7	10.0	0.0	16.7	16.7	5.9	0.0	0.0	11.1	6.7	3.0	12.5	20.0	0.0	5.9	3.5	0.0	8.2	33.3
0.0	24.0	50.0	0.0	25.0	21.2	0.0	26.7	23.2	33.3	28.2	23.1	30.0	0.0	16.7	0.0	29.4	20.0	0.0	11.1	18.3	23.9	33.3	80.0	0.0	41.2	22.8	66.7	18.8	66.7
100.0	68.0	0.0	0.0	62.9	48.5	0.0	68.3	58.0	66.7	62.0	46.2	45.0	83.3	58.3	66.7	76.5	55.0	0.0	66.7	61.7	65.7	45.8	20.0	0.0	64.7	50.9	66.7	67.1	0.0
0.0	2.0	0.0	0.0	0.8	3.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	5.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	0.0	0.0	0.0
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問10 次にあげることのうち、あなたがセクシュアル・ハラスメントだと思うことはどれですか。あてはまる

	総合		性別			年代別							職業別								
	実数	%	男性	女性	無回答	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答	自営・農林・水産業	自営・商工・サービス業	自由業	管理職	専門・技術職	事務職	労務職	パート・アルバイト・内職など	専業主婦・主夫
サンプル	1,142	100.0	503	630	9	105	141	191	273	255	166	11	85	103	11	42	116	154	84	133	116
地位や権限を利用して、交際や性的な関係を強要する	984	86.2	87.1	85.7	66.7	96.2	98.6	92.7	89.0	82.4	63.3	81.8	81.2	81.6	90.9	95.2	94.0	95.5	92.9	90.2	87.9
相手が嫌がっているのに、肩に手をかけたり、身体にさわる	925	81.0	83.3	79.7	44.4	92.4	91.5	88.0	85.0	76.1	58.4	72.7	76.5	74.8	81.8	92.9	89.7	92.2	83.3	88.0	75.0
宴席で、お酌やデュエット、ダンスなどを強要する	614	53.8	59.0	49.5	55.6	50.5	65.2	57.6	60.4	51.8	32.5	72.7	42.4	52.4	36.4	76.2	62.1	70.8	65.5	53.4	48.3
容姿や服装に関して繰り返して言う	538	47.1	49.3	45.6	33.3	53.3	56.0	51.8	52.0	42.0	29.5	54.5	41.2	43.7	27.3	66.7	59.5	58.4	51.2	48.1	44.8
相手が嫌がっているのに性的なことを話題にする	843	73.8	76.7	71.9	44.4	90.5	87.9	80.1	76.6	65.9	51.8	72.7	60.0	68.0	81.8	90.5	81.9	90.3	81.0	77.4	69.0
職場や学校、集会などの場でわいせつな話をする	594	52.0	53.9	50.8	33.3	64.8	68.8	55.5	54.9	43.9	34.9	27.3	40.0	50.5	27.3	71.4	67.2	68.2	45.2	48.9	52.6
ヌードの写真やポスター、カレンダーなどを人目につくところに貼る	539	47.2	51.3	44.3	22.2	58.1	54.6	49.7	50.9	43.9	31.3	27.3	40.0	45.6	45.5	54.8	56.0	64.9	46.4	40.6	46.6
「結婚はまだか」や「子どもはまだか」など、たびたび聞く	448	39.2	43.1	36.3	22.2	38.1	50.4	47.6	39.9	36.5	24.1	36.4	31.8	33.0	63.6	50.0	56.0	52.6	38.1	34.6	36.2
わからない	23	2.0	1.6	2.4	0.0	1.0	0.7	1.6	0.7	3.1	4.8	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.9	1.3	2.4	0.0	0.9
無回答	102	8.9	9.5	8.1	33.3	1.0	0.7	3.7	6.2	11.8	26.5	18.2	15.3	16.5	9.1	2.4	1.7	1.9	3.6	4.5	8.6

ものに○印をつけてください。(○印はいくつでも)

				配偶者の有無			夫婦共働きか			居住地域別								世帯構成別					同居家族別							
学生	無職	その他	無回答	いる	いない	無回答	はい	いいえ	無回答	高知市	安芸広域圏	南国・香美広域圏	嶺北広域圏	仁淀川広域圏	高吾北広域圏	高幡広域圏	幡多広域圏	無回答	単身世帯	夫婦のみ	二世帯世帯	三世帯世帯	その他	無回答	乳幼児	高齢者	両方いる	どちらもない	どちらも	無回答
24	243	17	14	816	325	1	427	379	10	496	78	153	26	95	44	102	137	11	107	320	532	149	28	6	107	393	23	607	12	
100.0	73.7	82.4	57.1	86.8	84.9	0.0	90.6	83.6	40.0	91.1	82.1	83.7	80.8	85.3	84.1	82.4	80.3	63.6	79.4	81.6	89.7	90.6	85.7	33.3	94.4	79.1	95.7	89.1	75.0	
87.5	70.4	82.4	64.3	81.1	80.9	0.0	85.7	77.0	40.0	85.3	82.1	81.0	76.9	75.8	79.5	78.4	73.7	54.5	72.9	75.6	84.2	89.3	78.6	33.3	88.8	74.3	91.3	83.9	66.7	
54.2	40.7	58.8	21.4	55.0	50.8	0.0	61.8	48.3	20.0	59.9	48.7	56.2	57.7	50.5	56.8	44.1	42.3	18.2	51.4	51.9	56.4	53.7	39.3	33.3	60.7	46.3	39.1	57.8	58.3	
58.3	34.6	41.2	28.6	49.6	40.9	0.0	55.7	43.8	10.0	54.8	37.2	48.4	42.3	46.3	38.6	39.2	34.3	36.4	36.4	46.3	50.4	47.0	42.9	16.7	53.3	38.9	43.5	51.4	50.0	
87.5	60.1	76.5	71.4	74.1	73.2	0.0	80.1	68.9	20.0	79.0	70.5	76.5	57.7	73.7	75.0	67.6	62.8	54.5	67.3	67.8	77.3	80.5	75.0	33.3	81.3	67.2	73.9	76.8	75.0	
62.5	39.9	58.8	42.9	52.5	51.1	0.0	56.9	48.5	10.0	58.3	51.3	52.9	46.2	47.4	40.9	45.1	42.3	45.5	49.5	47.8	55.1	53.7	50.0	16.7	62.6	46.8	56.5	53.2	58.3	
50.0	39.1	41.2	28.6	48.7	43.7	0.0	50.8	47.2	10.0	52.6	43.6	51.0	42.3	40.0	50.0	37.3	37.2	54.5	37.4	43.4	50.2	53.7	42.9	16.7	53.3	43.8	73.9	47.4	41.7	
33.3	30.0	35.3	42.9	40.4	36.3	0.0	44.7	36.1	20.0	45.2	39.7	35.9	50.0	41.1	36.4	32.4	26.3	9.1	35.5	35.6	43.8	35.6	32.1	16.7	46.7	32.6	34.8	42.5	33.3	
0.0	6.2	0.0	7.1	1.7	2.8	0.0	0.5	3.2	0.0	1.2	2.6	3.3	3.8	1.1	4.5	4.9	0.7	0.0	2.8	3.1	1.5	0.0	3.6	16.7	0.9	2.5	0.0	1.8	8.3	
0.0	16.9	11.8	21.4	8.8	8.9	100.0	6.1	10.6	60.0	5.8	11.5	7.8	11.5	10.5	9.1	11.8	13.9	36.4	13.1	12.5	6.0	6.7	10.7	50.0	1.9	14.8	4.3	6.4	16.7	

問11 あなたは、次にあげる言葉について、知っていますか。(ア)から(シ)までの項目ごとに、それぞれあては

	総合		性別			年代別							職業別											
	実数	%	男性	女性	無回答	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答	自営・農林・水産業	自営・サービス業	自営・商工業	自由業	管理職	専門・技術職	事務職	労務職	パート・内職など	アルバイト・主婦	専業主婦	
サンプル	1,142	100.0	503	630	9	105	141	191	273	255	166	11	85	103	11	42	116	154	84	133	116			
(ケ)次世代育成支援対策推進法	内容を知っている	58	5.1	4.8	5.4	0.0	4.8	5.0	6.3	4.8	4.7	5.4	0.0	3.5	3.9	0.0	7.1	6.0	7.1	0.0	4.5	4.3		
	聞いたことがあるが内容は知らない	345	30.2	28.6	31.6	22.2	19.0	22.7	31.4	31.5	34.5	33.1	36.4	34.1	30.1	54.5	40.5	35.3	24.7	31.0	25.6	38.8		
	知らない	676	59.2	60.8	57.9	55.6	73.3	68.8	61.3	59.0	54.5	47.0	63.6	57.6	55.3	36.4	52.4	55.2	64.3	65.5	68.4	53.4		
	無回答	63	5.5	5.8	5.1	22.2	2.9	3.5	1.0	4.8	6.3	14.5	0.0	4.7	10.7	9.1	0.0	3.4	3.9	3.6	1.5	3.4		
(コ)配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(いわゆるDV防止法)	内容を知っている	384	33.6	31.8	35.2	22.2	19.0	36.2	41.9	34.4	32.9	30.7	36.4	34.1	45.6	45.5	35.7	35.3	40.9	22.6	25.6	37.9		
	聞いたことがあるが内容は知らない	536	46.9	46.9	47.0	44.4	50.5	44.7	50.3	51.6	45.9	36.1	54.5	41.2	35.9	36.4	54.8	54.3	48.7	54.8	60.9	44.0		
	知らない	170	14.9	16.3	13.8	11.1	26.7	15.6	7.9	11.4	14.9	21.1	9.1	22.4	8.7	9.1	9.5	7.8	7.8	20.2	12.8	14.7		
	無回答	52	4.6	5.0	4.0	22.2	3.8	3.5	0.0	2.6	6.3	12.0	0.0	2.4	9.7	9.1	0.0	2.6	2.6	2.4	0.8	3.4		
(サ)こうち男女共同参画センター「ソーレ」	内容を知っている	308	27.0	20.1	32.7	11.1	22.9	28.4	36.1	27.8	25.5	18.1	36.4	14.1	32.0	27.3	35.7	41.4	32.5	15.5	26.3	31.9		
	聞いたことがあるが内容は知らない	522	45.7	44.3	46.8	44.4	46.7	47.5	46.1	47.3	46.3	41.0	27.3	51.8	38.8	36.4	35.7	40.5	48.7	52.4	57.9	46.6		
	知らない	260	22.8	30.6	16.5	22.2	27.6	20.6	17.8	21.6	22.7	28.3	36.4	31.8	21.4	27.3	28.6	14.7	15.6	29.8	15.0	18.1		
	無回答	52	4.6	5.0	4.0	22.2	2.9	3.5	0.0	3.3	5.5	12.7	0.0	2.4	7.8	9.1	0.0	3.4	3.2	2.4	0.8	3.4		
(シ)女性相談支援センター(旧女性相談所)	内容を知っている	195	17.1	13.1	20.3	11.1	6.7	17.0	22.5	15.0	19.6	16.9	18.2	8.2	17.5	9.1	19.0	25.0	15.6	8.3	20.3	19.8		
	聞いたことがあるが内容は知らない	484	42.4	38.8	45.4	33.3	36.2	36.2	40.3	47.3	43.9	44.0	36.4	49.4	47.6	45.5	40.5	41.4	40.9	36.9	40.6	53.4		
	知らない	406	35.6	42.9	29.7	33.3	54.3	43.3	36.1	34.4	29.8	26.5	45.5	38.8	26.2	27.3	40.5	31.0	40.3	51.2	37.6	23.3		
	無回答	57	5.0	5.2	4.6	22.2	2.9	3.5	1.0	3.3	6.7	12.7	0.0	3.5	8.7	18.2	0.0	2.6	3.2	3.6	1.5	3.4		

まる番号（1～3）に1つだけ○印をつけてください。

				配偶者の有無			夫婦共働きか			居住地域別										世帯構成別					同居家族別					
学生	無職	その他	無回答	いる	いない	無回答	はい	いいえ	無回答	高知市	安芸広域圏	南国・香美広域圏	嶺北広域圏	仁淀川広域圏	高吾北広域圏	高幡広域圏	幡多広域圏	無回答	単身世帯	夫婦のみ	二世帯世帯	三世帯世帯	その他	無回答	乳幼児	高齢者	両方いる	どちらもない	どちらもある	無回答
0.0	6.2	11.8	14.3	4.5	6.5	0.0	3.7	5.5	0.0	3.4	9.0	5.9	19.2	5.3	6.8	3.9	5.8	0.0	5.6	4.4	4.7	7.4	7.1	0.0	6.5	5.1	4.3	4.9	0.0	
29.2	26.3	35.3	7.1	32.6	24.3	0.0	32.3	32.5	50.0	28.4	38.5	30.1	30.8	33.7	34.1	35.3	25.5	18.2	24.3	30.9	31.4	26.8	42.9	16.7	23.4	35.1	26.1	28.7	16.7	
70.8	56.8	41.2	78.6	58.0	62.5	0.0	60.0	55.9	50.0	63.7	43.6	59.5	50.0	55.8	56.8	51.0	62.8	54.5	61.7	58.8	59.6	60.4	42.9	50.0	66.4	52.4	60.9	61.9	75.0	
0.0	10.7	11.8	0.0	4.9	6.8	100.0	4.0	6.1	0.0	4.4	9.0	4.6	0.0	5.3	2.3	9.8	5.8	27.3	8.4	5.9	4.3	5.4	7.1	33.3	3.7	7.4	8.7	4.4	8.3	
12.5	30.5	29.4	35.7	35.7	28.6	0.0	37.2	34.0	30.0	36.9	39.7	31.4	38.5	34.7	25.0	27.5	28.5	9.1	26.2	34.4	33.6	38.9	32.1	0.0	37.4	31.6	21.7	35.1	16.7	
45.8	40.7	35.3	35.7	46.7	47.7	0.0	49.2	43.8	50.0	45.6	39.7	49.0	46.2	48.4	50.0	52.0	46.0	72.7	49.5	45.9	48.3	43.0	50.0	16.7	43.0	46.6	52.2	47.3	66.7	
37.5	19.8	23.5	28.6	13.6	18.2	0.0	10.5	16.9	20.0	13.5	14.1	14.4	15.4	12.6	22.7	14.7	21.2	0.0	18.7	14.1	14.7	14.1	10.7	50.0	15.9	15.5	21.7	14.2	8.3	
4.2	9.1	11.8	0.0	4.0	5.5	100.0	3.0	5.3	0.0	4.0	6.4	5.2	0.0	4.2	2.3	5.9	4.4	18.2	5.6	5.6	3.4	4.0	7.1	33.3	3.7	6.4	4.3	3.5	8.3	
33.3	18.5	29.4	28.6	26.3	28.6	0.0	28.6	23.7	30.0	35.7	20.5	27.5	11.5	28.4	25.0	16.7	9.5	18.2	27.1	24.7	27.4	28.9	39.3	0.0	29.9	23.2	21.7	29.7	0.0	
41.7	42.0	35.3	28.6	46.9	42.8	0.0	48.2	46.2	20.0	44.4	46.2	45.8	65.4	53.7	45.5	37.3	48.9	27.3	38.3	45.3	49.4	42.3	35.7	0.0	42.1	46.1	47.8	46.0	50.0	
25.0	30.0	23.5	42.9	22.4	23.7	0.0	19.9	24.5	50.0	15.9	26.9	21.6	23.1	14.7	29.5	37.3	38.0	36.4	28.0	24.7	19.7	24.8	17.9	66.7	24.3	24.9	21.7	20.8	41.7	
0.0	9.5	11.8	0.0	4.3	4.9	100.0	3.3	5.5	0.0	4.0	6.4	5.2	0.0	3.2	0.0	8.8	3.6	18.2	6.5	5.3	3.4	4.0	7.1	33.3	3.7	5.9	8.7	3.6	8.3	
8.3	17.7	17.6	21.4	16.8	17.8	0.0	17.1	16.6	10.0	18.5	24.4	19.0	15.4	16.8	15.9	11.8	10.9	9.1	19.6	16.9	17.1	12.8	35.7	0.0	17.8	15.0	17.4	18.3	16.7	
25.0	40.7	29.4	21.4	44.9	36.3	0.0	43.8	45.6	60.0	41.1	42.3	39.9	42.3	55.8	36.4	45.1	40.9	36.4	29.9	43.1	42.9	51.0	32.1	16.7	34.6	47.6	47.8	41.0	0.0	
66.7	31.7	41.2	57.1	33.7	40.3	0.0	35.4	31.9	30.0	35.7	24.4	36.6	42.3	24.2	45.5	36.3	43.1	36.4	44.9	33.4	36.1	32.9	25.0	50.0	43.9	30.5	30.4	36.7	75.0	
0.0	9.9	11.8	0.0	4.7	5.5	100.0	3.7	5.8	0.0	4.6	9.0	4.6	0.0	3.2	2.3	6.9	5.1	18.2	5.6	6.6	3.9	3.4	7.1	33.3	3.7	6.9	4.3	4.0	8.3	

問12 男女共同参画は、私たち一人ひとりの身近な課題です。まず自分にできることから始めることが大切

	総合		性別			年代別							職業別							
	実数	%	男性	女性	無回答	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	無回答	自営・農林・水産業	自営・商工・サービス業	自由業	管理職	専門技術職	事務職	労務職	パート・内職など
サンプル	1,142	100.0	503	630	9	105	141	191	273	255	166	11	85	103	11	42	116	154	84	133
家庭では、家族みんなで家事・育児などの負担をする	797	69.8	68.4	71.1	55.6	80.0	75.9	72.8	70.3	66.7	58.4	72.7	68.2	67.0	72.7	71.4	75.0	74.0	72.6	63.9
「男らしく、女らしく」から「その子らしく」子育てをする	576	50.4	45.3	54.8	33.3	51.4	66.0	54.5	52.0	42.0	42.2	54.5	52.9	55.3	36.4	50.0	61.2	46.8	54.8	56.4
学校では、PTAや保護者会で男女平等について取り組む	153	13.4	16.9	10.8	0.0	11.4	15.6	13.1	14.3	14.5	9.6	18.2	7.1	14.6	27.3	26.2	15.5	14.9	16.7	12.8
職場で男女平等意識を浸透させる	315	27.6	33.6	23.2	0.0	30.5	26.2	30.9	33.3	22.7	21.7	18.2	25.9	26.2	36.4	57.1	37.1	31.8	29.8	27.8
地域(自治会など)では、古い慣習を見直し、男女平等に活動に参画するよう取り組む	298	26.1	31.2	22.1	22.2	17.1	14.9	16.8	30.4	29.4	40.4	18.2	40.0	31.1	18.2	19.0	19.0	23.4	27.4	18.0
男女共同参画について学ぶ	254	22.2	24.1	21.1	0.0	35.2	15.6	18.8	24.5	22.4	20.5	9.1	17.6	15.5	9.1	23.8	26.7	21.4	22.6	21.8
こうち男女共同参画センター「ソール」などの事業に参加して理解を深める	137	12.0	10.5	13.3	0.0	14.3	8.5	12.0	12.1	11.4	14.5	9.1	10.6	12.6	9.1	11.9	14.7	12.3	8.3	11.3
その他	10	0.9	0.6	1.1	0.0	1.0	1.4	0.5	0.0	1.2	1.8	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	1.5
無回答	92	8.1	9.5	6.5	33.3	1.0	5.0	6.3	5.1	11.4	16.3	18.2	5.9	9.7	18.2	2.4	4.3	4.5	10.7	6.0

ですが、あなたは、何ができますか。次の中でできると思うものに○印をつけてください。(○印はいくつでも)

専業主婦・ 主夫	学生	無職	その他	無回答	配偶者の有無			夫婦共働きか			居住地域別									世帯構成別					同居家族別					
					いる	いない	無回答	はい	いいえ	無回答	高知市	安芸広域圏	南 国・香 美 広域圏	嶺 北 広域圏	仁 淀 川 広域圏	高 吾 北 広域圏	高 幡 広域圏	幡 多 広域圏	無回答	単身世帯	夫婦のみ	二世 代世帯	三世 代世帯	その他	無回答	乳 幼 児	高 齢 者	両 方 い る	ど ち ら も い な い	無 回 答
116	24	243	17	14	816	325	1	427	379	10	496	78	153	26	95	44	102	137	11	107	320	532	149	28	6	107	393	23	607	12
80.2	87.5	60.9	64.7	85.7	71.8	64.6	100.0	74.0	69.7	60.0	72.0	73.1	69.3	57.7	72.6	63.6	58.8	71.5	63.6	59.8	65.3	72.0	77.9	75.0	66.7	83.2	66.7	73.9	69.4	66.7
61.2	54.2	37.0	41.2	28.6	53.3	43.4	0.0	57.8	48.5	40.0	53.4	52.6	50.3	57.7	56.8	25.0	43.1	45.3	63.6	46.7	44.7	53.6	56.4	46.4	16.7	74.8	49.4	39.1	47.6	33.3
7.8	8.3	13.6	11.8	0.0	12.7	15.1	0.0	13.8	11.6	10.0	13.1	16.7	13.1	7.7	21.1	11.4	9.8	12.4	9.1	16.8	10.9	12.8	16.8	25.0	0.0	15.0	12.5	4.3	13.8	25.0
12.1	37.5	22.6	29.4	7.1	26.1	31.4	0.0	30.2	21.9	10.0	29.0	26.9	28.8	19.2	25.3	20.5	27.5	28.5	9.1	34.6	27.2	26.3	28.2	28.6	16.7	23.4	26.0	47.8	28.3	41.7
19.8	25.0	33.3	35.3	7.1	26.1	26.2	0.0	23.0	30.1	10.0	21.4	43.6	26.8	30.8	27.4	29.5	23.5	31.4	27.3	28.0	28.8	22.2	31.5	35.7	16.7	12.1	33.6	52.2	22.4	41.7
22.4	50.0	22.6	29.4	14.3	21.2	24.9	0.0	20.6	21.9	20.0	20.4	24.4	22.9	19.2	23.2	15.9	28.4	25.5	9.1	25.2	23.1	19.7	26.8	28.6	0.0	14.0	22.6	26.1	23.7	0.0
15.5	16.7	11.1	11.8	0.0	11.3	13.8	0.0	12.2	10.6	0.0	12.3	11.5	13.7	11.5	16.8	15.9	6.9	8.8	9.1	14.0	12.2	9.0	20.8	14.3	0.0	8.4	14.8	8.7	11.2	0.0
0.0	0.0	2.1	0.0	0.0	0.6	1.5	0.0	0.2	1.1	0.0	1.0	1.3	0.7	0.0	0.0	2.3	1.0	0.7	0.0	2.8	0.9	0.4	1.3	0.0	0.0	0.9	1.0	0.0	0.8	0.0
6.0	0.0	14.0	11.8	14.3	7.0	10.8	0.0	5.4	8.2	30.0	7.1	6.4	7.8	7.7	5.3	18.2	11.8	8.0	18.2	15.0	11.3	5.8	3.4	7.1	33.3	2.8	10.4	4.3	7.4	16.7

VII 調査票

(単純集計結果)

男女共同参画社会に関する県民意識調査のお願い

平成21年11月

高知県文化生活部県民生活・男女共同参画課

高知県では、県内にお住まいの満20歳以上の2,000人の方（選挙人名簿から無作為抽出）を対象に、^(注1)「男女共同参画社会に関する県民意識調査」を行います。

この調査は、県民の皆様のお考えをお聞きし、男性も女性もともに平等な立場であらゆる分野に参画できる、「男女共同参画社会」の実現に向けた取り組みに役立てるための基礎資料とさせていただくことを目的として行うものです。

また、県民の皆様からお聞きしたお考えを過去のデータと比べて、意識の変化や課題を把握することにより、今後の男女共同参画を進めるうえで、高知県らしさも反映させていきたいと考えています。

今回は、次のテーマについて、皆様のお考えをお聞かせください。

1. 男女平等に関する意識について
2. 結婚や家庭生活について
3. 職業生活・社会参画について
4. ドメスティック・バイオレンス（夫婦・恋人間の暴力）について
5. セクシュアル・ハラスメントについて
6. 男女共同参画の推進について

突然のお願いであり、また、お忙しいところ誠に恐れ入りますが、皆様のご協力をお願いします。

なお、ささやかながら謝礼品として、ボールペンを同封します。

（注1）男女共同参画社会

男女の性別にかかわらず一人ひとりがお互いの人権を尊重し責任も分かち合い、誰もが自分の意志で個性と能力を十分に発揮することができる社会をいいます。

皆さんの家庭や職場、地域など日ごろの生活の中で、一人ひとりがお互いを思いやって支えあい助け合うことが、「男女共同参画」です。

裏面の「記入・回答にあたってのお願い」も、よくお読みください。

記入・回答にあたってのお願い

- ・この調査は、個人を対象にしていますので、あて名の方ご自身がお答えください。
- ・この調査は、無記名式です。あなたのお名前やご住所を書いていただく必要はありません。

調査の実施について

- ・この調査は、高知県が^{こうちしんぶんきぎょう}高知新聞企業（高知市本町3丁目3-39）に発送や回収などの業務を^{いたく}委託して行っています。

調査票の返送について

- ・ご回答をいただいた調査票は、記入もれがないかお確かめのうえ、同封の返信用の封筒に入れて、切手を貼らずに **12月9日(水曜日)** までにご返送ください。

個人情報^{こじんじょうほう}の取り扱いについて

- ・個人情報は、高知県^{ほこじょうれい}個人情報保護条例に基づき^{てきせい}適正に取り扱います。

調査票の取り扱いについて

- ・調査結果は、^{とうけい}統計的に処理したうえで^{ぶんせき}分析に用いられますので、個人のお答えの内容や皆様の^{いっさい}個人情報が外部にもれることは一切ありませんし、他の目的に使用したりすることはありません。
また、委託業者にもこのことは^{てってい}徹底しています。

なお、この調査の結果は、平成22年4月に県のホームページで公表する予定です。

*この調査についてのおたずねは、下記までご連絡ください。

調査票の発送・回収などについて

(株)高知新聞企業 出版調査部 (電話 088-825-4332)

質問の内容などについて

高知県文化生活部県民生活・男女共同参画課 (電話 088-823-9651)

「男女共同参画社会に関する県民意識調査」

調 査 票

(平成21年度)

高知県文化生活部県民生活・男女共同参画課

まず、あなたご自身のことについておたずねします。

以下のF1からF8までは、問1から問12までの回答が性別によってどう違うか、年代別にはどう違うかがみられるか、などといった分析をする上で必要な質問です。あてはまる番号に1つだけ○印を、また()内には適当な事柄をご記入ください。(質問の右側にある□内には、何も記入しないでください)

F1 あなたの性別は 1. 男 44.0 2. 女 55.2 5

F2 あなたの年代は何歳代ですか。(平成21年11月1日現在)

1. 20歳代 9.2 2. 30歳代 12.3 3. 40歳代 16.7 4. 50歳代 23.9 5. 60歳代 22.3 6. 70歳以上 14.5 6

F3 あなたの職業をお知らせください。

7.4 1. 自営業－農林水産業 7

9.0 2. 自営業－商工・サービス業

1.0 3. 自由業(弁護士、開業医、芸術家、僧侶そうりよなど)

3.7 4. 管理職

10.2 5. 専門技術職(技術研究員、勤務医、看護師、保育士など)

13.5 6. 事務職(一般事務員、営業職など)

7.4 7. 労務職(一般工員、建築作業員、運転手など)

11.6 8. パート・アルバイト、内職など

10.2 9. 専業主婦・主夫

2.1 10. 学生

21.3 11. 無職(年金生活者など)

1.5 12. その他()

F4 あなたには配偶者はいぐうしゃ(夫・妻)がいますか。 1. いる 71.5 2. いない 28.5 9

F5 F4で「1. いる」と答えた方におたずねします。
あなたは夫婦共働きふうふともばらですか。 1. はい 52.3 2. いいえ 46.4 10

F6 あなたはどの地域にお住まいですか。

43.4 1. 高知市 11

6.8 2. 安芸広域圏(室戸市、安芸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村、芸西村)

13.4 3. 南国・香美広域圏(南国市、香南市、香美市)

2.3 4. 嶺北広域圏(本山町、大豊町、土佐町、大川村)

8.3 5. 仁淀川広域圏(土佐市、いの町、日高村)

3.9 6. 高吾北広域圏(佐川町、越知町、仁淀川町)

8.9 7. 高幡広域圏(須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町)

12.0 8. 幡多広域圏(宿毛市、土佐清水市、四万十市、大月町、三原村、黒潮町)

F7 あなたのお住まいの、世帯の構成をお知らせください。

1. 単身世帯(一人住まい)9.4 2. 夫婦のみの世帯28.0 3. 親と子の世帯(二世帯世帯)46.6 4. 三世帯世帯(親、子、孫の世帯)13.0 5. その他()2.5 12

F8 あなたの同居の家族に、次の方はいますか。

1. 乳幼児(小学入学前の子ども)がいる 9.4 2. 高齢者(70歳以上)がいる 34.4 3. 乳幼児、高齢者の両方がいる 2.0 4. どちらもいない 53.2 13

ここからは男女共同参画に関する質問です。あなたのお考えを率直に^{そつよく}お聞かせください。

◆ 1 男女平等に関する意識について

問1 次にあげる分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。(ア)から(ク)までの項目ごとに、あなたの気持ちに最も近い番号(1～6)に1つだけ○印をつけてください。

	男性の方が 非常に優遇 されている	どちらかと いえば男性 の方が優遇 されている	平等	どちらかと いえば女性 の方が優遇 されている	女性の方が 非常に優遇 されている	わからない
(ア) 家庭生活	1 9.5	2 43.5	3 32.7	4 5.6	5 0.5	6 6.0
(イ) 職場生活	1 8.9	2 37.4	3 29.0	4 5.7	5 1.1	6 71.5
(ウ) 学校教育	1 0.4	2 6.6	3 65.8	4 3.0	5 0.4	6 17.7
(エ) 政治の場	1 18.2	2 41.3	3 21.7	4 1.3	5 0.2	6 12.3
(オ) 地域活動の場	1 4.2	2 28.1	3 41.7	4 8.0	5 0.4	6 13.8
(カ) 法律や制度の上	1 6.6	2 26.1	3 34.7	4 8.7	5 1.2	6 18.1
(キ) 社会通念・慣習・ しきたり	1 18.2	2 52.5	3 13.0	4 2.7	5 0.2	6 9.5
(ク) 社会全体	1 8.1	2 56.8	3 17.2	4 4.1	5 0.3	6 9.8

14
15
16
17
18
19
20
21

◆ 2 結婚や家庭生活について

問2 結婚、家庭、離婚について、あなたのご意見をうかがいます。(ア)から(オ)までの項目ごとに、あなたの気持ちに最も近い番号(1～5)に1つだけ○印をつけてください。

	賛成	どちらかと いえば賛成	どちらかと いえば反対	反対	わからない
(ア) 結婚は個人の自由であるから、 結婚してもしなくてもどちらで もよい	1 38.7	2 25.4	3 20.8	4 6.8	5 5.8
(イ) 女性は結婚したら、自分自身の ことより夫や子どもなど家族を 中心に考えて生活した方がよい	1 8.4	2 35.7	3 28.2	4 16.9	5 7.6
(ウ) 結婚しても必ずしも子どもを持 つ必要はない	1 22.9	2 18.2	3 29.4	4 14.8	5 11.5
(エ) 結婚しても相手に満足できない ときは離婚すればよい	1 20.0	2 26.8	3 24.3	4 9.9	5 15.8
(オ) 一般に、今の社会では離婚する と女性の方が不利である	1 21.9	2 25.9	3 10.2	4 6.7	5 31.6

22
23
24
25
26

問3 家庭における男女の役割分担について、あなたの理想に最も近いのはどれですか。

(1つだけ○印)

- 15.3 1. 夫が家計を支え、妻が家事・育児に専念する
0.1 2. 妻が家計を支え、夫が家事・育児に専念する
9.5 3. 夫と妻が共同で家計を支え、主に妻が家事・育児を分担する
0.3 4. 夫と妻が共同で家計を支え、主に夫が家事・育児を分担する
44.3 5. 夫と妻が共同で家計を支え、共同で家事・育児を分担する
27.4 6. 夫と妻の役割を固定せず、家事・育児も分担制にせず自由に行く
1.3 7. その他(具体的に)

27

問4 結婚されている方だけお答えください。

現在、あなたの家庭では夫婦の役割分担をどのようにしていますか。(1つだけ○印)

- 21.4 1. 夫が家計を支え、妻が家事・育児に専念する
0.7 2. 妻が家計を支え、夫が家事・育児に専念する
35.0 3. 夫と妻が共同で家計を支え、主に妻が家事・育児を分担する
1.1 4. 夫と妻が共同で家計を支え、主に夫が家事・育児を分担する
18.1 5. 夫と妻が共同で家計を支え、共同で家事・育児を分担する
17.2 6. 夫と妻の役割を固定せず、家事・育児も分担制にせず自由に行く
3.6 7. その他(具体的に)

28

◆3 職業生活・社会参画について

問5 女性の働き方についておたずねします。

あなたが、女性の望ましい働き方と思うものはどれですか。(1つだけ○印)

- 25.1 1. 結婚や出産に関わらず、仕事を続ける
24.3 2. 子育ての時期だけ一時やめて、その後はフルタイムで仕事を続ける
23.6 3. 子育ての時期だけ一時やめて、その後はパートタイムで仕事を続ける
0.8 4. 学校卒業後は仕事をせず、結婚後または子育て終了後から仕事をする
14.3 5. 出産するまでは仕事を持つが、子どもができたなら家事や育児に専念する
4.1 6. 結婚するまでは仕事をして、結婚後は家事に専念する
0.4 7. 仕事をしない
3.1 8. その他(具体的に)

29

問6 男女がともに働きやすい環境をつくるために、あなたは何が必要だと思えますか。

(2つまで○印)

- 24.9 1. 男女とも労働時間の短縮や休日の増加を促進する
60.4 2. 男女を対象とする仕事と子育て・介護の両立を支援する体制を整備する
21.5 3. パートタイムの就労条件・賃金を改善する
6.7 4. 職業生活を続けていく上での相談窓口を充実する
7.4 5. 農業や自営業の分野で、家族の間で収益の分配や休日などについてのルールづくりを進める
18.0 6. 女性の能力や実績が正当に評価されるような体制を整備する
18.4 7. 職場での待遇や役割分担を男女平等にする
8.4 8. 経営方針や仕事の企画に、必ず女性の意見を取り入れる
2.5 9. その他(具体的に)

30
31

問7 あなたは、男女共同参画社会を実現するためには、どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(2つまで○印)

- 25.5 1. 法律や制度の面で見直しを行い、男女差別につながるものを改めること
- 26.8 2. 女性をとりまくさまざまな偏見や固定的な社会通念、慣習、しきたりを改めること
- 21.7 3. 女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図ること
- 21.1 4. 女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること
- 6.7 5. 女性の役職への登用や政策決定の場への参画を進めること
- 31.3 6. 労働時間を短縮するなど、男女が家事や家庭責任を分担できる働き方を確保すること
- 16.9 7. 男性自身が生活者としての家事能力を身につけること
- 9.8 8. 家庭や学校で男女平等教育を行うこと
- 2.0 9. その他(具体的に)
- 8.1 10. わからない

32

33

◆ 4 ドメスティック・バイオレンス(夫婦・恋人間の暴力)について

〔DV(ドメスティック・バイオレンス)
配偶者や恋人など、身近な異性から受ける暴力のこと。肉体的、精神的また性的暴力などがある。〕

問8 あなたは、配偶者や恋人があなたに対して、次のようなことをした場合、それを暴力だと思えますか。(アからタまでの項目ごとに、あなたの気持ちに最も近い番号(1~3)に1つだけ○印をつけてください。

	どんな場合でも暴力に当たると思う	暴力の場合とそうでない場合がある	暴力に当たると思わない
(ア) 骨折させる	1 82.0	2 12.0	3 0.4
(イ) 打ち身や切り傷などのケガをさせる	1 77.2	2 16.0	3 0.4
(ウ) 刃物などを突きつけて、おどす	1 91.7	2 1.9	3 0.6
(エ) 身体を傷つける可能性のある物で、なぐる	1 92.4	2 1.6	3 0.4
(オ) 突き飛ばしたり、壁にたたきつけたりする	1 87.5	2 6.7	3 0.4
(カ) 平手でぶつ、足でける	1 82.6	2 11.3	3 0.5
(キ) 物を投げつける	1 72.5	2 20.3	3 1.4
(ク) なぐるふりをしておどす	1 61.6	2 28.5	3 3.9
(ケ) ドアをけったり、壁に物を投げて、おどす	1 64.9	2 24.5	3 4.3
(コ) いやがるのに、性的な行為を強制する	1 76.9	2 15.4	3 1.8
(サ) 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	1 62.4	2 23.0	3 8.1
(シ) 何を言っても、長時間無視し続ける	1 45.3	2 36.5	3 12.0
(ス) 交友関係や携帯電話、メール、郵便物などを細かく監視する	1 51.1	2 31.9	3 11.2
(セ) 「誰のおかげで生活できるのか」などと言う	1 58.4	2 26.7	3 9.0
(ソ) 生活費を渡さない	1 65.9	2 21.5	3 7.0
(タ) 大声でどなる	1 52.0	2 36.1	3 6.0

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

問9(1) あなたは、問8にあげたようなことを経験したり、見聞きしたことがありますか。(1つだけ○印)

- 28.1 1. 直接、経験したことがある → 問9(2)へお進みください。
- 20.1 2. 身近に見聞きしたことがある → 問10へお進みください。
- 39.2 3. 経験したこともないし、見聞きしたこともない

50

問9(2) あなたは、あなたの配偶者や恋人に(から)、次のようなことをしたこと、またはされたことはありますか。(ア)から(チ)までの項目ごとに、あてはまる番号(1~4)に○印をつけてください。あてはまらない場合は○印は不要です。(○印はいくつでも)

	した		された	
	何度もした	1,2度した	何度もされた	1,2度された
(ア) 骨折させる	1 _{0.6}	2 _{0.9}	3 _{0.9}	4 _{2.2}
(イ) 打ち身や切り傷などのケガをさせる	1 _{0.9}	2 _{4.7}	3 _{5.3}	4 _{8.7}
(ウ) 刃物などを突きつけて、おどす	1 _{0.6}	2 _{0.9}	3 _{2.5}	4 _{3.1}
(エ) 身体を傷つける可能性のある物で、なぐる	1 _{0.9}	2 _{1.6}	3 _{2.8}	4 _{4.0}
(オ) 突き飛ばしたり、壁にたたきつけたりする	1 _{2.2}	2 _{4.7}	3 _{6.2}	4 _{7.2}
(カ) 平手でぶつ、足でける	1 _{4.0}	2 _{10.9}	3 _{10.9}	4 _{16.5}
(キ) 物を投げつける	1 _{3.4}	2 _{11.2}	3 _{8.4}	4 _{13.4}
(ク) なぐるふりをしておどす	1 _{4.4}	2 _{7.2}	3 _{8.4}	4 _{9.7}
(ケ) ドアをけったり、壁に物を投げて、おどす	1 _{3.4}	2 _{11.8}	3 _{10.6}	4 _{13.1}
(コ) いやがるのに、性的な行為を強制する	1 _{2.5}	2 _{0.9}	3 _{8.1}	4 _{5.9}
(サ) 見たくないのに、ポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	1 _{0.9}	2 _{1.2}	3 _{2.2}	4 _{3.1}
(シ) 何を言っても、長時間無視し続ける	1 _{9.0}	2 _{10.9}	3 _{12.1}	4 _{7.2}
(ス) 交友関係や携帯電話、メール、郵便物などを細かく監視する	1 _{2.5}	2 _{2.2}	3 _{5.3}	4 _{1.9}
(セ) 「誰のおかげで生活できるのか」などと言う	1 _{2.2}	2 _{6.2}	3 _{9.7}	4 _{5.9}
(ソ) 生活費を渡さない	1 _{1.9}	2 _{1.9}	3 _{6.9}	4 _{2.2}
(タ) 大声でどなる	1 _{18.7}	2 _{18.4}	3 _{26.2}	4 _{10.6}
(チ) その他(具体的に)	1 _{0.3}	2 _{0.3}	3 _{2.2}	4 _{0.3}

51	
53	
55	
57	
59	
61	
63	
65	
67	
69	
71	
73	
75	
77	
79	
81	
83	

問9(3) あなたは、問9(2)でしたこと、されたことについて誰(どこ)かに打ち明けたり、相談したりしましたか。あてはまるものに○印をつけてください。(○印はいくつでも)

- 27.4 1. ご自分の家族・親せき
- 26.5 2. ご自分の友人・知人
- 3.4 3. 警察
- 0.3 4. 法務局・人権擁護委員・民生委員
- 1.2 5. 市町村役場・福祉事務所
- 0.0 6. 県庁
- 2.2 7. 女性相談支援センター(注)(配偶者暴力相談支援センター)
- 0.6 8. こうち男女共同参画センター「ソール」
- 0.9 9. 裁判所・法テラス
- 0.6 10. 医療関係者(医師、歯科医師、看護師など)
- 0.6 11. 民間の機関(弁護士会、民間シェルターなど)
- 0.3 12. その他(具体的に)
- 51.4 13. 誰(どこ)にも相談しなかった

1.から12.のどれかに○印をつけた方は、問10へお進みください。

85	
87	
89	
91	
93	
95	
97	
99	
101	
103	
105	
107	

問9(4)へお進みください。

(注) 女性相談支援センターは旧女性相談所が移転に伴い、名称変更した施設です。

問9(4) 問9(3)で「13. 誰(どこ)にも相談しなかった」と答えた方におたずねします。

あなたが、誰(どこ)にも相談しなかったのはなぜですか。あてはまるものに○印をつけてください。(○印はいくつでも)

- 7.3 1. 誰(どこ)に相談してよいのかわからなかったから
- 17.6 2. 恥ずかしくて誰にも言えなかったから
- 17.6 3. 相談しても無駄だと思ったから
- 4.2 4. 相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどいことをされると思ったから
- 0.6 5. 相談窓口の担当者の言動により、不快な思いをすと思ったから
- 20.0 6. 自分さえ我慢すれば、このまま何とかやっていくことができると思ったから
- 7.3 7. 世間体が悪いから
- 10.9 8. 他人を巻き込みたくないから
- 6.7 9. 思い出したくないから
- 24.2 10. 自分に悪いところがあると思ったから
- 60.0 11. 相談するほどのことではないと思ったから
- 1.2 12. その他(具体的に)

109	
111	
113	
115	
117	
119	
121	
123	
125	
127	
129	
131	

◆5 セクシュアル・ハラスメントについて

セクシュアル・ハラスメント(=性的いやがらせ)
 相手が望まない性的な言動により相手方の生活環境を害すること、または性的な言動に対する相手方の対応によりその者に不利益を与えること。

問10 次にあげることのうち、あなたがセクシュアル・ハラスメントだと思うことはどれですか。

あてはまるものに○印をつけてください。(○印はいくつでも)

- 86.2 1. 地位や権限を利用して、交際や性的な関係を強要する
- 81.0 2. 相手が嫌がっているのに、肩に手をかけたり、身体にさわる
- 53.8 3. 宴席で、お酌やデュエット、ダンスなどを強要する
- 47.1 4. 容姿や服装に関して繰り返して言う
- 73.8 5. 相手が嫌がっているのに性的なことを話題にする
- 52.0 6. 職場や学校、集会などの場でわいせつな話をする
- 47.2 7. ヌードの写真やポスター、カレンダーなどを人目につくところに貼る
- 39.2 8. 「結婚はまだか」や「子どもはまだか」など、たびたび聞く
- 2.0 9. わからない

133	
134	
135	
136	
137	
138	
139	
140	

質問は、次のページで最後です。

◆ 6 男女共同参画の推進について

問11 あなたは、次にあげる言葉について、知っていますか。(ア)から(シ)までの項目ごとに、それぞれあてはまる番号(1~3)に1つだけ○印をつけてください。

	内容を 知っている	聞いたことがある が内容は知らない	知らない
(ア) 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)	1 15.4	2 31.6	3 43.7
(イ) DV(ドメスティック・バイオレンス)	1 80.2	2 8.5	3 6.8
(ウ) セクハラ(セクシュアル・ハラスメント)	1 87.2	2 6.7	3 2.4
(エ) 高知県男女共同参画社会づくり条例	1 5.5	2 36.3	3 53.3
(オ) こうち男女共同参画プラン	1 5.8	2 34.2	3 55.0
(カ) 女子差別撤廃条約	1 8.9	2 31.3	3 54.7
(キ) 男女雇用機会均等法	1 47.4	2 35.8	3 11.9
(ク) 育児・介護休業制度	1 53.0	2 34.9	3 8.0
(ケ) 次世代育成支援対策推進法	1 5.1	2 30.2	3 59.2
(コ) 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(いわゆるDV防止法)	1 33.6	2 46.9	3 14.9
(サ) こうち男女共同参画センター「ソーレ」	1 27.0	2 45.7	3 22.8
(シ) 女性相談支援センター(旧女性相談所)	1 17.1	2 42.4	3 35.6

141
142
143
144
145
146
147
148
149
150
151
152

問12 男女共同参画は、私たち一人ひとりの身近な課題です。まず自分にできることから始めることが大切ですが、あなたは、何ができますか。次の中でできると思うものに○印をつけてください。

(○印はいくつでも)

- 69.8 1. 家庭では、家族みんなで家事・育児などの分担をする
- 50.4 2. 「男らしく、女らしく」から「その子らしく」子育てをする
- 13.4 3. 学校では、PTAや保護者会で男女平等について取り組む
- 27.6 4. 職場で男女平等意識を浸透させる
- 26.1 5. 地域(自治会など)では、古い慣習を見直し、男女平等に活動に参画するよう取り組む
- 22.2 6. 男女共同参画について学ぶ
- 12.0 7. こうち男女共同参画センター「ソーレ」などの事業に参加して理解を深める
- 0.9 8. その他(具体的に)

153
154
155
156
157
158
159
160

◎ 男女共同参画社会に関するご意見、ご感想がございましたら、どんなことでも結構ですから、ご自由にご記入ください。

質問は以上です。長時間ご協力いただきありがとうございました。
記入もれがないか、もう一度お確かめいただき、同封の返信用封筒に入れて、12月9日(水)までに、切手を貼らずにご返送ください。(お名前は不要です。)
お手数をおかけしますが、よろしくお願ひします。

平成 21 年度 男女共同参画社会に関する県民意識調査報告書

平成 22 年 2 月 発行

[編集・発行] 高知県文化生活部 県民生活・男女共同参画課

〒780-8570 高知市丸ノ内 1-2-20

TEL 088-823-9651

FAX 088-823-9879
